

泉大津市教育委員会会議 令和5年第9回定例会

会 議 事 項

(令和5年9月28日)

会 議 事 項

日程第 1 報告第 1 6 号 令和 5 年度全国学力・学習状況調査等の結果概要について

日程第 2 報告第 1 7 号 泉大津市教育委員会の後援名義使用について

報告第16号

令和5年度全国学力・学習状況調査等の結果概要について

1 調査目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。

ア 小学校調査 小学校第6学年

イ 中学校調査 中学校第3学年

3 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

小学校調査は国語・算数、中学校調査は国語・数学・英語

イ 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等に関する質問紙調査

(2) 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

4 調査実施日等

(1) 児童生徒に対する調査・質問紙 令和5年4月18日実施

(2) 中学校英語「話すこと」調査 令和5年4月18日～5月26日に実施

(3) 学校に対する質問紙 令和5年4月中に実施

5 結果概要について

別紙1～5のとおり

令和 5 年度 (2023 年度)

全国学力・学習状況調査 泉大津市の結果概要



泉大津市教育委員会

今年4月実施された全国学力・学習状況調査について、泉大津市の児童・生徒のみなさんの調査結果の概要がまとまりましたので、お知らせいたします。

○調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

○対象学年

小学校 第 6 学年の全児童
(本市の参加児童数 561 人)

中学校 第 3 学年の全生徒
(本市の参加生徒数 559 人)



○調査の内容

① 教科に関する調査 ※

小学校:国語・算数

中学校:国語・数学・英語

※理科は 3 年に一度程度の実施のため実施せず

② 質問紙調査(児童生徒に対する調査、学校に対する調査)

○実施日 令和 5 年(2023 年)4 月 18 日(火)

【今年度調査の特徴】

※教科に関する調査は、国語、算数、数学に加えて英語(中学校のみ)を4年ぶりに実施

※英語「話すこと」調査については、当日実施校と期間内実施校があり、期間内実施校については、4 月 19 日(水)から 5 月 26 日(金)までの期間で実施

※この調査結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

学力調査結果



平均正答率 (%)

小学校

	泉大津市	大阪	全国
国語	69.0	66.0	67.2
算数	63.0	62.1	62.5

中学校

	泉大津市	大阪	全国
国語	63.0	68.0	69.8
数学	44.0	50.0	51.0
英語	39.0	45.0	45.6

無解答率 (%)

小学校

	泉大津市	大阪	全国
国語	3.6	5.1	4.8
算数	2.9	3.5	3.4

中学校

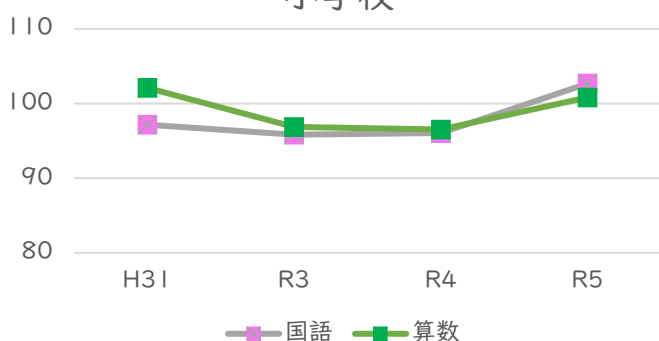
	泉大津市	大阪	全国
国語	7.0	5.2	4.6
数学	13.7	11.0	9.6
英語	8.5	6.4	5.7

【参考】対全国比の経年比較

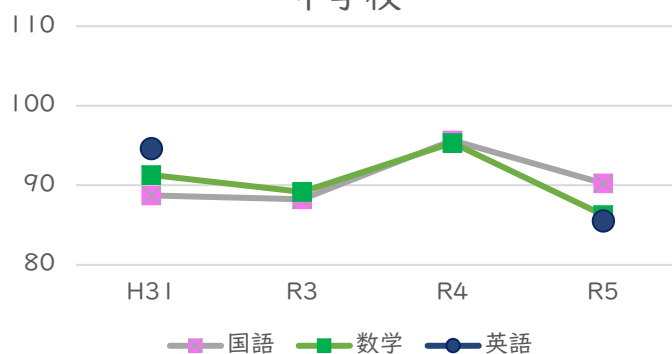
・対全国比 = 泉大津市平均正答率 ÷ 全国平均正答率

・全国の平均正答率を100%としたときの、泉大津市の各教科の平均正答率の推移

小学校



中学校



各教科の状況



○ 小学校国語

すべての内容の平均正答率（以下、正答率と表記）が、全国・府平均を上回っています。

一方、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができるかどうかをみる問題（問3ー（1））の正答率が、全国・府平均を下回っています。

	学習指導要領の内容	平均正答率 (%)			
		泉大津市	大阪	全国	
小学校国語	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	72.7	71.0	71.2
		情報の扱い方に関する事項	65.4	62.6	63.4
小学校国語	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	73.6	70.9	72.6
		書くこと	30.1	24.2	26.7
		読むこと	73.0	69.2	71.2

○ 小学校算数

「数と計算」「図形」「変化と関係」の領域の正答率は、全国・府平均をやや上回っています。一方、「データの活用」の領域においては、府平均の正答率を上回っているものの、国平均をやや下回っています。

	学習指導要領の領域及び評価の観点	平均正答率 (%)			
		泉大津市	大阪	全国	
小学校算数	領域	数と計算	67.7	66.8	67.3
		図形	49.7	48.4	48.2
		変化と関係	71.2	70.8	70.9
		データの活用	65.1	63.8	65.5
小学校算数	評価の観点	知識・技能	68.1	67.1	67.2
		思考・判断・表現	56.7	55.7	56.5

○ 中学校国語

「話すこと・聞くこと」の領域では、R4の結果と比べると改善傾向にあります。

	学習指導要領の内容	平均正答率 (%)			
		泉大津市	大阪	全国	
中学校国語	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	64.0	68.9	67.5
		情報の扱い方に関する事項	56.2	61.6	63.4
		我が国の言語文化に関する事項	64.9	72.3	74.7
中学校国語	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	76.6	79.5	82.2
		書くこと	57.4	62.1	63.2
		読むこと	56.2	60.8	63.7

○ 中学校数学

「図形」の領域の正答率が30%を下回っており、「関数」の領域の正答率は、全国・府平均と最も差があります。

	学習指導要領の領域及び評価の観点	平均正答率 (%)			
		泉大津市	大阪	全国	
中学校数学	領域	数と式	58.0	63.2	63.0
		図形	27.4	33.4	33.2
		関数	42.8	49.5	51.2
		データの活用	40.8	45.0	48.5
中学校数学	評価の観点	知識・技能	49.2	55.1	55.7
		思考・判断・表現	34.7	39.6	41.6

○ 中学校英語

「書くこと」の領域の正答率が20%を下回っており、「聞くこと」の領域の正答率は、全国・府平均と最も差があります。

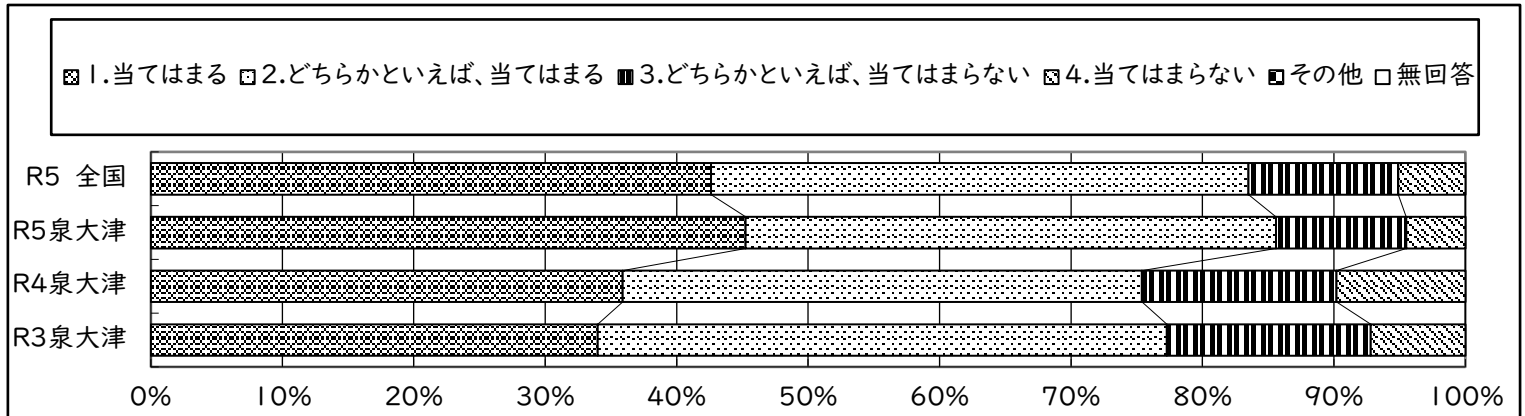
	学習指導要領の領域及び評価の観点	平均正答率 (%)			
		泉大津市	大阪	全国	
中学校英語	領域	聞くこと	50.9	57.4	58.4
		読むこと	45.4	50.2	51.2
		話すこと	8.0	*	12.4
		書くこと	18.0	24.8	23.4
中学校英語	評価の観点	知識・技能	44.9	51.2	51.5
		思考・判断・表現	32.9	38.7	38.8

児童生徒質問紙

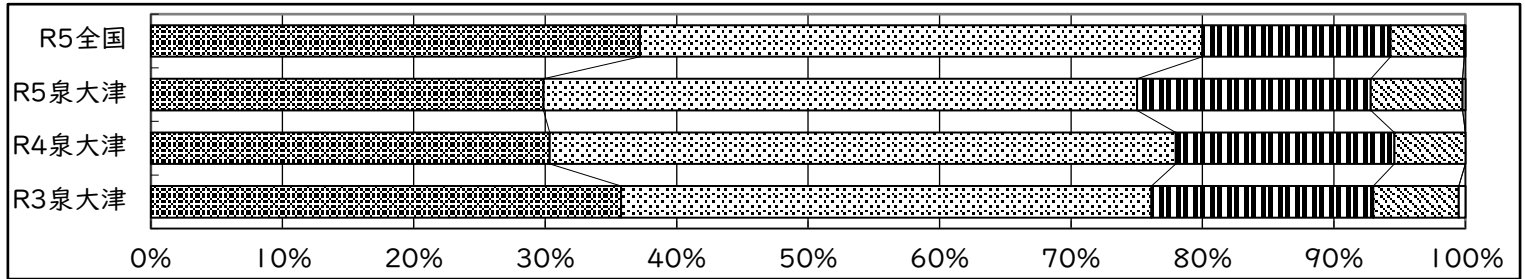
○自己肯定感について

自分には、よいところがあると思いますか

小学校



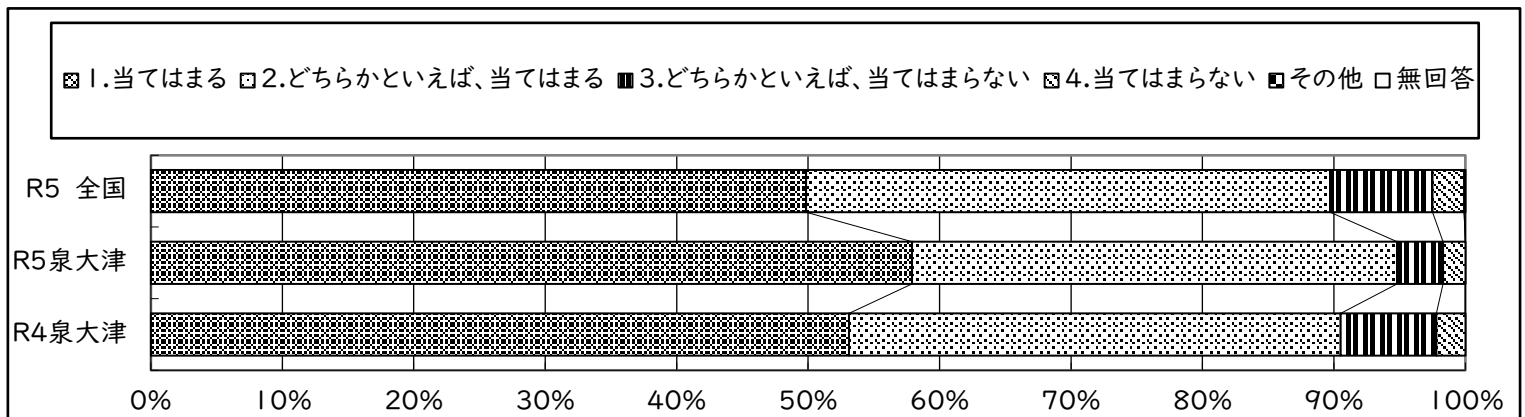
中学校



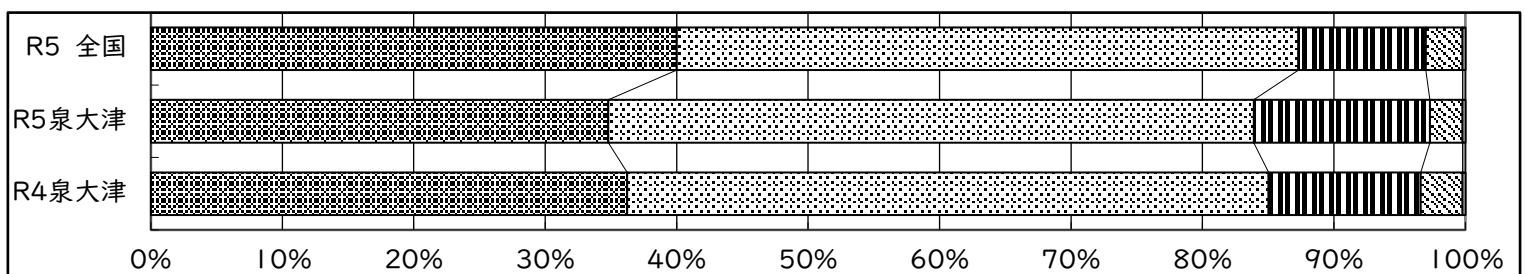
○先生はよいところを認めてくれる

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

小学校



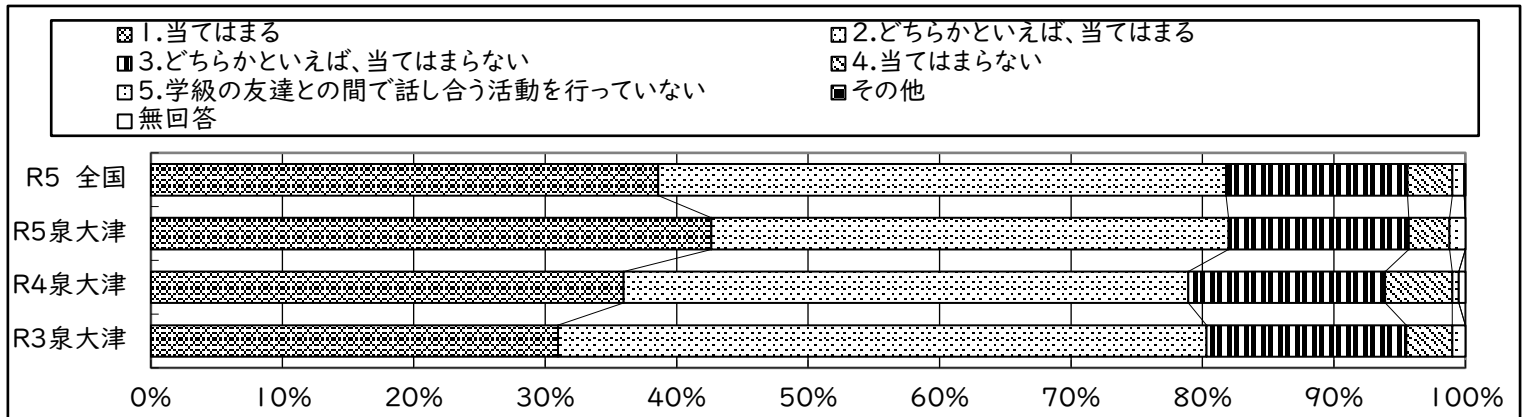
中学校



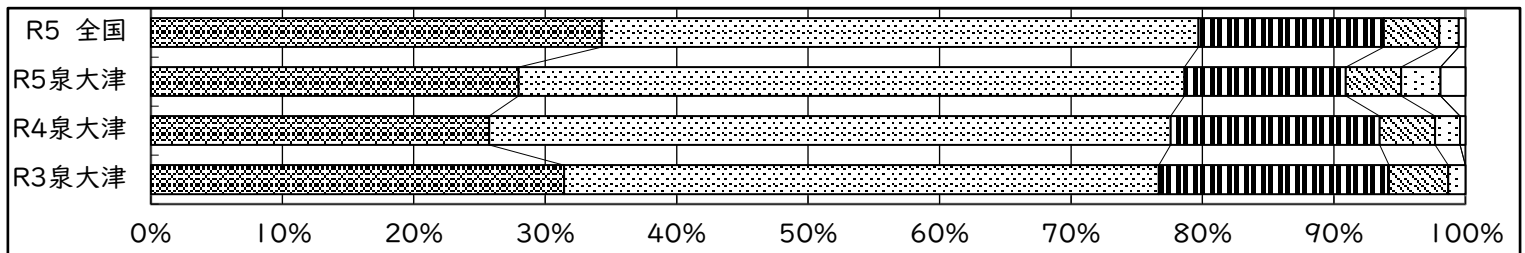
○話し合い活動を通じた対話的で深い学び

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか

小学校



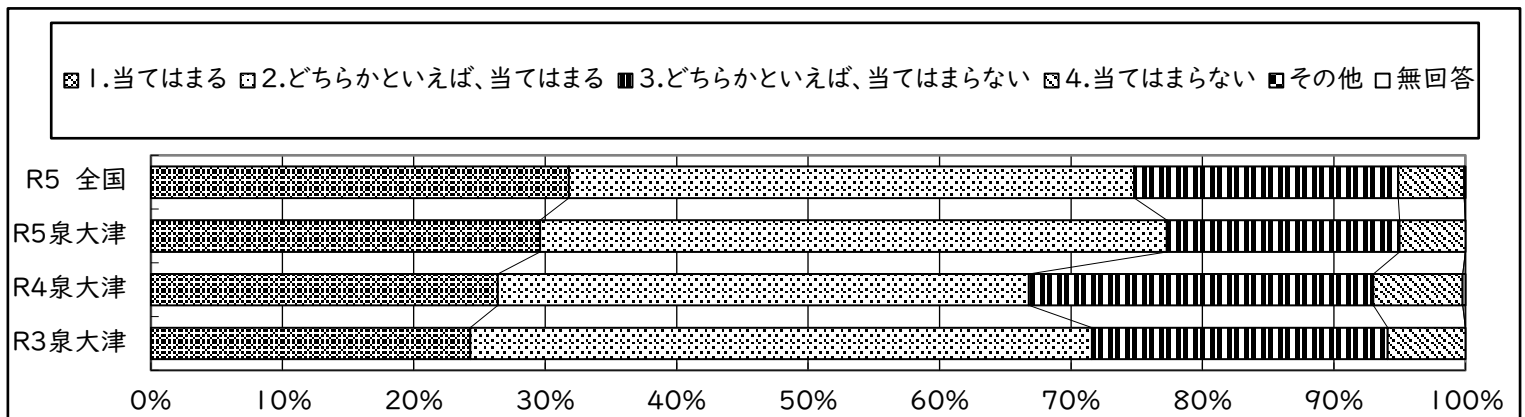
中学校



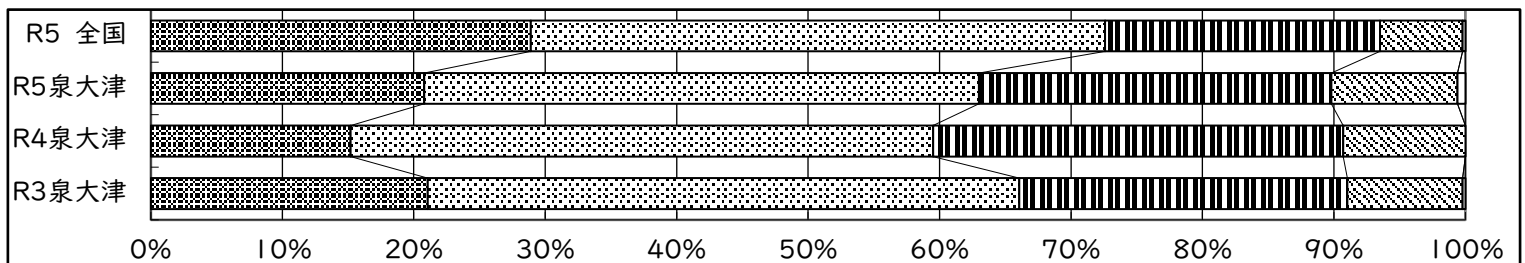
○総合的な学習の時間における問題発見・解決

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

小学校



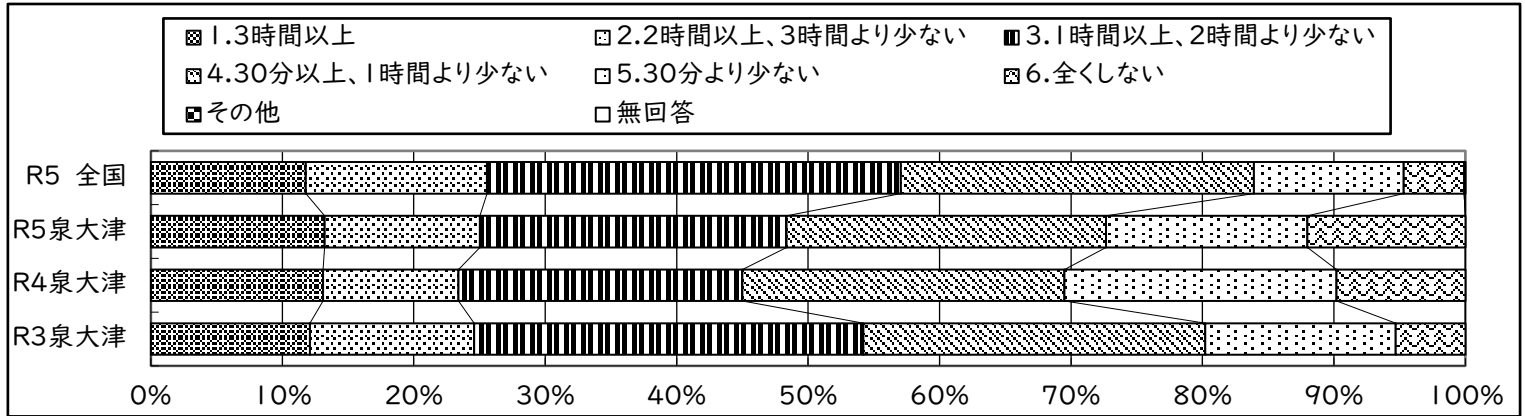
中学校



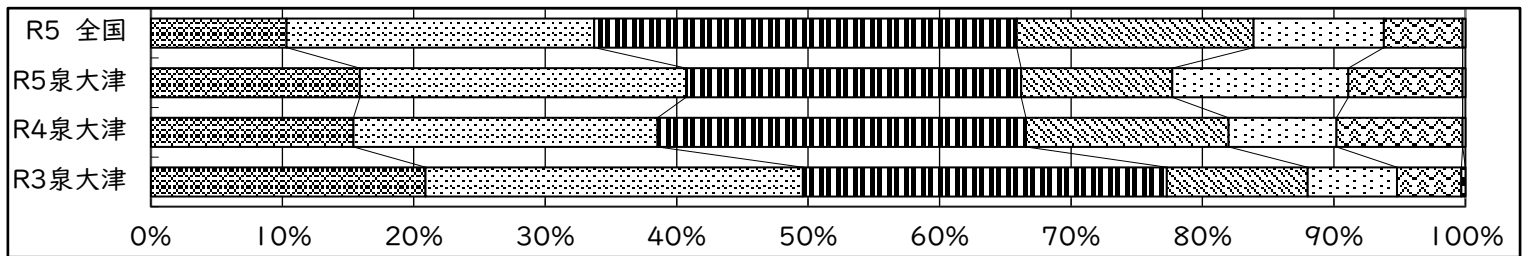
○学校の授業以外での平日の学習時間

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

小学校



中学校

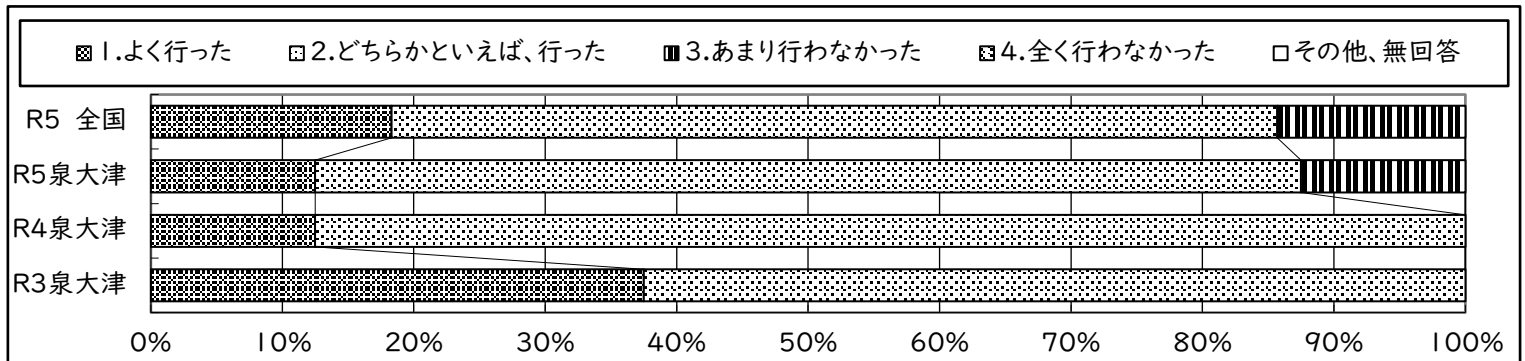


学校質問紙

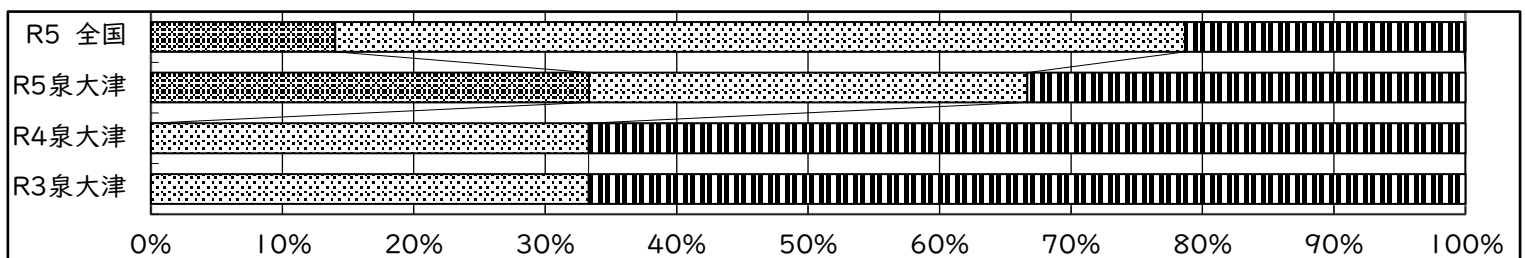
○学習内容を課題解決に活用すること

各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか

小学校



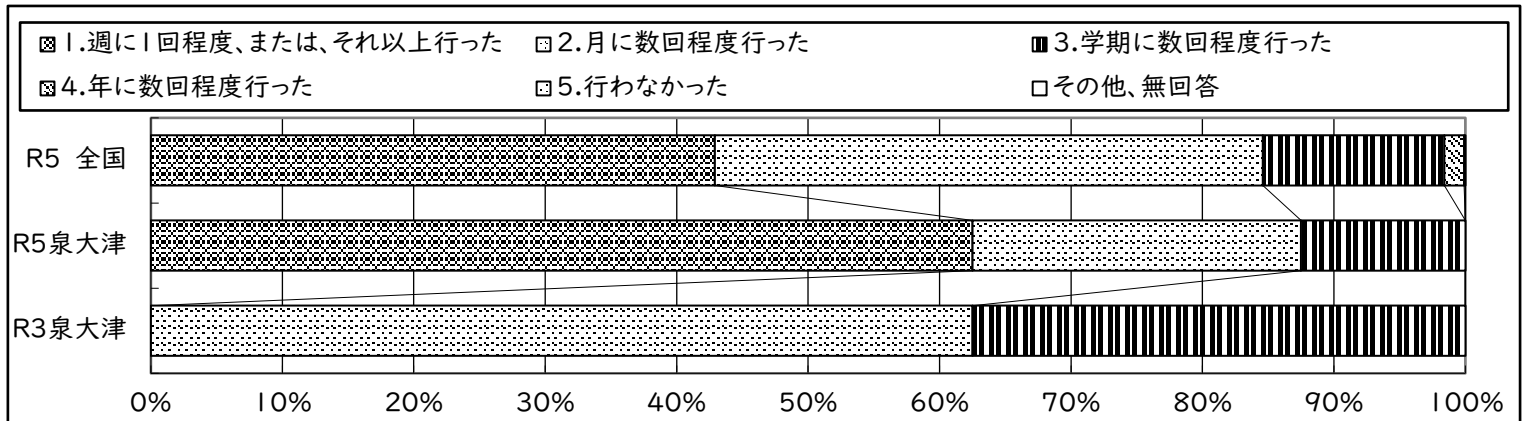
中学校



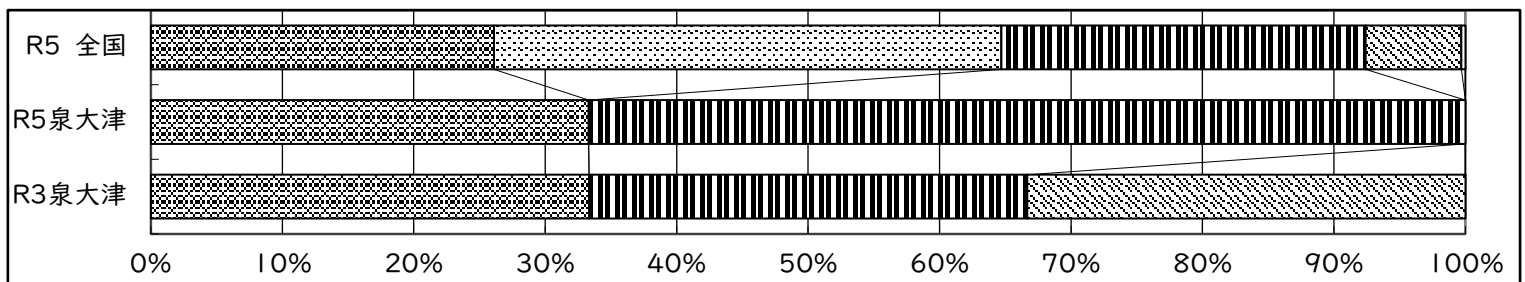
○本やインターネット等を活用した指導

児童生徒に対する指導に関して、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか

小学校



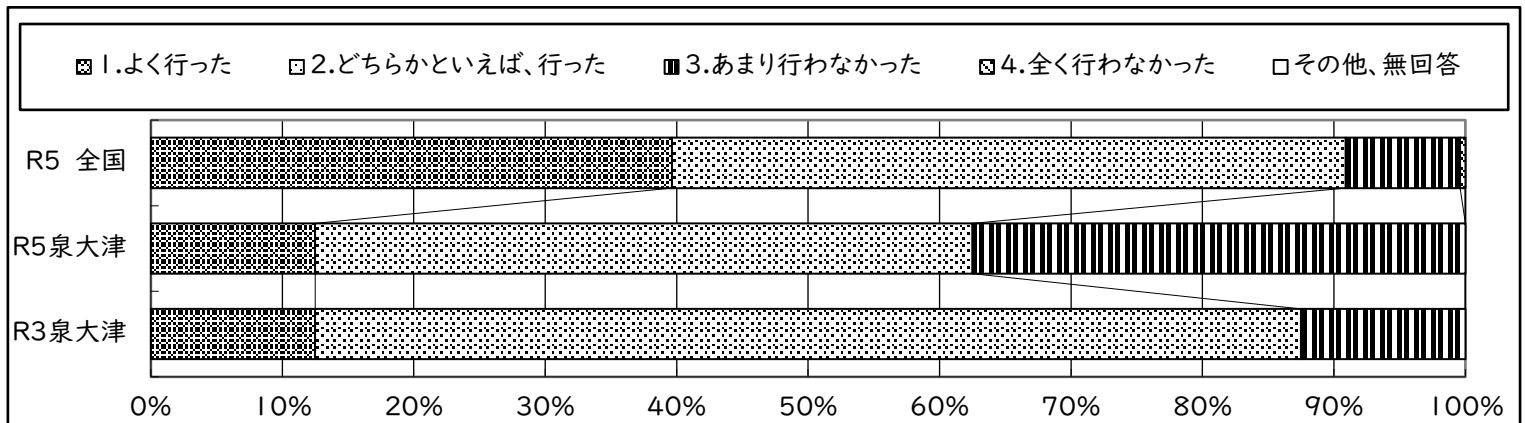
中学校



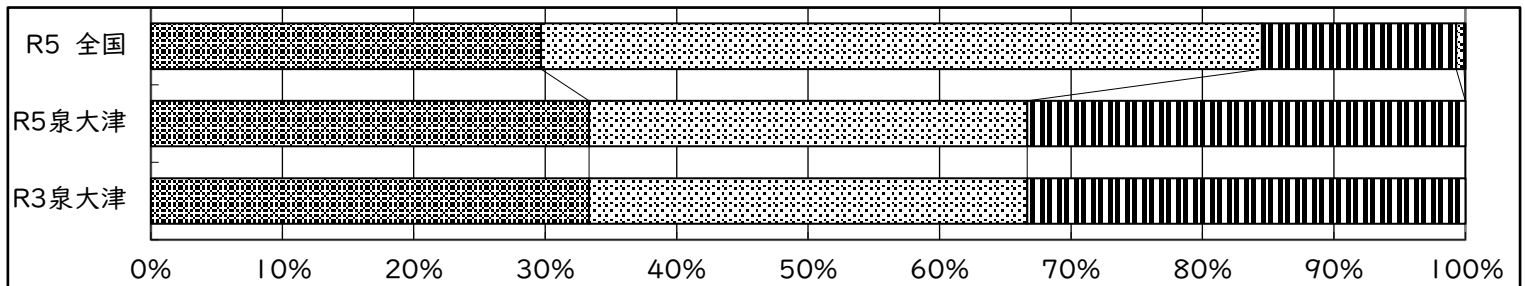
○家庭学習についての教職員での共通理解

家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか

小学校



中学校



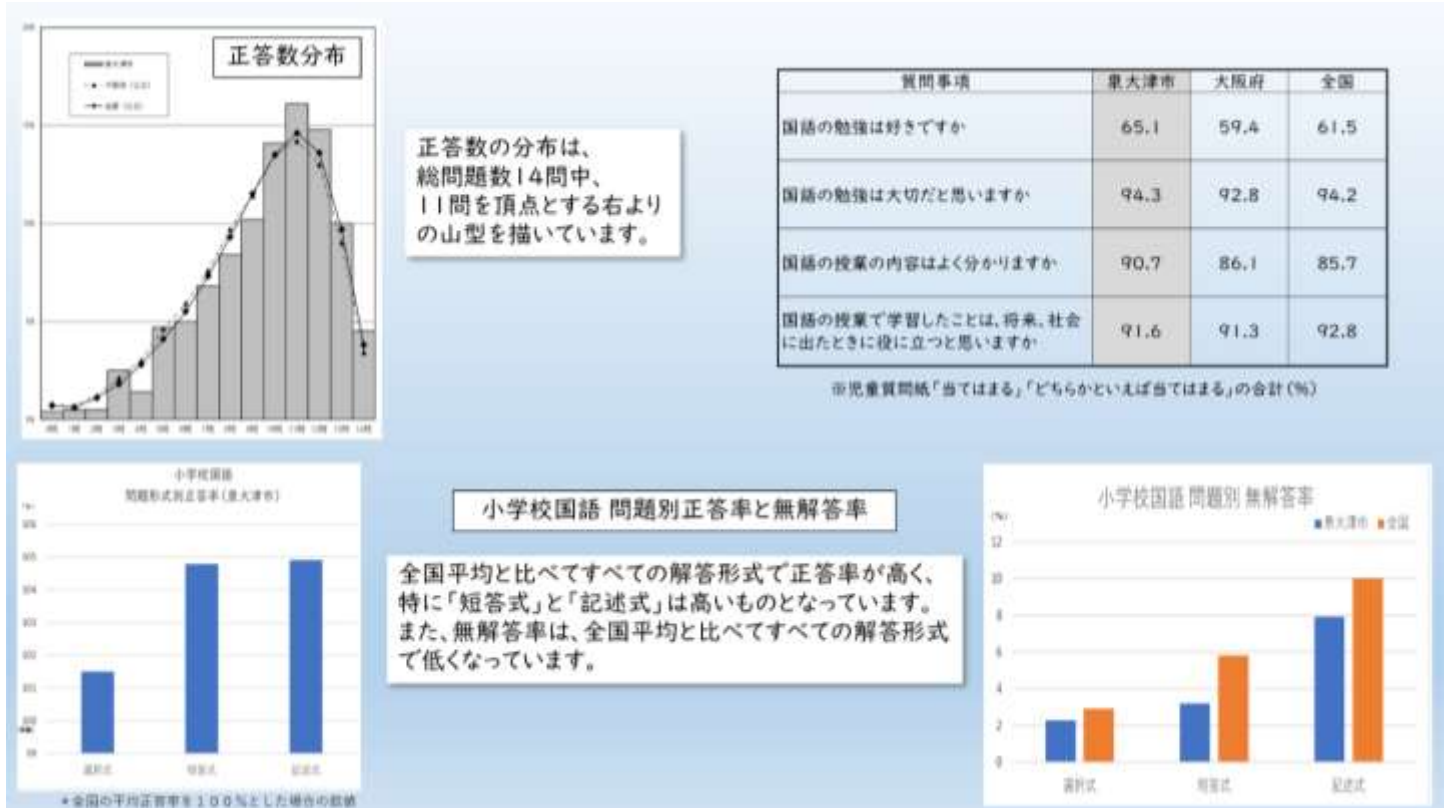
教科に関する調査結果(小学校 国語)

小学校 国語

◇…比較的できている点

◆…課題のある点

平均正答率・反応率 … 泉大津市(全国)



言葉の特徴や使い方に関する事項

◇送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことはできている。

大問1三(2) イ「農家の田んぼとくらべてみました」→「比べて」 91.1% (93.1%)

◇文章の種類とその特徴について理解することはできている。 大問1四 79.8% (79.8%)

◆日常よく使われる敬語を理解することに課題がある。 大問3三 61.0% (57.6%)

◆漢字を文の中で正しく使うことは、引き続き課題。特に同音異義語の漢字の使い方には課題が見られる。

大問1三 ア「いがいに雑草が生えてきて」→「意外」 53.1% (52.8%)

タブレット端末で文字を入力する機会が増え、端末の予測変換に頼ることも少なくないと思われるが、学習場面や日常生活において意識的に漢字を読んだり書いたりすることが大切。また、漢字辞典を使って漢字の読みや意味などを自分で調べたり、同音異義語に注意し漢字のもつ意味を考えて使ったりすることも大切。

基礎的・基本的な言葉の力は、どの教科においても必要な力である。力がついてきていることがうかがえるが、今後も国語だけでなく他教科においても子どもたちの言葉の力を育むことが必要である。

情報の扱い方に関する事項

◆原因と結果など情報と情報との関係について理解することに課題がある。

具体的な設問例

大問1ー

66.5% (64.7%)

情報と情報との関係には、考えと理由や事例、全体と中心、原因と結果など様々な関係があることを理解しておらず、「考え」と「事例」の関係など自分がよく知っている内容を選択してしまった児童もいたと考えられる。

情報と情報との関係を理解するためには、様々な情報の中から原因と結果などの関係を見だし、結び付けて捉えることができるようにすることが重要。



◆情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題がある。

具体的な設問例

大問2三

運動面から健康について考えている相田さんが書きこみをした「栄養素の働き」に関するパンフレットを読み、相田さんの情報の整理の仕方として、最も適切なものを選ぶ。

64.2% (62.0%)

【資料3】相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ



1 自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。… 2.1% (3.3%)

2 自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。… 29.0% (29.6%)

3 自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。… 3.4% (3.2%)

4 自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

「2」を選んだ児童は、相田さんが自分にとって重要な言葉を整理していることを捉えることはできたが、運動と栄養素の働きとを関連付けていることを捉えることができなかつたと考えられる。

図示などにより語句と語句の関係を表すことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりすることができることを理解することが大切。

◆図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。

具体的な設問例

大問12

【川村さんの文章】の□に、下の条件に合わせて、学校の米作りの問題点とその解決方法について書く。

30.1% (26.7%)

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、アいよいよ雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと、くらべてみました。ウきかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量

(kg)

1日 3日 5日

■ 農家の田んぼの雑草の量
■ 学校の田んぼの雑草の量

1日あたりの雑草を抜いて同じ大きさの1つづつに入れ、その量を雑草の量とする。

【川村さんの文章】の一部

〈条件〉

- ・問題点については【川村さんの文章】のグラフと【カード④】のそれぞれから分かることを書く。
- ・問題の解決方法は【カード⑤】をもとに書く。
- ・60字以上100字以内で書く。

〈正答例〉

グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしゅうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。(100字)

〈誤答例〉

グラフから分かるように、農家も雑草が生えています。このままだと雑草に栄養をとられて米のしゅうかくが減るかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草を取る回数と人数を増やしました。(92字)

…21.6%(19.1%)

このように解答した児童は、【川村さんの文章】のグラフから分かる「雑草の量が増え続ける」という学校の米作りの問題点を書いていない。他にも【カード④】から分かることを書いていない誤答が15.7%(18.4%)あり、グラフと【カード④】のいずれかの情報しか取り上げていないために誤答となってしまった児童は、あわせて37.3%(37.5%)になる。グラフを含めた複数の情報を用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題があると考えられる。

自分の考えが伝わるように文章を書くには、図表やグラフなどを用いるなどして書き表し方を工夫することが大切。

◇目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約したものを選択することはできている。

具体的な設問例
大問2一

【資料1】と【資料2】に書かれている内容として最も適切なものを選ぶ。

90.2% (90.0%)

私たちが日ごろ行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくさんの酸素を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋力の力を高める運動などです。

【資料1】より抜粋

運動には、筋力や持久力などを高めるほかに、病気への抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気持ちがリフレッシュするなどの効果もあります。

【資料2】より抜粋

1 運動の効果や種類

2 運動の回数や場所 … 0.9% (1.4%)

3 運動の場所や種類 … 3.4% (2.7%)

4 運動の効果や回数 … 5.0% (4.5%)

◆目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることに引き続き課題がある。

大問2二

72.5% (67.4%)

◆複数の資料を読んで理解したことを関連付けながら、自分の考えをまとめることに課題がある。

具体的な設問例
大問2四

【資料1】、【資料2】、【資料3】を読み、運動と食事について分かったことをもとに、下の条件に合わせて、これから自分ができそうなことをまとめて書く。

56.5% (56.2%)



〈条件〉

- ・資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書く。
- ・分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書く。
- ・80字以上 100字以内で書く。

〈正答例〉

健康に過ごすためには、自分に合った運動をしたり、バランスのよい食事をとったりすることが大切だと分かりました。わたしは、これから、縄とびを続けて持久力を高めたり、苦手な野菜も食べたりしようと思います。(99字)

〈誤答例〉

好きなものばかり食べると、栄養がかたよってしまい、つかれやすくなるので、バランスよく食べることが大切だと分かりました。だから、わたしは、これからも、お米やお肉や野菜をバランスよく食べていきたいです。(99字) … 11.6% (12.1%)

このように解答した児童は、運動に関する資料と食事に関する資料の両方に基づいて自分の考えをまとめるという条件があるにも関わらず、食事に関する資料の内容や考えのみ書いており、運動については言及していない。複数の情報を関連付けながら、自分の考えをまとめることに課題があると考えられる。

文章を読んで理解したことについて、既存の知識や理解した内容と結び付けて自分の考えを形成することが大切。

◆(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることに課題がある。

具体的な設問例
大問3(4)

正答 い

51.0% (47.6%)

図形

◇正方形の意味や性質について理解することはできている。大問2(2) 88.4% (87.2%)

◆正三角形の意味や性質について、操作を通して理解することに課題がある。

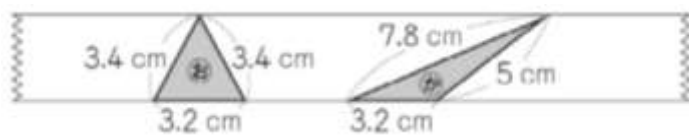
大問2(3) 28.0% (24.9%)

◆高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を記述することに課題がある。

具体的な設問例
大問2(4)

テープを直線で切ってつくった2つの三角形の面積の大きさを判断し、その理由を説明する。

18.9% (20.8%)



- 1 ①の面積のほうが大きい。
- 2 ②の面積のほうが大きい。
- 3 ①と②の面積は等しい。
- 4 ①と②の面積は、このままでは比べることができない。

〈正答例〉

番号 3

わけ 三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。①と②の底辺は、どちらも 3.2cm なので等しいです。①と②の高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから、①と②の面積は等しいです。

〈誤答例〉

番号 4

わけ 高さが書かれていないので、このままでは面積を求めることができないから。

… 13.9% (16.8%)

このように解答した児童は、2つの三角形の高さが同じであるということに気付くことができていないか、具体的な数値が示されていないので比べることができないと判断したと考えられる。

具体的な数値が示されていない場面において、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見いだしたり、適当な数値を当てはめたりして考えることができるように指導することが重要である。

変化と関係

◇伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることはできている。

大問1(1) 94.1% (93.5%)

◇伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、示された表の中の適切な数の組を選ぶことはできている。

大問1(2) 87.2% (88.5%)

具体的な設問例

大問1(1)(2)

1

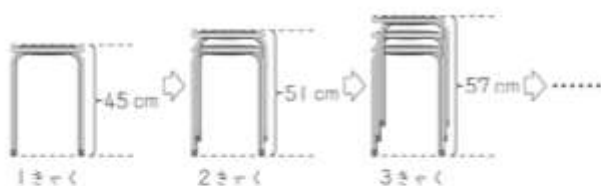
同じいすがたくさんあります。

(1) はるまさんたちは、いすをかたつけるために、下のようになっています。



1きやくのいすの高さは、45 cm です。

下のようがいすを重ねていくと、高さが変わります。



いすの数と高さの関係を、下の表にまとめます。

いすの数(きやく)	1	2	3	4	5
高さ (cm)	45	51	57	63	A

表の中の A にははるまを書きましょう。

(2) はるまさんたちは、いすの数と高さの関係について考えています。

いすの数(きやく)	1	2	3	4	5
高さ (cm)	45	51	57	63	A

はるま

高さはいすの数に比例しているのでしょうか。

ゆうな

いすの数が2倍になっても、高さは2倍になっていないので、高さはいすの数に比例していません。

「いすの数が2倍になっても、高さは2倍になっていない」ことを、表の中の数を使うと、次のように説明することができます。

いすの数が ② きやくから ④ きやくと2倍になっても、高さは ③ cm から ⑤ cm で2倍になっていません。

上の②、④、③、⑤にははるまを、表の中の数から1つずつ選んで、書きましょう。

◆伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを記述することに課題がある。

大問1(3) 56.0% (55.5%)

◆百分率で表された割合について理解することに課題がある。

具体的な設問例
大問4(1)

正答 ウエ

47.4% (46.0%)

データの活用

◇「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることはできている。

大問4(2) 75.0% (75.7%)

◆二次元の表から、条件に合う数を読み取ることに課題がある。

大問4(4) 64.7% (64.6%)

◆示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを記述することに課題がある。

具体的な設問例
大問4(3)

55.6% (56.2%)

無解答率

13.4% (13.8%)

〈正答例〉

6年生のグラフでは「1日」の人数が2番目に多く、5年生と6年生を合わせたグラフでは「1日」の人数が1番目に多いです。

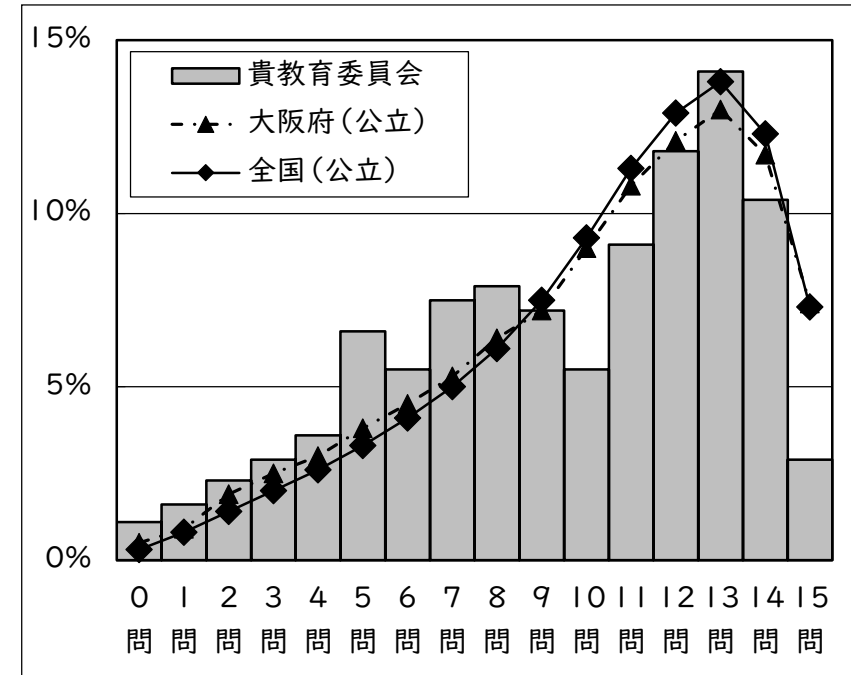
教科に関する調査結果 中学校

中学校 国語

正答率や質問事項	泉大津市	大阪府	全国
平均正答率	63.0	68.0	69.8
国語の勉強は好きですか	63.3	59.4	61.4
国語の勉強は大切だと思いますか	88.5	91.2	92.4
国語の授業の内容はよく分かりますか	83.0	80.3	80.0
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	82.4	86.6	88.7

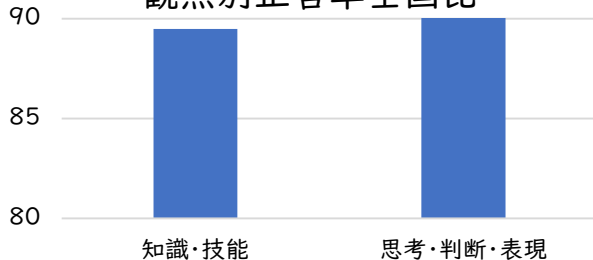
※生徒質問紙「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計(%)

中学校国語 正答数分布



正答数の分布は、総問題数15問中、13問を頂点としつつ、ふたこぶ型を描いています。

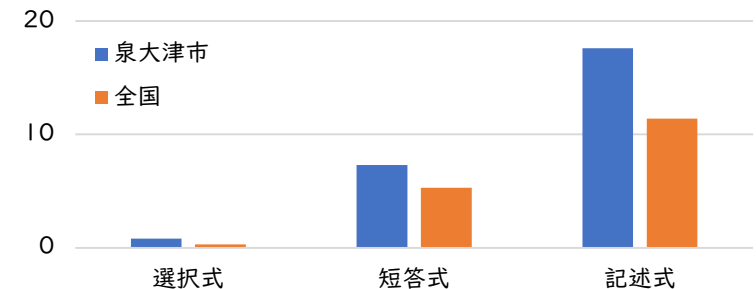
泉大津市 中学校国語 観点別正答率全国比



中学校国語 問題別正答率と無解答率

知識・技能よりも、思考・判断・表現の観点の正答率が高くなっています。また、無解答率は、全国平均と比べてすべての解答形式で高くなっています。

中学校国語 問題別 無解答率



* 全国平均正答率を100%とした場合の数値

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			泉大津市	大阪府(公立)	全国(公立)	
全体		15	63	68	69.8	
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	64.0	68.9	67.5
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	56.2	61.6	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	64.9	72.3	74.7
	思考力、 判断力、 表現力	A 話すこと・聞くこと	3	76.6	79.5	82.2
		B 書くこと	2	57.4	62.1	63.2
		C 読むこと	4	56.2	60.8	63.7
評価の観点		知識・技能	7	62.1	68.3	69.4
		思考・判断・表現	9	63.3	67.3	69.7
		主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式		選択式	7	68.5	71.6	73.1
		短答式	4	56.7	65.2	65.6
		記述式	4	59.6	64.6	68.0

全体的に全国の平均正答率を下回る結果となりました。

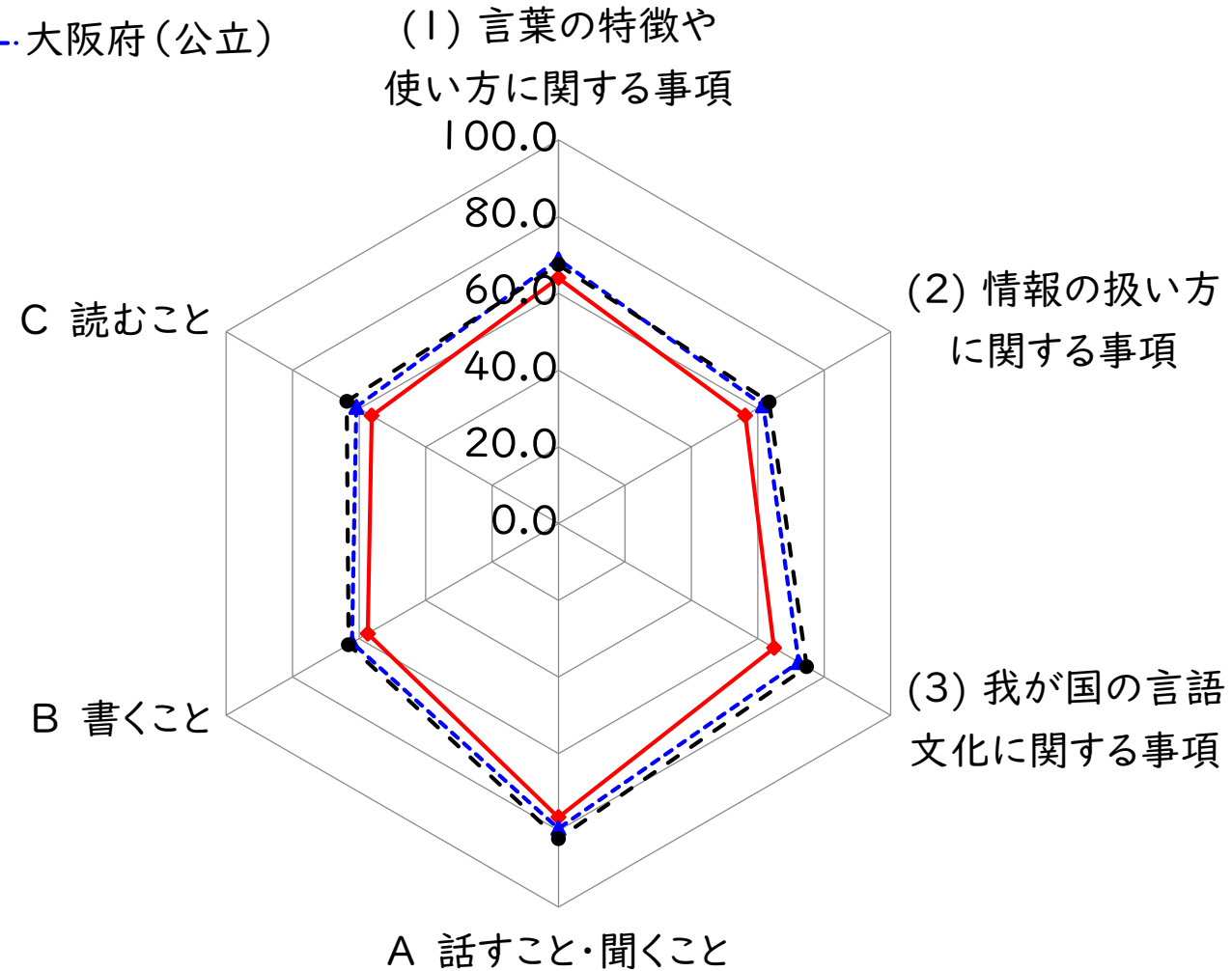
「話すこと・聞くこと」の領域では、R4の結果と比べると改善傾向にあります。

中学校国語(領域別)

—●— 貴教育委員会

—▲— 大阪府(公立)

-●- 全国(公立)



結果の傾向と課題

- ◇ 目的に応じて質問する内容を検討したり、目的に沿って自分の考えをまとめることは、概ねできています。
 - 『問題番号1一:インタビューの前に準備したメモについて説明したものとして適切なものを選択する』
 - 『問題番号1四:インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く』

- ◆ 文章を比較し、表現の効果について考えることや、文章同士を対応させて内容を捉えることについては、課題があります。
 - 『問題番号2二:二つの文章に共通する表現の効果の説明したものとして適切なものを選択する』
 - 『問題番号4二:原文の中の語句に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す(いと)』

2 山中さんは、本の読み方について考
えるために、AとBの文章を読んでい
ます。これらを読んで、あとの問いに
答えなさい。

※ 画質を落としています



(岸見一郎『本をどう読むか』による。)



(小林秀雄『読書について』による。)

二 AとBの文章に共通している表現の効果を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

① 主張に関わる言葉を引用することで、伝えたいことを印象づけている。

引用しているか？

2 敬体で丁寧に述べることで、伝えたいことを身近に感じさせている。

敬体で述べられているか？

3 問いかけを用いることで、伝えたいことに興味をさせている。

問いかけはあるか？

4 冒頭の一文に結論を示すことで、伝えたいことを明確にしている。

冒頭の一文で結論を述べているか？

観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができるかどうかを見る。

思考判断表現 C読むこと エ〈精査・解釈〉

正答率53・0% 全国63・4%

・基本的用語を理解しているか

「主張に関わる言葉を引用する」ということが、具体的にどのようなことか

「敬体」とは具体的にどのような文体のことなのか

・共通点を捉えられているか

2…Aのみ敬体(10.9%)

4…Bのみ冒頭で結論(21.1%)

・そもそも読んで確認しているか

3…ともに問いかけはない(13.8%)

無回答率1.3%

3 山田さんは、国語の時間に、言葉に
 関して興味を持ったことをレポート
 にまとめています。次は、山田さんが
 書いているレポートの【下書きの1
 部】です。これを読んで、あとの問い
 に答えなさい。

【下書きの1部】

「判じ絵」について

山田 光一

1. はじめに

学校図書館の本で、「判じ絵」というものがあることを知った。
 「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ
 絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもち、詳
 しく調べることにした。

2. 調査方法

学校図書館、地域の図書館、インターネットで情報を集めた。

3. 調査結果

■「判じ絵」とは何か

「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが
 何を意味しているかを解説して楽しむものである。

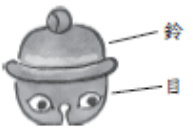


(ア) ただし、【図1】のように、描かれているもの 【図1】 ザル
 と意味しているものが異なるため、解説する際には、「判じる」こ
 と、つまり、知っていることをもとに「おし覚えて考える」ことが必
 要になる。(イ) 言ってみれば、なぜなぞやクイズのようなものなの
 である。(ウ) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後
 期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かっ
 た。(エ) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生
 まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。

(オ) さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現
 代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。

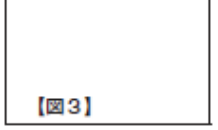
■「判じ絵」の解説の面白さ

「判じ絵」の解説の仕方について、具体的に例を挙げて説明する。



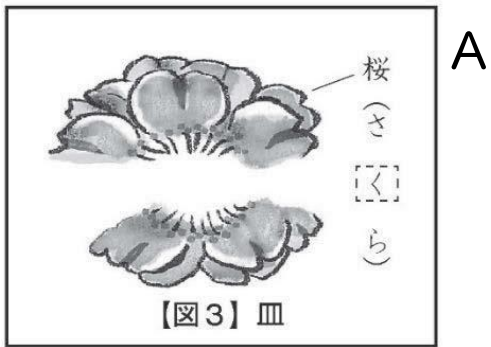
【図2】 スズメ

【図2】は、鈴の絵に目が描かれている。
 描かれているものを組み合わせて解説すると、
 鳥の「スズメ」という意味になる。



四 山田さんは、「■『判じ絵』の解読の面白さ」に【図3】としてもう一つ具体例を示して、解読の仕方を説明しようとしています。あなたなら、どのように書きますか。次のへ候補のA、Bから一つ選び、「【図3】は、「」に続けて、【図2】の説明の仕方を参考にして書きなさい。

〈候補〉



(正答例)

A

【図3】は、真ん中が消えている桜が描かれている。「さくら」という言葉の真ん中の「く」を消して解読すると、食事で使う「皿」という意味になる。

B

【図3】は、「砂」という漢字が逆さまに書かれているので、漢字の読み方も逆にすると、野菜の「ナス」という意味になる。

自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる。

思考判断表現等

B 書くことウ〈考えの形成、記述〉

正答率 63.3% 全国 72.1%

・自分が解読できて満足していないか

→解読方法を書いていない

・A

(【図3】は、)真ん中が消えている桜が描かれている。描かれているものを組み合わせて解読すると、「皿」という意味になる。

・B

(【図3】は、)「砂」という漢字が逆さに描かれているので、「ナス」という意味になる。

…14.5%

無回答率15.4%

4 石井さんは、国語の時間に、「竹取物語」を読みました。その後、学校図書館で、現代語で書かれた「竹取物語」を見付け、読み比べてみました。後の問いに答えなさい。

〔授業で読んだ「竹取物語」の一部〕

〈原文〉

今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの造となむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとつつくしうてゐたり。

〈現代語訳〉

今ではもう昔のことだが、竹取の翁という者がいた。野や山に分け入って竹を取っては、いろいろなことに使っていた。名前を、さぬきのみやつこといった。その竹の中に、根もとの光る竹が一本あった。不思議に思つて、近寄つて見ると、筒の中が光っている。それを見ると、三寸ほどの人が、とてもかわいらしい様子で座っている。

※ 画質を落としています



二〈原文〉の波線部「いと」に対応する言葉を、〈現代語訳〉と【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】からそれぞれ抜き出しなさい。

(正答例)

〈現代語訳〉の欄に「**とても**」、【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】の欄に「**まことに**」と解答しているか

古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる。
知識技能 (3) 我が国の言語文化に関する事項
イ 〈伝統的な言語文化〉

正答率 **60・1%** 全国 **74・1%**

・語彙を習得しているか

→「まことに」という言葉になじみがない

「とても」と「無回答、とても、すごく」等…15.7%

・設問を正確に読み取っているか

→現代語訳からも抜き出すことを読み落とした

「無回答」等と「まことに」…1.4%

・(時間が足りたか?)

上記以外の抜き出し…15.4%

無回答率7.3%

三【学校図書館で見つけた「竹取物語」の一部】は、古典の作品である「竹取物語」に、作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものです。どこがどのようなように工夫されていると考えられますか。【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や【学校図書館で見つけた「竹取物語」の一部】の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。

(正答例)

・「よろづのこと」を「笠、竿、笊、籠、筆、箱、筒、箸。」というように具体的に書いて、翁が竹でどのようなものを作っていたのかが分かるようにしている。

・「手なれた仕事だ。」と付け加えることで、竹を割る翁の様子を読者が想像できるようにしている。

文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。

思考判断表現 C読むこと E《精査・解釈》

正答率 42.2% 全国 50.0%

・表現の働きを考えられているか、設問を正確に読み取っているか

→どのように工夫されているかが書かれていない

「竹取の翁」を「竹取りじいさん」と表現している

「よろづのこと」を「笠、竿、杖、籠、筆、箱、筒、箸。」と書いている など
…7.9%

・根拠を明確にすることができているか

→具体的な表現を取り上げることができない

学校図書館で見つけた「竹取物語」の方が、物語らしく面白くなっている

普通の現代語訳よりも分かりやすく書かれているところが工夫だと思う など
…13.8%

・(時間が足りたか?)

上記以外の記述… 6.3%

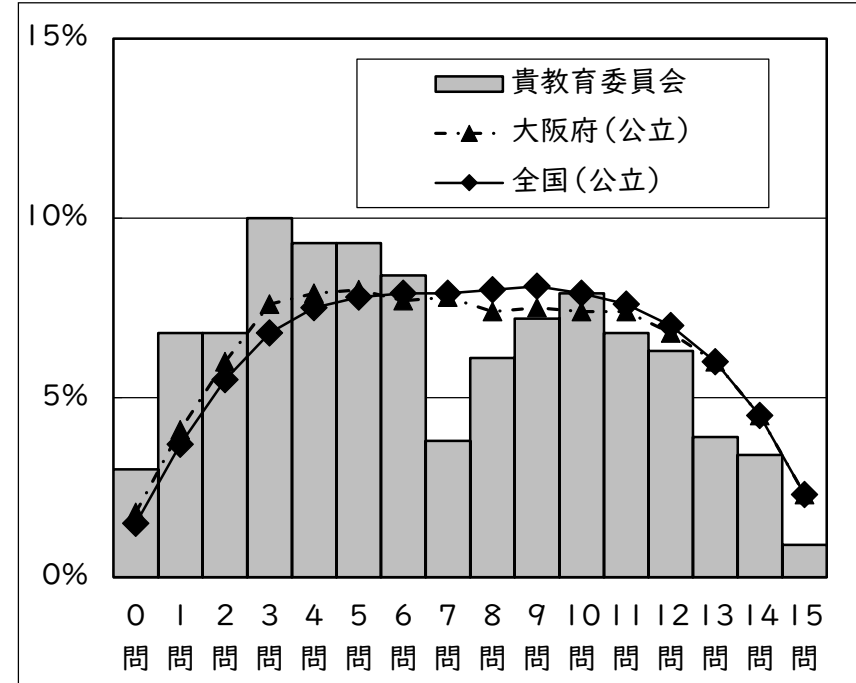
無回答率29.9%

中学校 数学

正答率や質問事項	泉大津市	大阪府	全国
平均正答率	44.0	50.0	51.0
数学の勉強は好きですか	54.4	56.3	56.7
数学の勉強は大切だと思いますか	76.5	83.2	85.0
数学の授業の内容はよく分かりますか	73.4	75.4	73.3
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	65.8	74.2	75.8

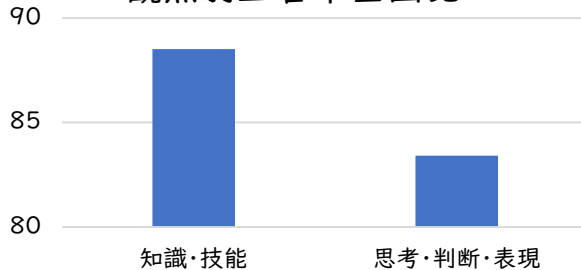
※生徒質問紙「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計(%)

中学校数学 正答数分布



正答数の分布は、総問題数15問中、3問を頂点としつつ、ふたこぶ型を描いています。

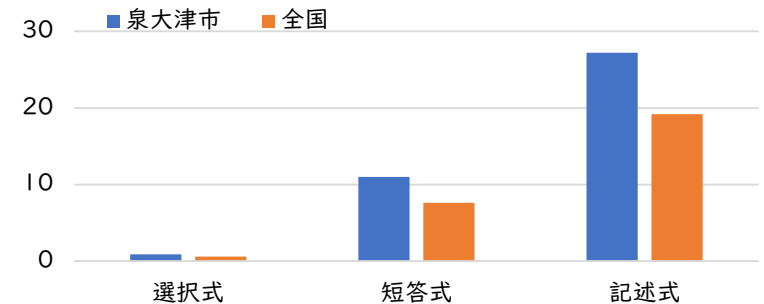
泉大津市 中学校数学
観点別正答率全国比



中学校数学問題別正答率と無解答率

思考・判断・表現よりも、知識・技能の観点の正答率が高くなっています。また、無解答率は、全国平均と比べてすべての解答形式で高くなっています。

中学校数学 問題別 無解答率



* 全国平均正答率を100%とした場合の数値

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)
	全体	15	44	50	51.0
学習指導要領の 領域	A 数と式	5	58.0	63.2	63.0
	B 図形	3	27.4	33.4	33.2
	C 関数	4	42.8	49.5	51.2
	D データの活用	3	40.8	45.0	48.5
評価の観点	知識・技能	10	49.2	55.1	55.7
	思考・判断・表現	5	34.7	39.6	41.6
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	4	41.5	45.8	45.3
	短答式	6	54.4	61.3	62.6
	記述式	5	34.7	39.6	41.6

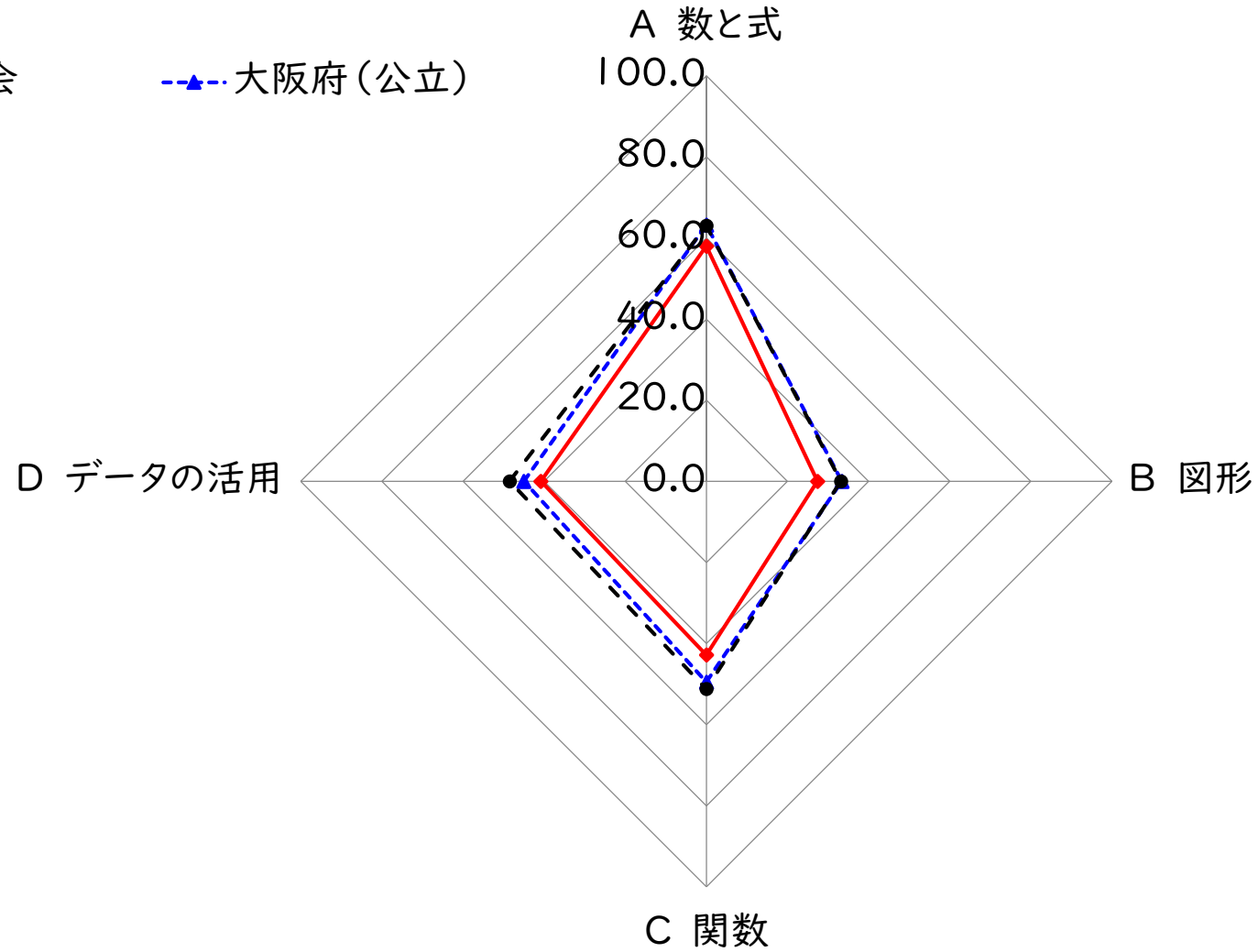
全体的に全国の平均正答率を下回る結果となりました。
「図形」の領域の正答率が30%を下回っており、
「関数」の領域の正答率は、全国・府平均と最も差があります。

中学校数学(領域別)

—●— 貴教育委員会

-▲- 大阪府(公立)

-●- 全国(公立)



結果の傾向と課題

◇自然数の意味を理解しているかどうかや、数と整式の乗法の計算ができるかどうかについては、概ねできています。

『問題番号1: -5、0、3、4、7、9の中から自然数を全て選ぶ』

『問題番号2: $12(x/4 + y/6)$ を計算する』

◆与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることや、事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することについては、課題があります。

『問題番号8(1): 晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差について、グラフのどの2点のx座標の差として表れるかを書く』

『問題番号8(2): 二人の選手のグラフが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ』

具体的な 問題例 大問7(2)

7 イチョウの木の大部分の葉が黄色に変わった最初の日を黄葉日おうようびといいます。一花さんと啓太さんは、黄葉日が以前と比べるとだんだん遅くなってきている傾向にあることをニュースで知り、二人が住む地域も同じ傾向にあるのが気になりました。そこで、二人が住む地域の黄葉日を調べたところ、1961年から2020年までの60年分の記録がありました。

二人は、黄葉日の傾向を調べるために、各年の黄葉日を9月30日からの経過日数で表すことにしました。このとき、経過日数は10月1日が1日となり、10月31日は31日、11月1日は32日となります。

そして、二人は次のような表にまとめました。

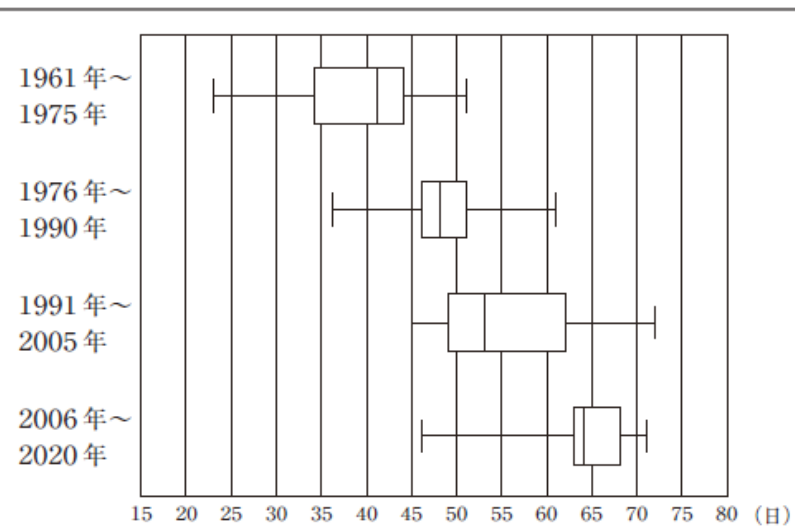
各年の黄葉日

年	黄葉日	経過日数(日)
1961	10月23日	23
1962	11月10日	41
1963	11月10日	41
1964	11月13日	44
1965	11月12日	43
⋮	⋮	⋮
2019	12月10日	71
2020	12月4日	65

二人は、上の表を見て、経過日数が年によって大きくなったり小さくなったりしていることに気づきました。そこで、60年分の経過日数を何年かごとのまとまりで分けて箱ひげ図で表し、それぞれの分布の傾向を比較することにしました。

次のページの黄葉日までの経過日数の分布は、15年ごとのまとまりとして1961年～1975年、1976年～1990年、1991年～2005年、2006年～2020年の4つに分けてまとめたものです。

黄葉日までの経過日数の分布



	経過日数(日)				
	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
1961年～1975年	23	34	41	44	51
1976年～1990年	36	46	48	51	61
1991年～2005年	45	49	53	62	72
2006年～2020年	46	63	64	68	71

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 1961年～1975年の四分位範囲を求めなさい。

(正答の条件)

次の(a)、(b)、(c)のいずれかと、(d)について記述しているもの。

※今回は(a)～(c)のみの記述も正答となっています。

- (a) 1991年～2005年の箱ひげ図の箱よりも2006年～2020年の箱ひげ図の箱の方が右側にあること。
- (b) 1991年～2005年の第1四分位数よりも2006年～2020年の第1四分位数の方が大きく、1991年～2005年の第3四分位数よりも2006年～2020年の第3四分位数の方が大きいこと。
- (c) 1991年～2005年の第3四分位数よりも2006年～2020年の第1四分位数の方が大きいこと。
- (d) 2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあること。

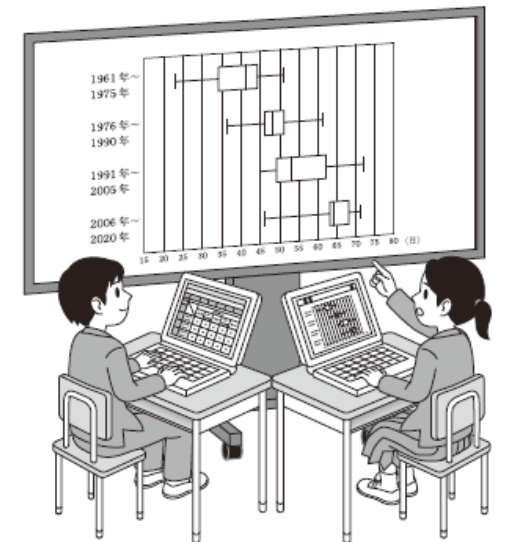
[趣旨] 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。

思考判断表現
D データの活用
正答率26.2% 全国33.6%

(2) 二人は、前ページの箱ひげ図を見て、話し合っています。

一花さん「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなっている傾向がありそうだね。」
啓太さん「でも、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図は、右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。遅くなっているといえるのかな。」
一花さん「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあるといえるのではないかな。」

前ページの箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の2つの箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。



・比較の必要性を理解しているか

箱ひげ図の箱が右側にあるから…1.6%

・質問内容を把握しているか、箱やひげの長さの意味を理解しているか

→箱やひげの長さについて記述した

1991年～2005年の箱の長さよりも2006年～2020年の箱の長さの方が短く、データが集まっているから…9.5%

・最小値だけでは比較できないことを理解しているか

1991年～2005年の最小値よりも2006年～2020年の最小値の方が大きいから…14.9%

・読み取りが逆になっていないか

2006年～2020年の箱ひげ図の箱よりも1991年～2005年の箱ひげ図の箱の方が右側にあるから

1991年～2005年の箱ひげ図よりも2006年～2020年の箱ひげ図の方が最大値が大きいから など…1.3%

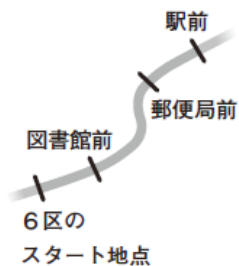
・上記以外の解答

1991年～2005年の黄葉日が終わるころに2006年～2020年の黄葉日が始まっているから

1991年～2005年の方がスタートが早く、2006年～2020年の方は後からスタートしているから など…12.9%

無回答率33.7%

8 大悟さんが住む地域にある新緑大学は、大学対抗駅伝大会に出場します。この駅伝大会では、コースを7区間に分け、1区から7区までをリレー形式で走ります。大悟さんは、新緑大学の6区の選手の応援に行きました。6区の道のりは12000 mあり、6区のスタート地点では、晴天大学が先にスタートし、新緑大学がその100秒後にスタートしました。



大悟さんは、インターネットで6区の速報を見て、新緑大学が晴天大学に追いつきそうだと考え、その地点を予想することにしました。

6区の速報(地点:駅前)		
順位	記録	大学
⋮	⋮	⋮
○	○分○秒	晴天大学
○	○分○秒	新緑大学
⋮	⋮	⋮



そこで、大悟さんは、晴天大学と新緑大学の6区の各地点の記録を、晴天大学の6区の選手がスタートしたときを0秒として、下のようない表にまとめました。

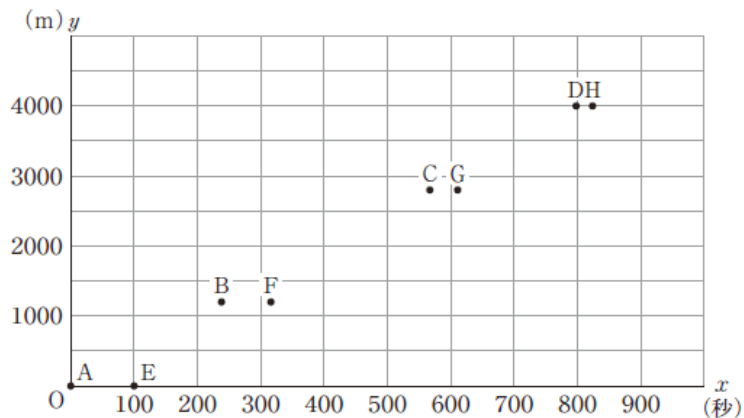
大悟さんがまとめた表

地点	スタート地点からの道のり	晴天大学	新緑大学
スタート地点	0 m	0 秒	100 秒
図書館前	1200 m	238 秒	316 秒
郵便局前	2800 m	567 秒	611 秒
駅前	4000 m	798 秒	824 秒

前ページの大悟さんがまとめた表の記録について、例えば、新緑大学の「316秒」は、晴天大学がスタート地点をスタートしてから316秒後に、新緑大学が図書館前を通過したことを表しています。

大悟さんは、晴天大学の6区の選手がスタートしてからの時間を x 秒、6区の選手が走った道のりを y m とし、前ページの大悟さんがまとめた表をもとに下のようなグラフに表しました。点Aから点Dが晴天大学、点Eから点Hが新緑大学を表しています。

6区の選手の記録のグラフ



次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差は、上の6区の選手の記録のグラフに表された点Aから点Hのうち、2つの点の x 座標の差に表れます。点Aから点Hまでの中から、その2つの点を選んで書きなさい。

[趣旨] 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる。

知識技能
C 関数

正答率46.2% 全国57.5%

具体的な問題例 大問8(1)

(正答) 点D, 点H

・駅前スタートから何mかなど複数のグラフから情報を読み取っているか

DH以外の横並び…12.8%

・x軸y軸の意味を捉えているかAHなど…4.3%

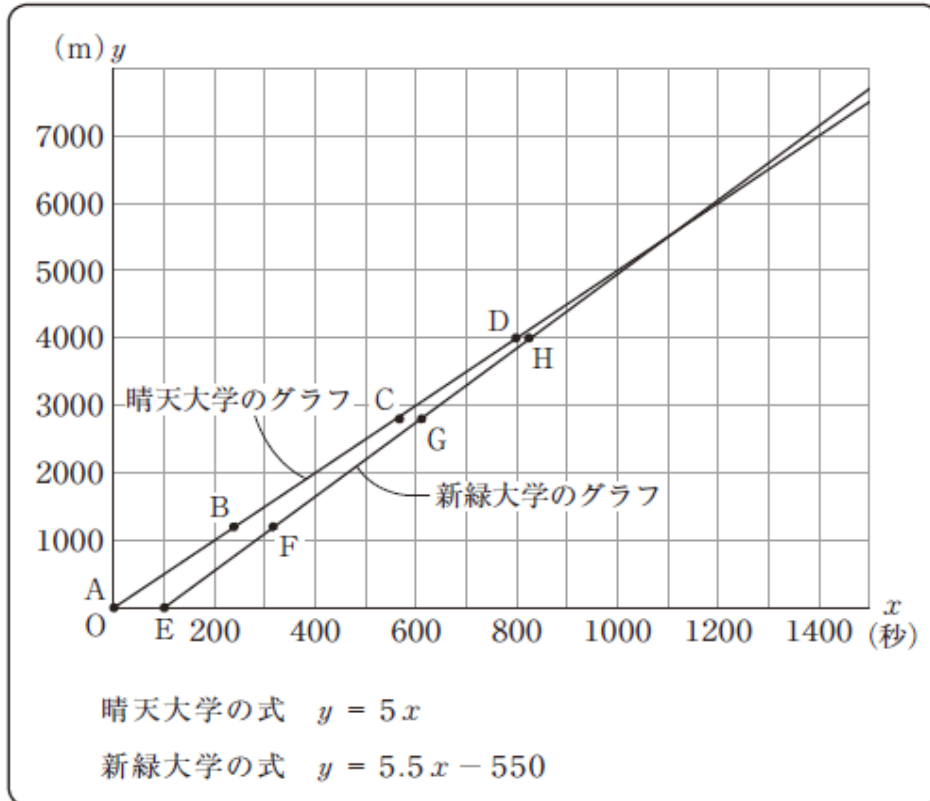
・(時間が足りたか?)
上記以外…24.2%

無回答率…12.5%

具体的な問題例 大問8(2)

(2) 大悟さんは、前ページの6区の選手の記録のグラフを見て、点Aから点Dまで、点Eから点Hまでの各点がそれぞれ一直線上にあると考えることにしました。そこで、コンピュータを使って、次のような2つの直線に表したところ、それぞれの x と y の関係を表す式は、晴天大学が $y = 5x$ 、新緑大学が $y = 5.5x - 550$ と表されました。

コンピュータを使って表された直線のグラフと式



晴天大学のグラフと新緑大学のグラフがそれぞれ直線で表されていることは、二人の選手について次のように考えたことになります。

晴天大学のグラフと新緑大学のグラフがそれぞれ直線で表されていることは、二人の選手について、が一定であると考えたことになります。

上のに当てはまる言葉として正しいものを、下のアからオまでのの中から1つ選びなさい。

- ア それぞれの走る速さ
- イ それぞれの走る時間
- ウ それぞれの走る道のり
- エ 走る時間の差
- オ 走る道のりの差

・速さがグラフ上の何のことか理解しているか
→グラフが直線なら傾きが一定で、変化の割合(平均の速さ)も一定である

・「一定」だけを見ていないか
ウ…20.4%

・(時間が足りたか?)
イ,エ,オ,それ以外…25.5%

無回答率…1.1%

[趣旨] 事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができるかどうかをみる。

知識技能
C 関数

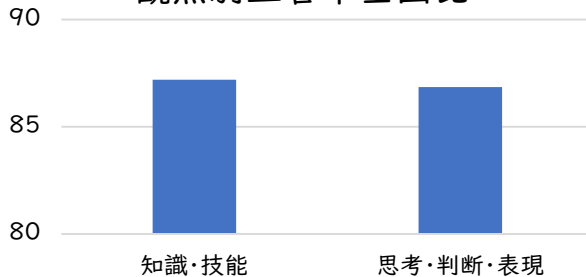
正答率46.2% 全国57.5%

中学校 英語

正答率や質問事項	泉大津市	大阪府	全国
平均正答率	39.0	45.0	45.6
英語の勉強は好きですか	38.3	51.3	51.9
英語の勉強は大切だと思いますか	82.7	87.8	88.0
英語の授業の内容はよく分かりますか	61.0	66.6	63.9
英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	82.6	87.5	87.5

※生徒質問紙「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計(%)

泉大津市 中学校英語
観点別正答率全国比

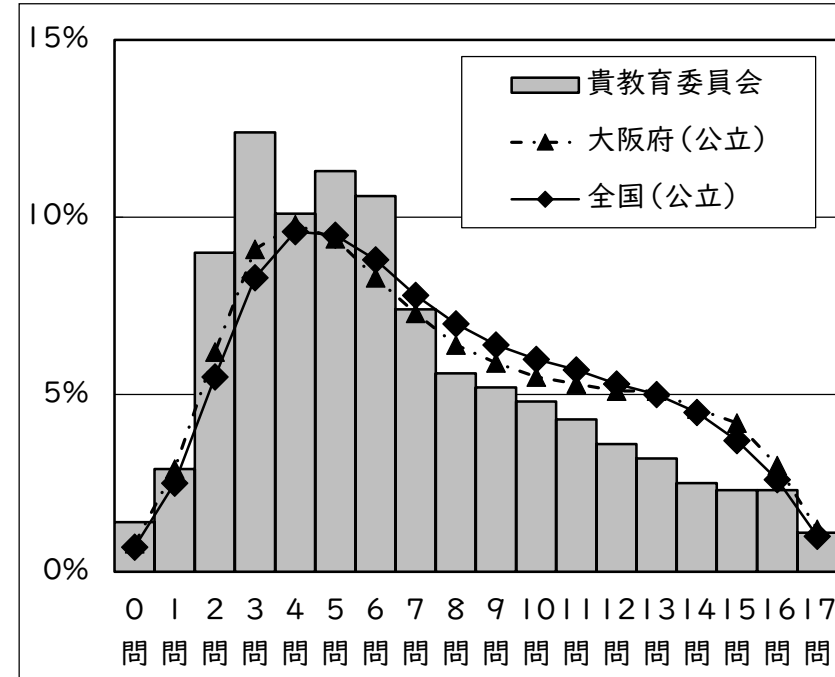


*全国の平均正答率を100%とした場合の数値

中学校英語問題別正答率と無解答率

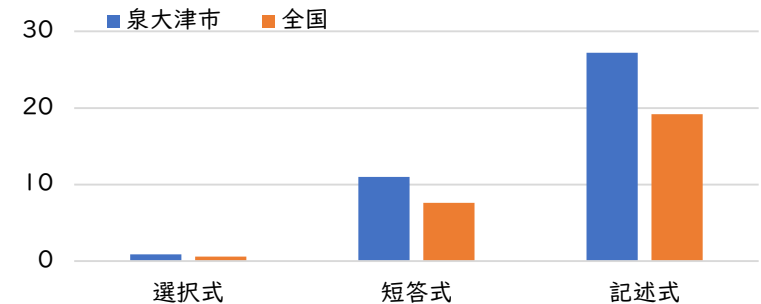
思考・判断・表現よりも、知識・技能の観点の正答率が高くなっています。また、無解答率は、全国平均と比べてすべての解答形式で高くなっています。

中学校英語 正答数分布



正答数の分布は、総問題数17問中、3問を頂点としつつ、左寄りの山型を描いています。

中学校数学 問題別 無解答率



分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)
	全体	17	39	45	45.6
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	6	50.9	57.4	58.4
	(2) 読むこと	6	45.4	50.2	51.2
	(3) 話すこと[やり取り]	4	9.2		14.5
	(4) 話すこと[発表]	1	2.2		4.2
	(5) 書くこと	5	18.0	24.8	23.4
評価の観点	知識・技能	9	44.9	51.2	51.5
	思考・判断・表現	8	32.9	38.7	38.8
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	12	48.2	53.8	54.8
	短答式	3	23.7	31.7	30.1
	記述式	2	9.5	14.6	13.5

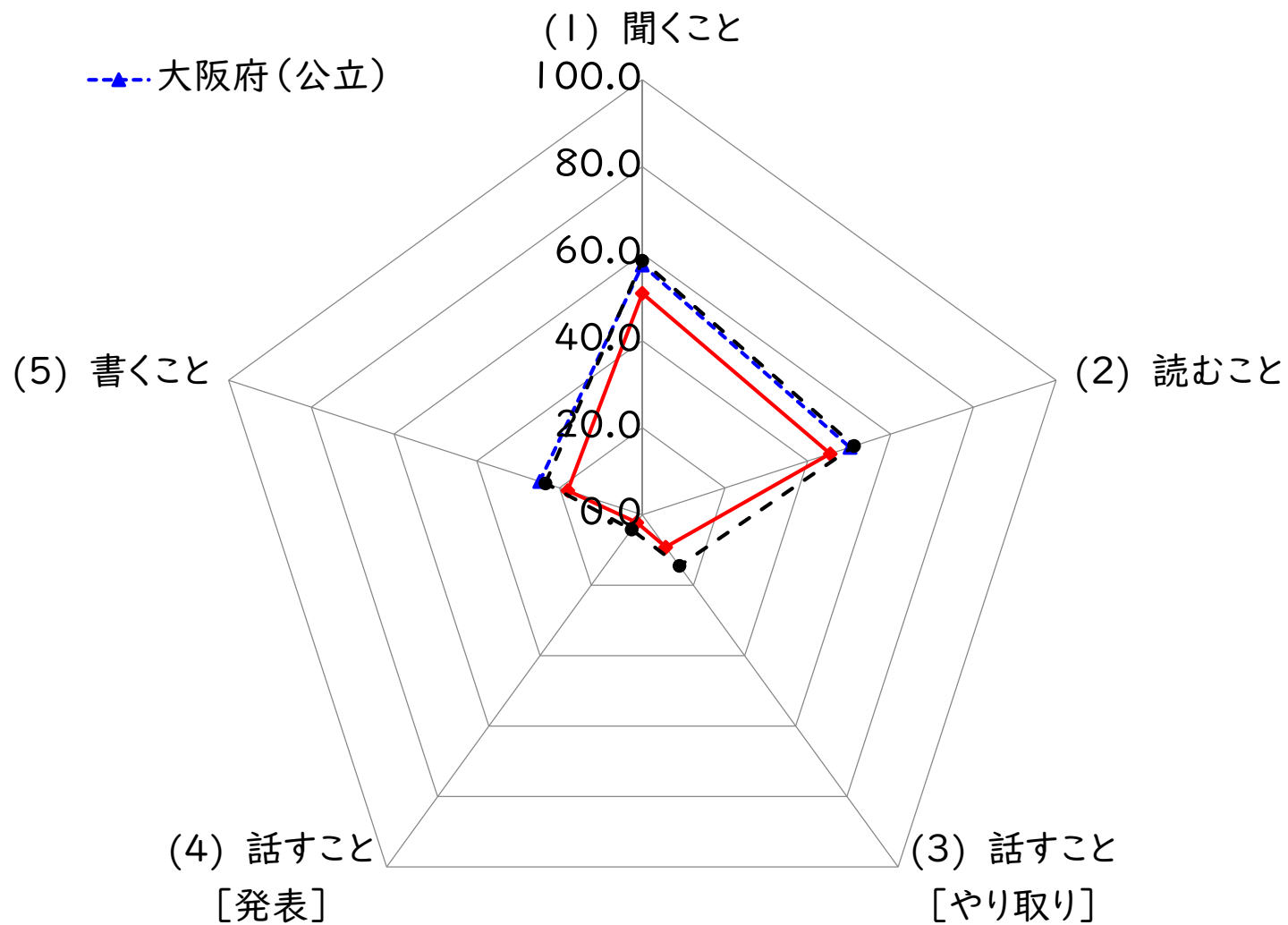
全体的に全国の平均正答率を下回る結果となりました。
英語においては、「書くこと」の領域の正答率が20%を下回っており、
「聞くこと」の領域の正答率は、全国・府平均と最も差があります。

中学校英語(領域別)

—●— 貴教育委員会

-▲- 大阪府(公立)

-●- 全国(公立)



結果の傾向と課題

◇文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかについては、概ねできています。

『問題番号7(1):図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する』

◆情報を正確に聞き取ったり読み取ったりすることができるかどうかや、社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかについては、課題があります。

『問題番号1(2):道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する』

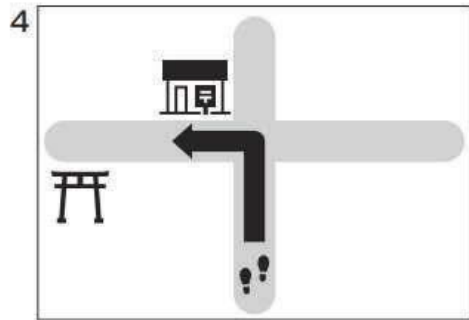
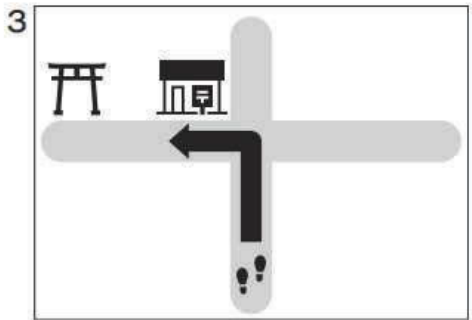
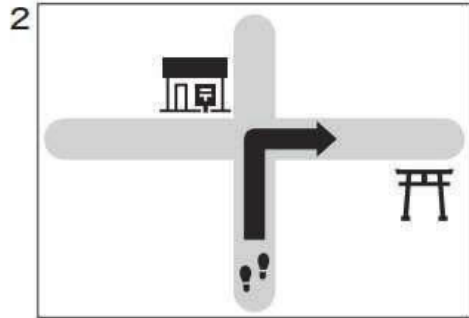
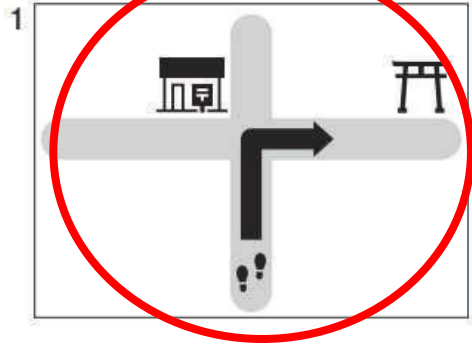
『問題番号5(1):ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する』

『問題番号8(1):ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する』

具体的な問題例
大問1(2)

1(2) 話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ1から4までの中から1つ選びなさい。

(2) <道案内>



[趣旨] 情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる。
知識技能 聞くこと 道案内
正答率54.9% 全国64.4%

・turn right やon your left を聞き取れるか
2,3,4...45.1%

無回答率...0.4%

(スクリプト)

A: Excuse me. Can you tell me the way to the shrine?

B: Sure. Go straight and walk for about five minutes. When you see the post office, **turn right**. Keep walking, and the shrine is **on your left**.

A: I see. Thank you.

具体的な問題例 大問5(1)

5

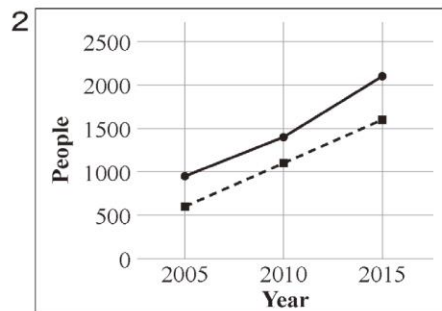
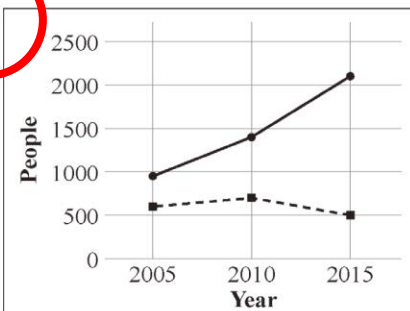
(1) 次の英文を読んで、その内容を最も適切に表しているグラフを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

In 2005, about 1,000 tourists from abroad came to Minami City. During the next ten years, the number went up. Over 2,000 tourists came to Minami City in 2015. The number of tourists from Minami City to other countries didn't go up.

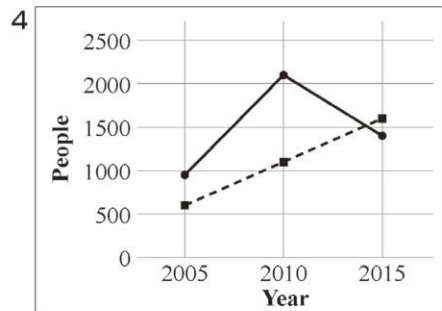
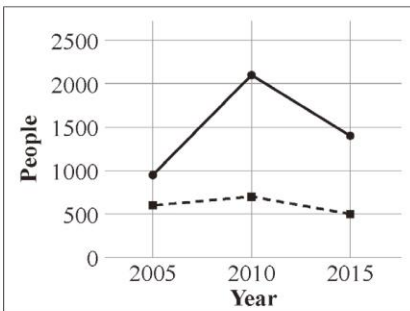
南市への旅行者(2005年)は1000人で、10年間伸び続け、2015年に2000人を越えた。南市からの海外への旅行者は増えていない。

— : Tourists from abroad to Minami City
 ---- : Tourists from Minami City to other countries

1



3



[趣旨] 情報を正確に読み取ることができるかどうかをみる。
 知識技能 読むこと
 正答率46.0% 全国56.0%

・主語が長い英文に対応できるか
 didn't go up の否定部分を見落としていないか
 2...26.9%

・2000や2015などが、人数なのか年代
 なのかを読み取れているか
 3...16.0%

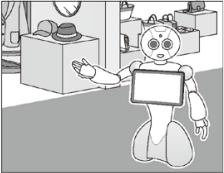
・ほぼ読めていないか
 4...11.0%

無回答率...0.2%

具体的な問題例 大問8(1)

- 8 英語の授業で、ブラウン先生が作成した文章が学習者用端末に送信されました。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?



- (1) ブラウン先生が最も伝えたいことを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 We see many kinds of robots around us.
身の周りでいろいろなロボットを見かける
- 2 I saw a robot and it was working as a guide.
案内ロボットを見た
- 3 People will have fun if they live with robot pets.
ペットロボットがいたら楽しい
- 4 Robots can change many people's lives for the better.
ロボットは人々の生活をより豊かにする可能性がある

- (2) ブラウン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡潔に書きなさい。

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

・そもそも読んでいるか

1,2,3...52.6%

無回答率...0.9%

(注) plate: 皿 even if ~: たとえ~だとしても
apartment: アパート agree with: ~に賛成する

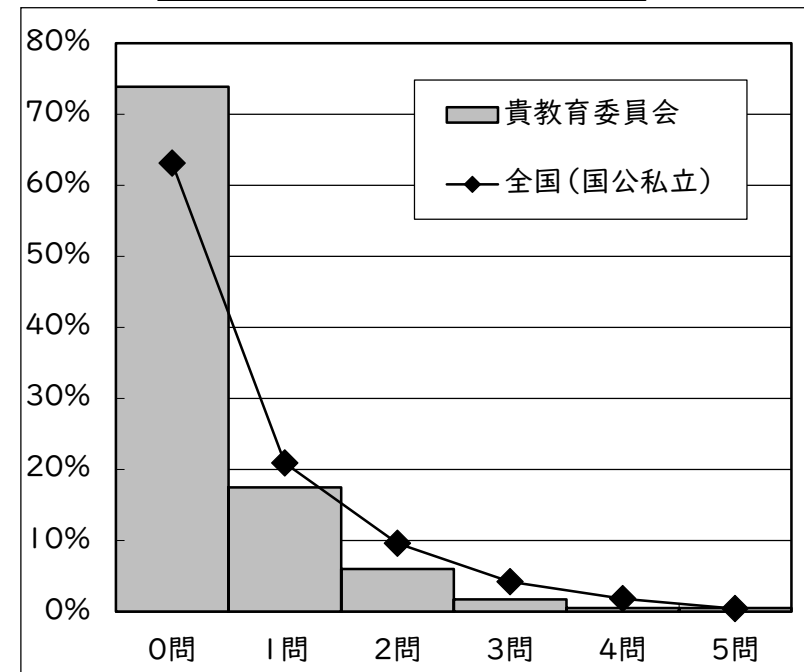
[趣旨] 社会的な話題について、短い文章の要点を捉えて、それに対する自分の考えとその理由を書くことができるかどうかをみる。
思考判断表現 読むこと
正答率46.5% 全国56.1%

中学校 英語「話すこと」

正答率や質問事項	泉大津市	大阪府	全国
平均正答率	8.0		12.8
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	59.9	67.0	66.8
日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	52.7	60.4	63.2
将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	35.3	40.2	36.7
これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか	29.5	33.2	30.0

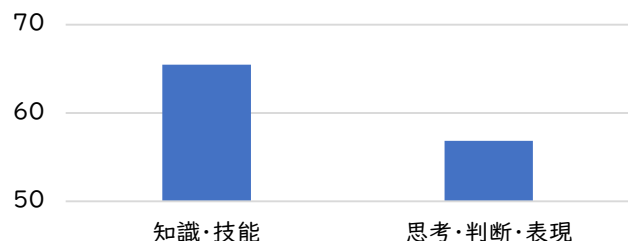
※生徒質問紙「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計(%)

「話すこと」正答数分布



正答数の分布は、総問題数5問中、0問を頂点として、右下がりになっています。

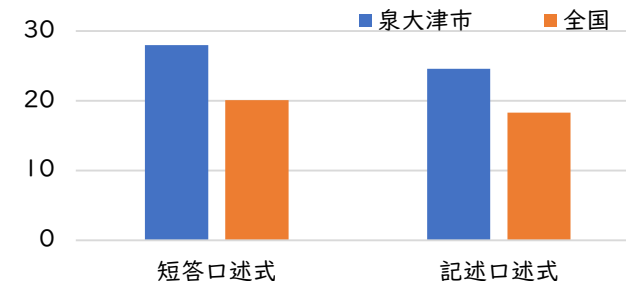
泉大津市 中学校英語 観点別正答率全国比



中学校英語「話すこと」問題別正答率と無解答率

思考・判断・表現よりも、知識・技能の観点の正答率が高くなっています。また、無解答率は、全国平均と比べてすべての解答形式で高くなっています。

中学校英語 問題別 無解答率



* 全国(国公立)の平均正答率を100%とした場合の数値

結果の傾向と課題

◇日付に関する基本的な表現を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかについては、概ねできています。

『問題番号1(1):動物園でのやり取りの中で、留学生の質問を受け、ゾウの誕生日を伝える』

◆未来表現 (be going to) や疑問文の特徴を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかについては、課題があります。

『問題番号1(2):動物園でのやり取りの中で、留学生の質問を受け、次の予定を伝える』

『問題番号1(3):動物園でのやり取りの中で、カンガルーが食べるものについて留学生に質問する』

具体的な問題例 大問1(2)

あなたは、オーストラリアからの留学生ソフィアのために動物園へ行く予定をたてました。今日がその当日です。会話が続いていくように、質問に答えたり、あなたの考えを伝えたりしましょう。指示がある場合は、その指示に従って答えましょう。問題は(1)から(4)まであります。解答時間は(1)から(3)が7秒、(4)が20秒です。それでは、始めます。



[趣旨] 未来表現 (be going to) を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかをみる。

知識技能 話すこと

正答率4.6% 全国9.4%

・be going to を使えるか
使ったが文法×…18.2%
使えていない…53.0%

無回答率…24.2%

1(2) (スクリプト)

I was so excited to see the baby elephant. So, what are we going to do next?

具体的な問題例 大問1(3)

あなたは、オーストラリアからの留学生ソフィアのために動物園へ行く予定をたてました。今日がその当日です。会話が続いていくように、質問に答えたり、あなたの考えを伝えたりしましょう。指示がある場合は、その指示に従って答えましょう。問題は(1)から(4)まであります。解答時間は(1)から(3)が7秒、(4)が20秒です。それでは、始めます。



[趣旨] 疑問文の特徴を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかをみる。

知識技能 話すこと

正答率5.8% 全国13.4%

・カンガルーが食べるものについて質問したか
質問したが文法×…21.6%
食べ物と関係がない…44.0%

無回答率…22.8%

1(3) (スクリプト)

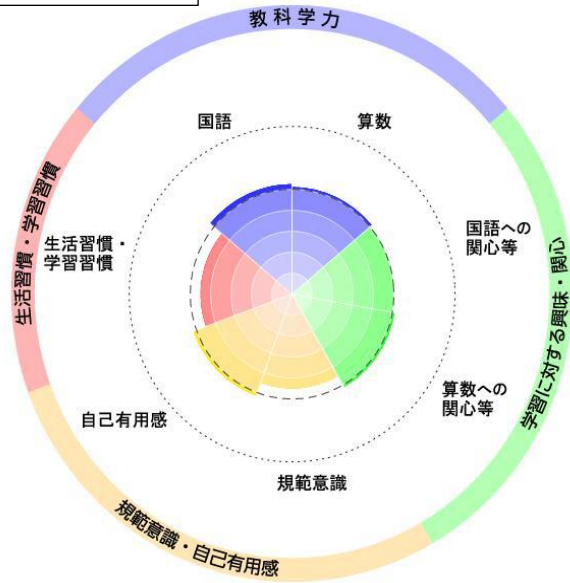
Look! Kangaroos! They are really famous in my country, Australia. I know a lot about them.

Do you have any questions about kangaroos? Please ask me.

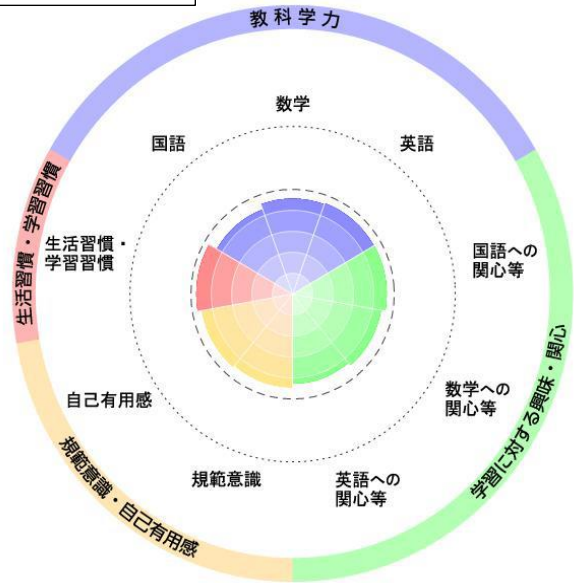
児童・生徒質問紙の結果から

児童・生徒質問紙の結果では、生活習慣・学習習慣、規範意識・自己有用感、学習に対する興味・関心、教科学力の項目平均(当てはまる・どちらかといえば当てはまるの合計)から、全国を基準とした泉大津市の特徴をまとめています。

小学校

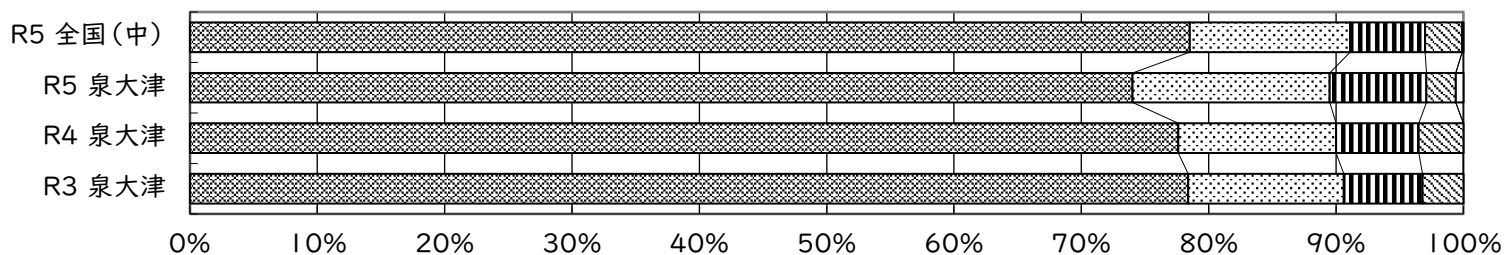
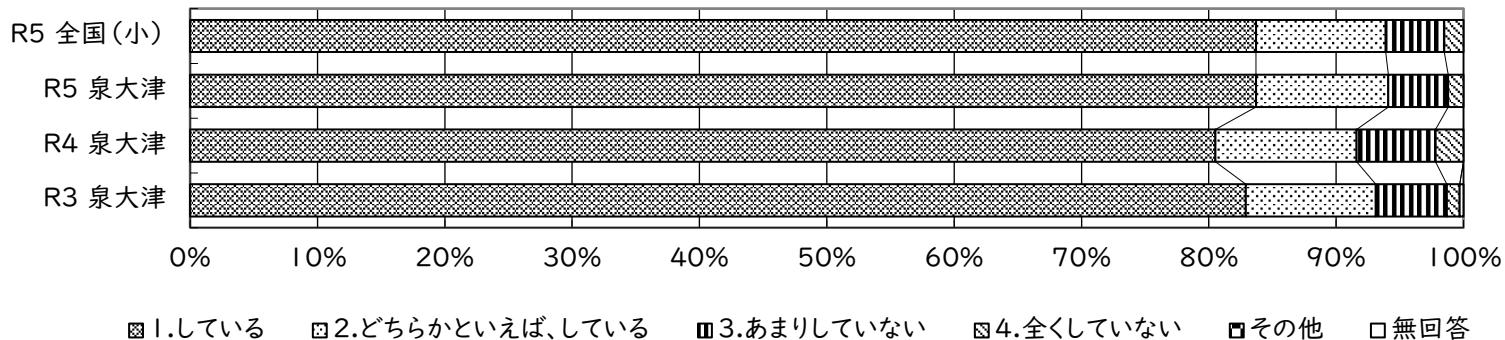


中学校

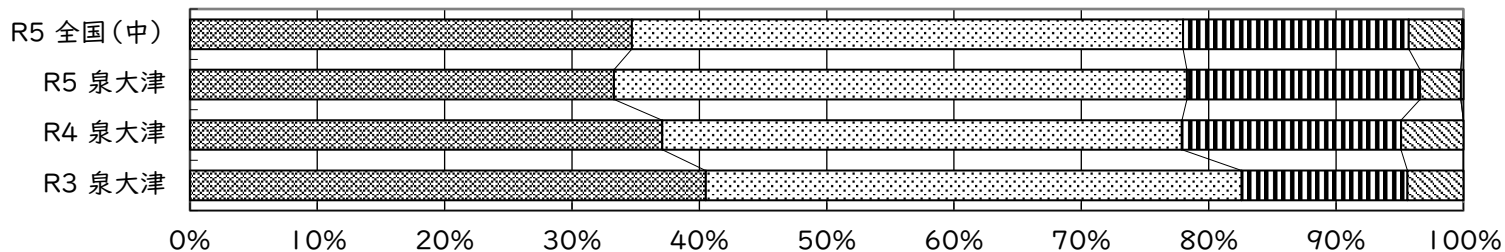
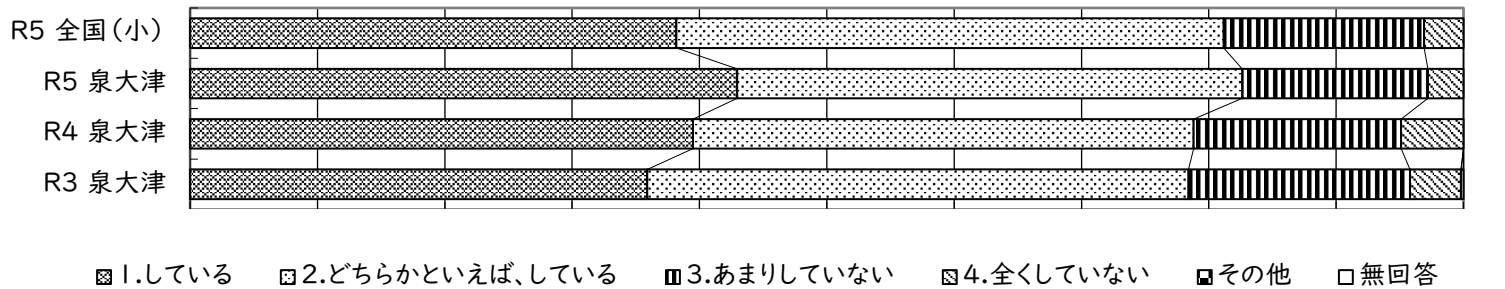


生活習慣・学習習慣について

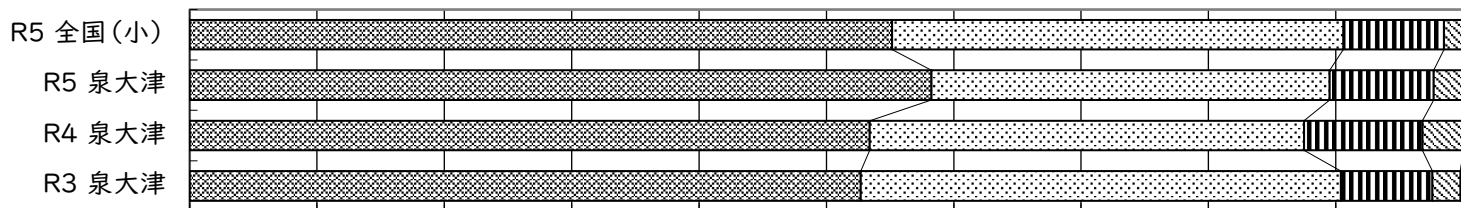
【質問1】朝食を毎日食べていますか



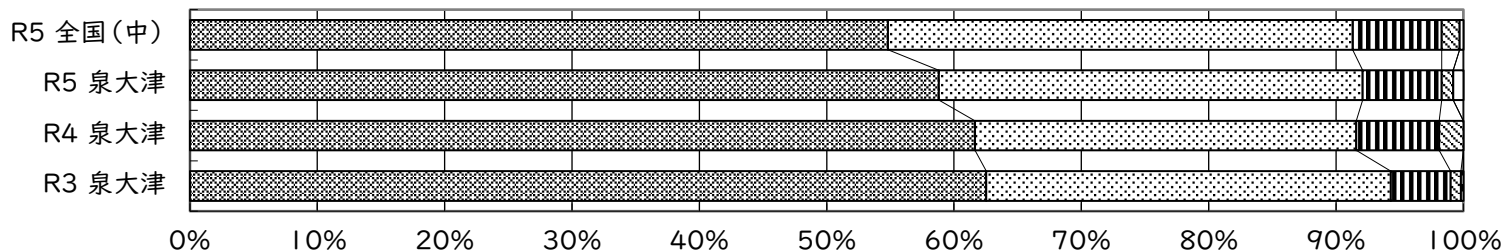
【質問2】毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



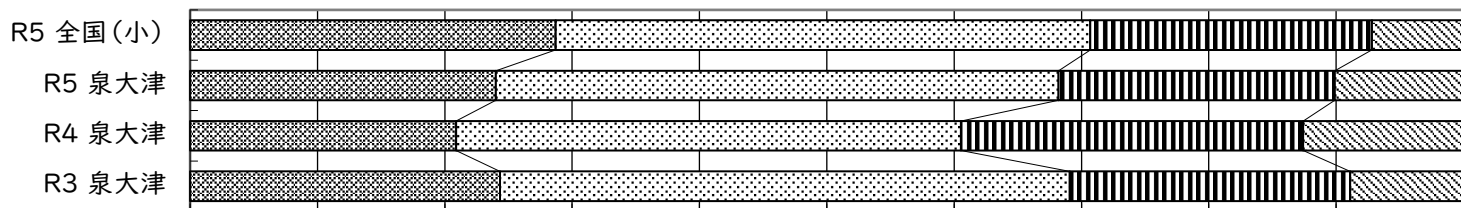
【質問3】毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



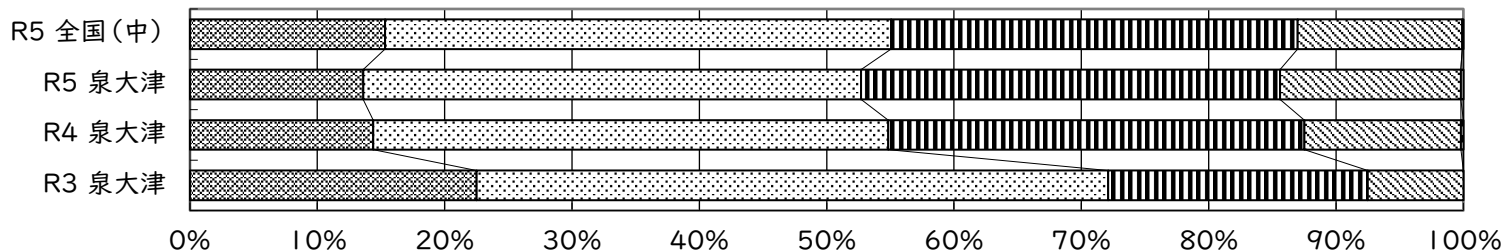
■ 1. している ▨ 2. どちらかといえば、している ▩ 3. あまりしていない ▧ 4. 全くしていない ■ 5. その他 □ 6. 無回答



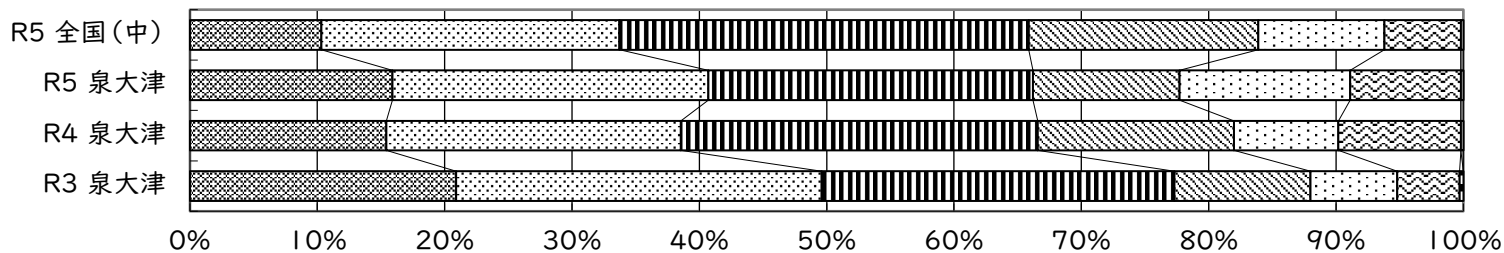
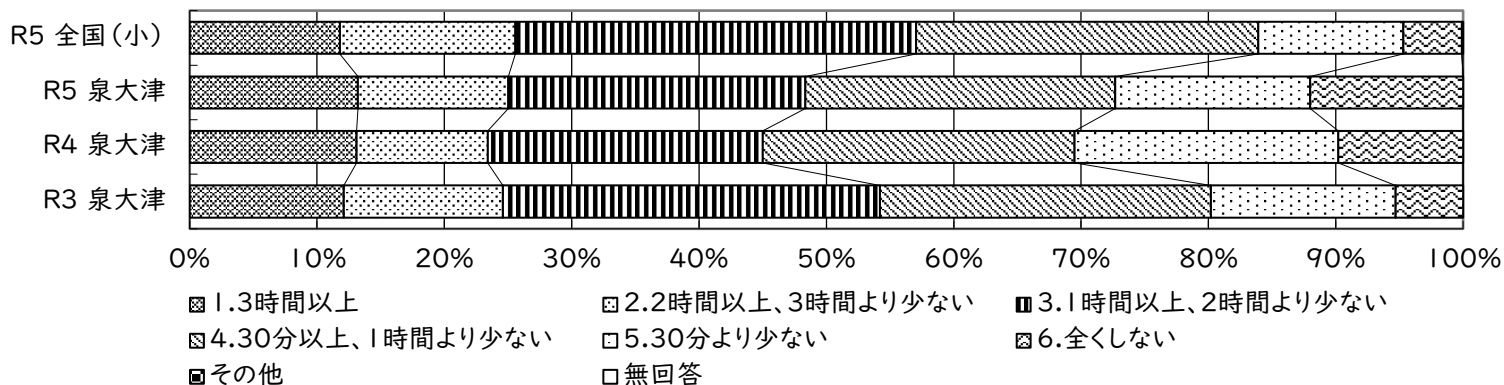
【質問4】家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)



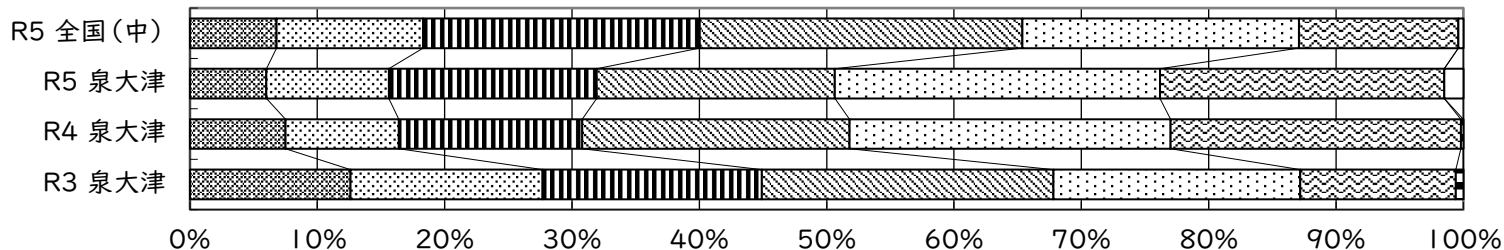
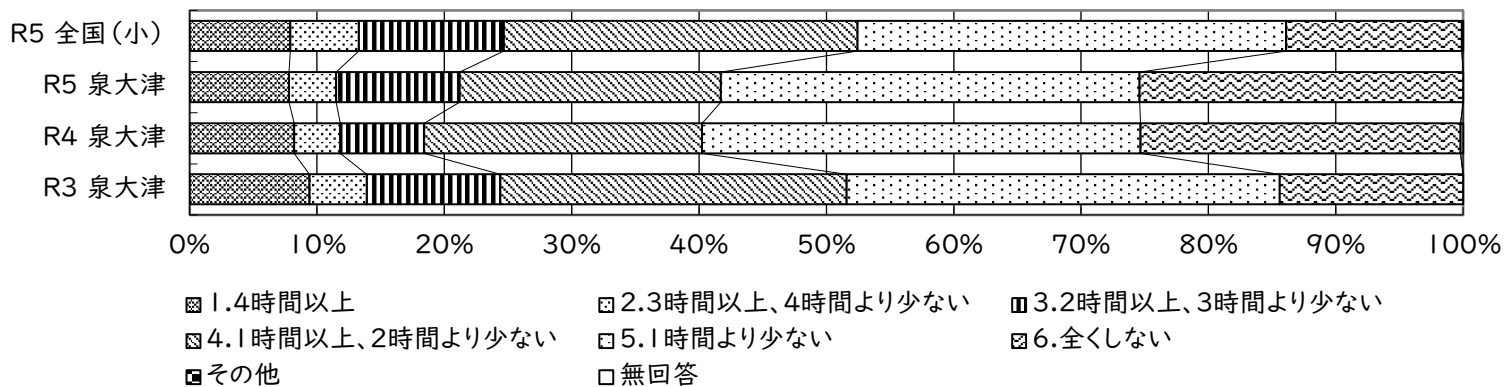
■ 1. よくしている ▨ 2. ときどきしている ▩ 3. あまりしていない ▧ 4. 全くしていない ■ 5. その他 □ 6. 無回答



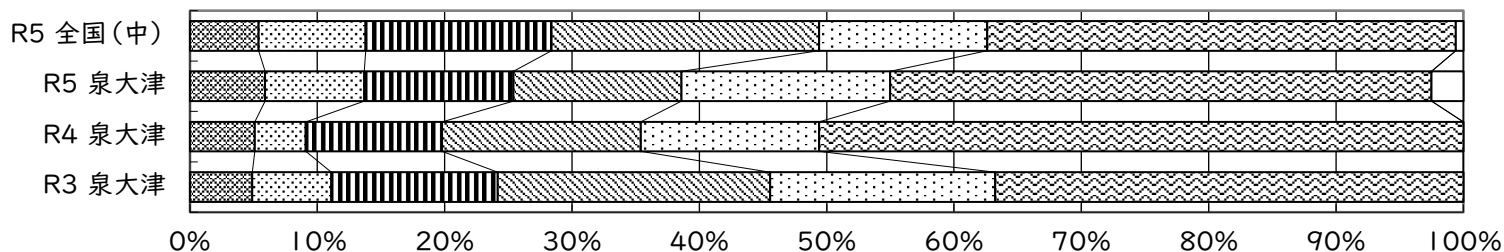
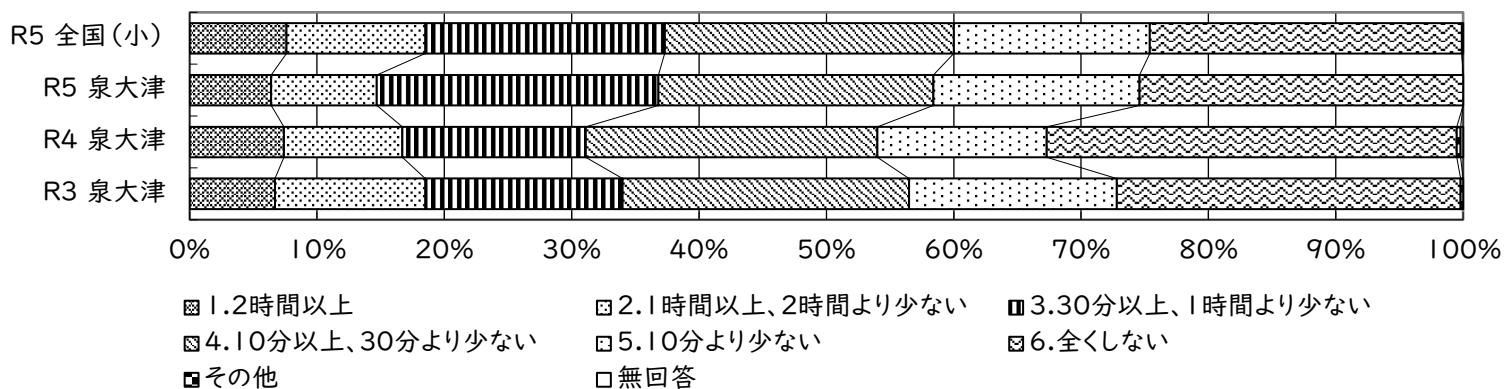
【質問5】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



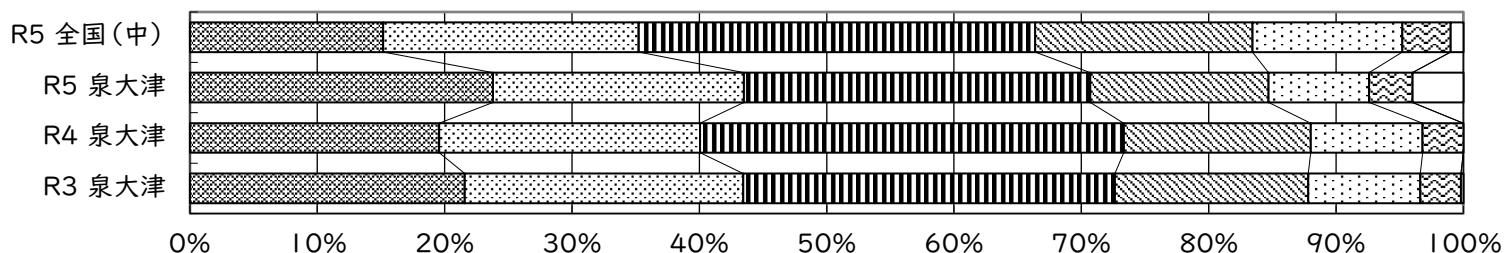
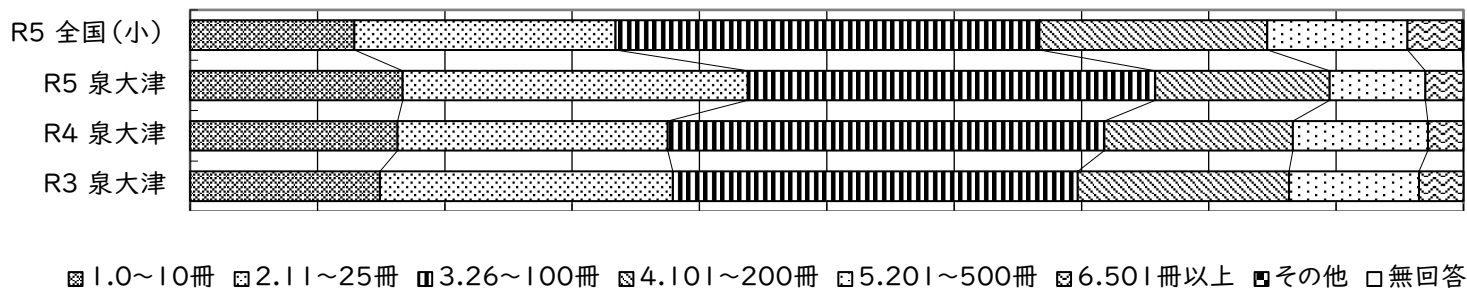
【質問6】土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



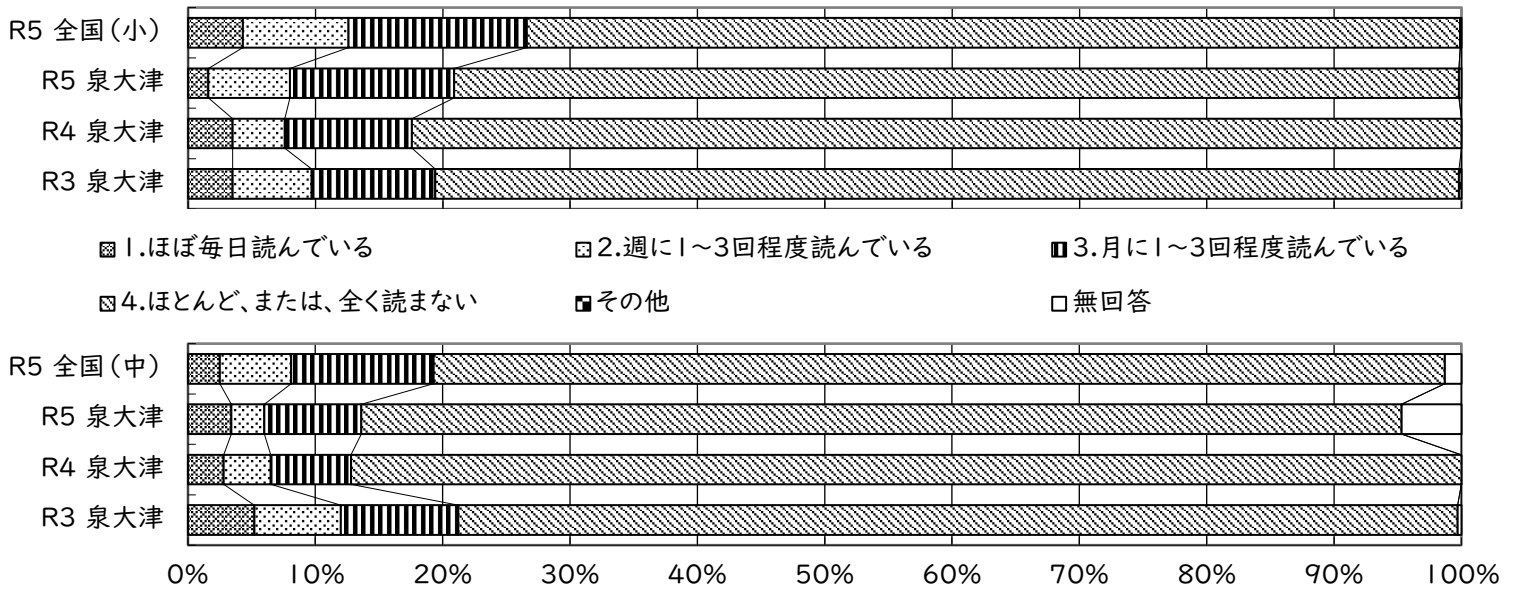
【質問7】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



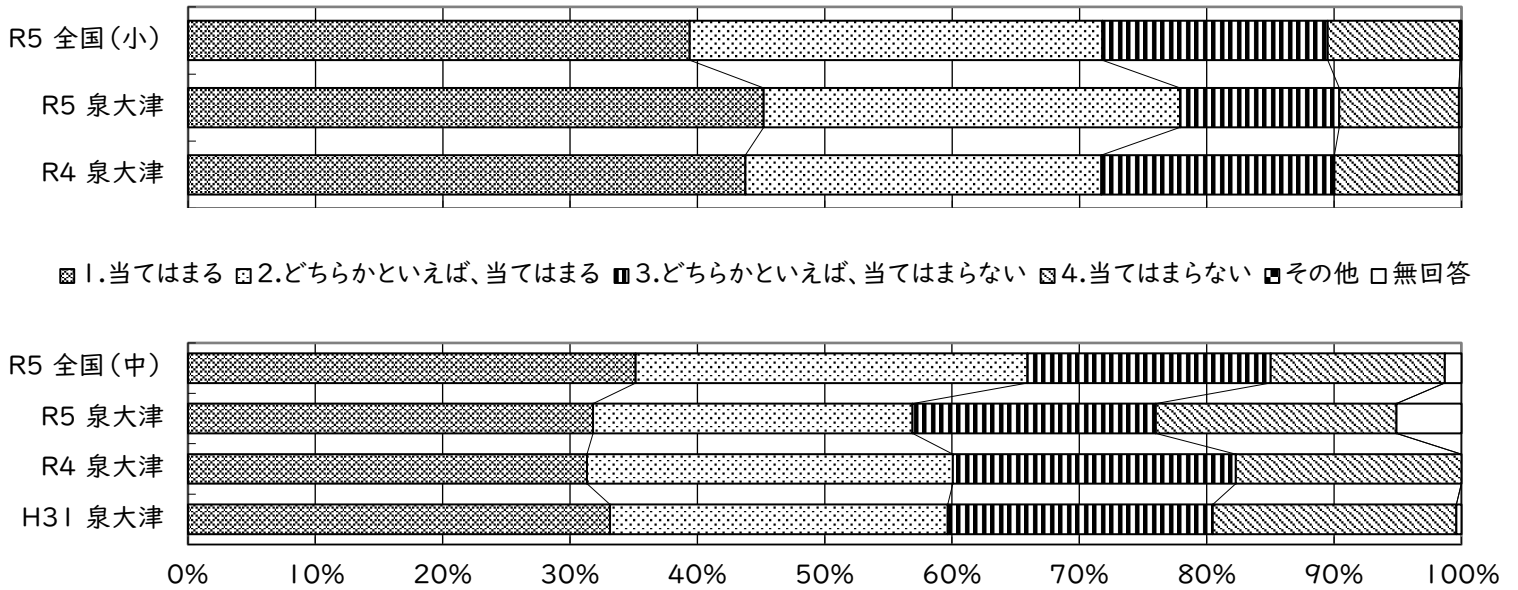
【質問8】あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）



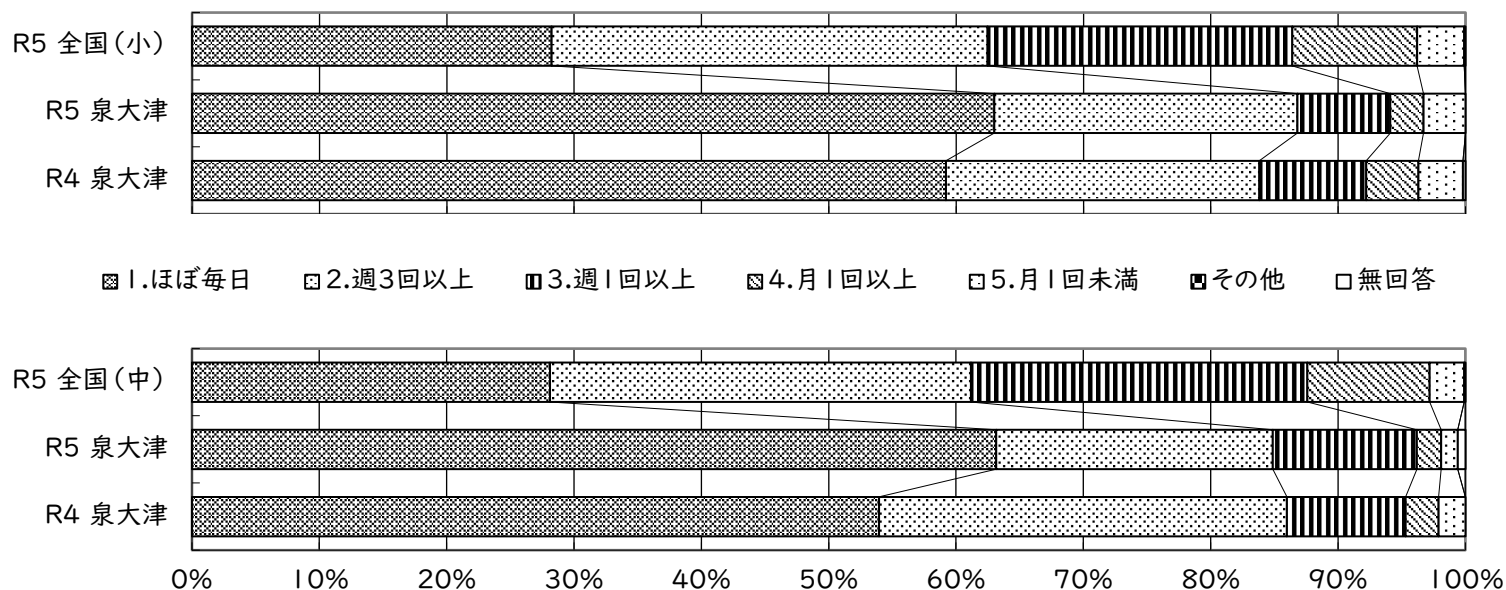
【質問9】新聞を読んでいますか



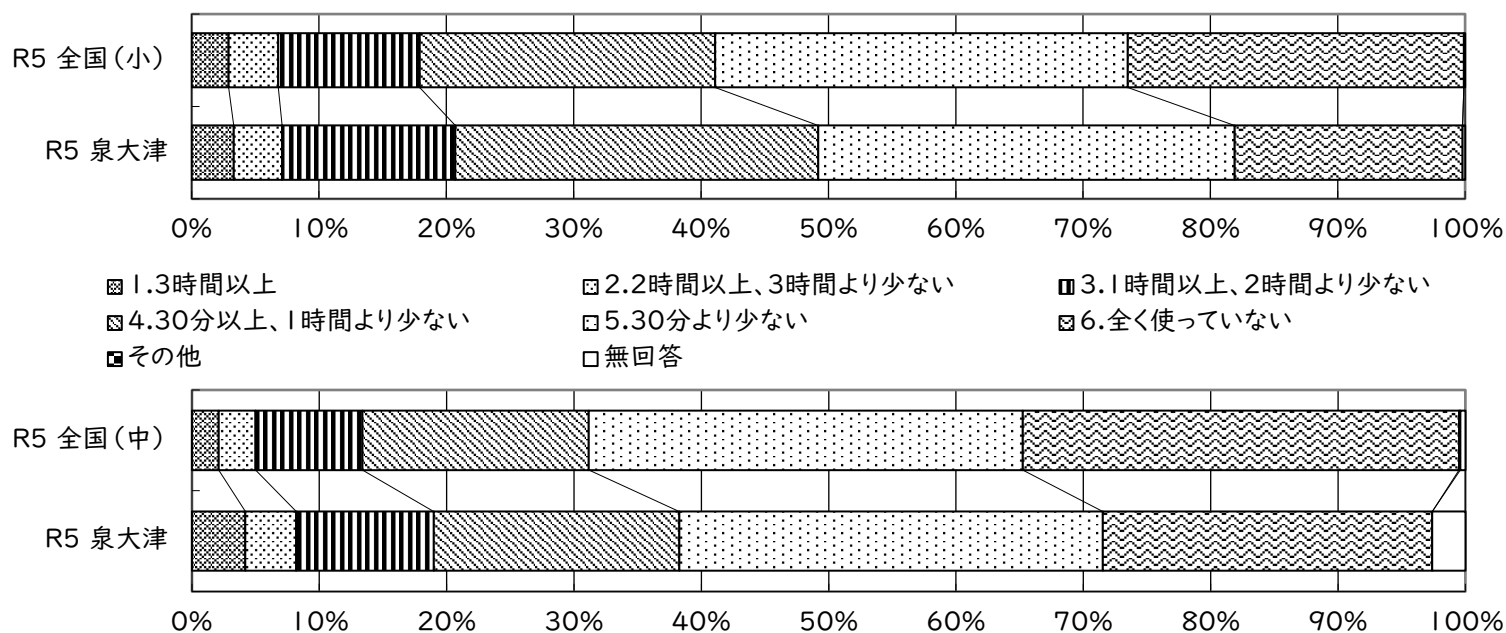
【質問10】読書は好きですか



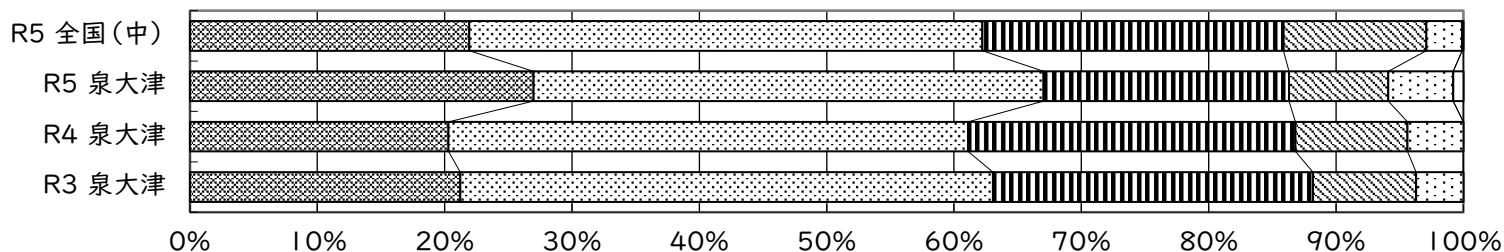
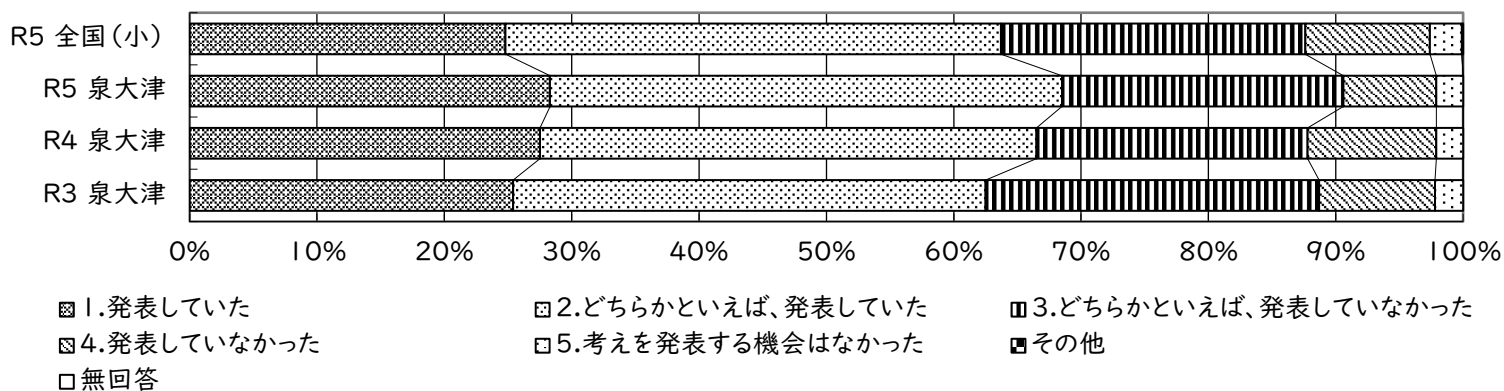
【質問11】昨年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、
どの程度使用しましたか



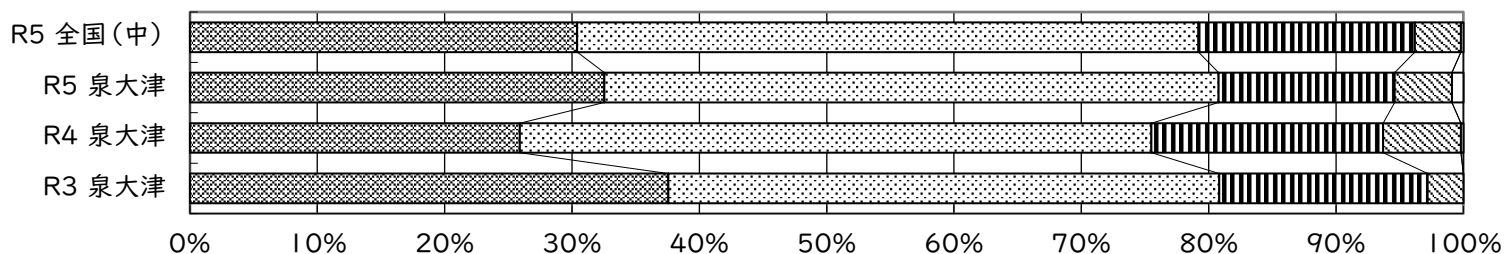
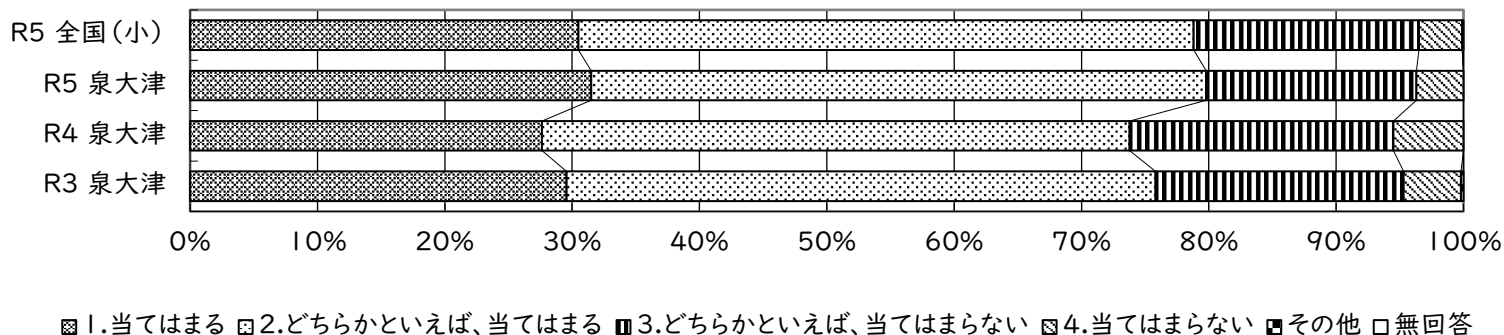
【質問12】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、
PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う
時間は除く）



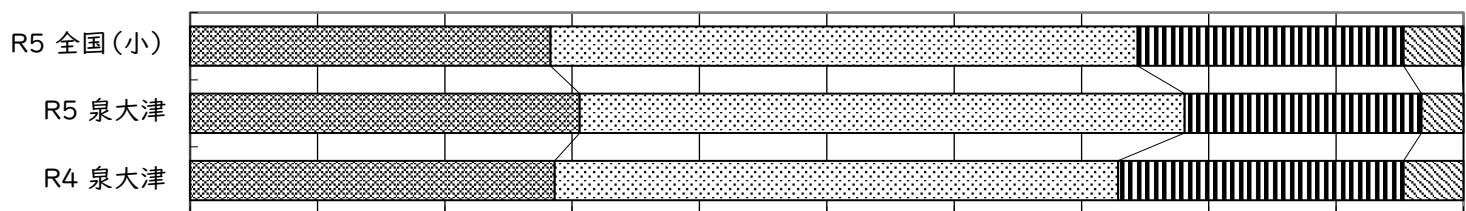
【質問13】昨年度までに受けた授業で、自分の考えを公表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



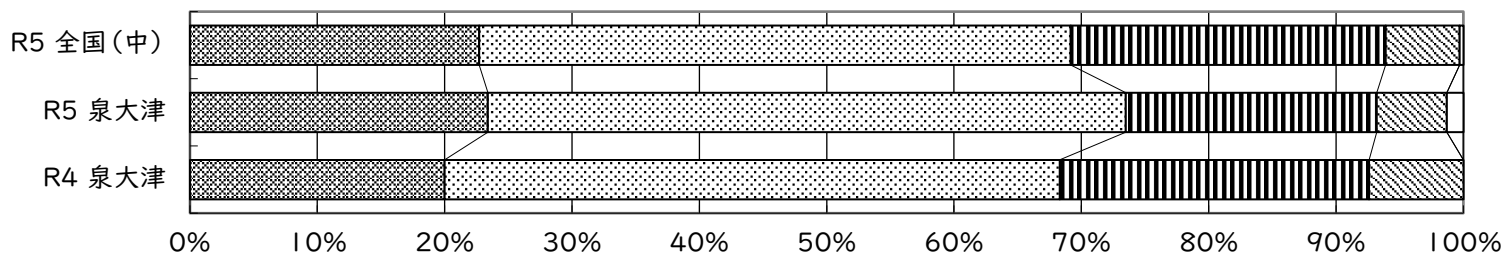
【質問14】昨年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



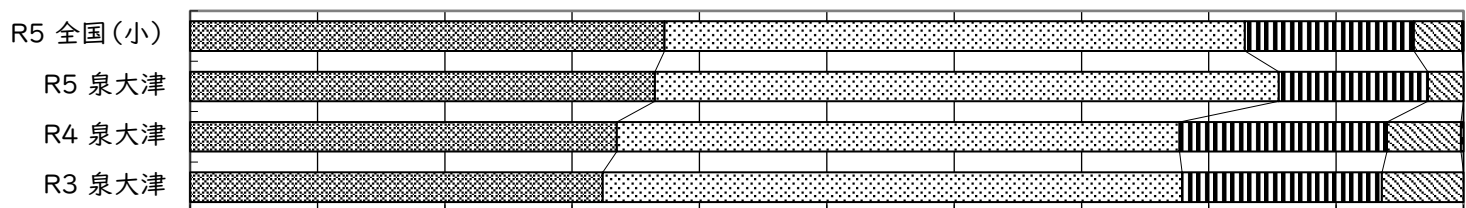
【質問15】昨年度までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



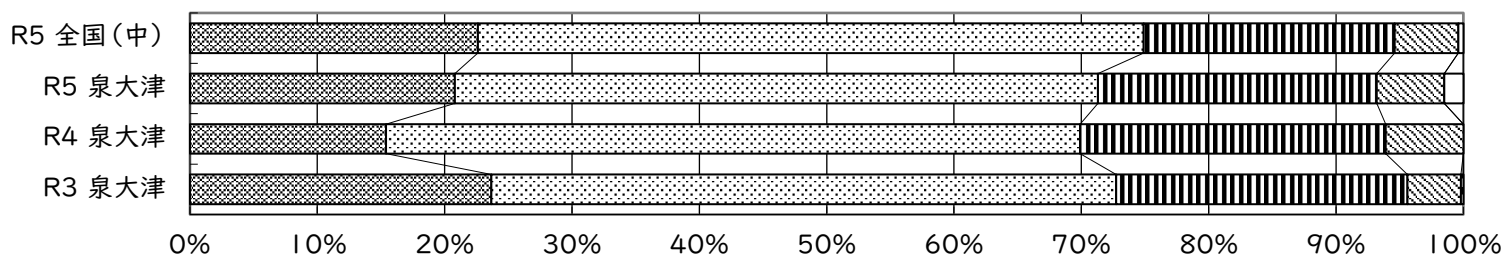
■ 1. 当てはまる □ 2. どちらかといえば、当てはまる ■ 3. どちらかといえば、当てはまらない □ 4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答



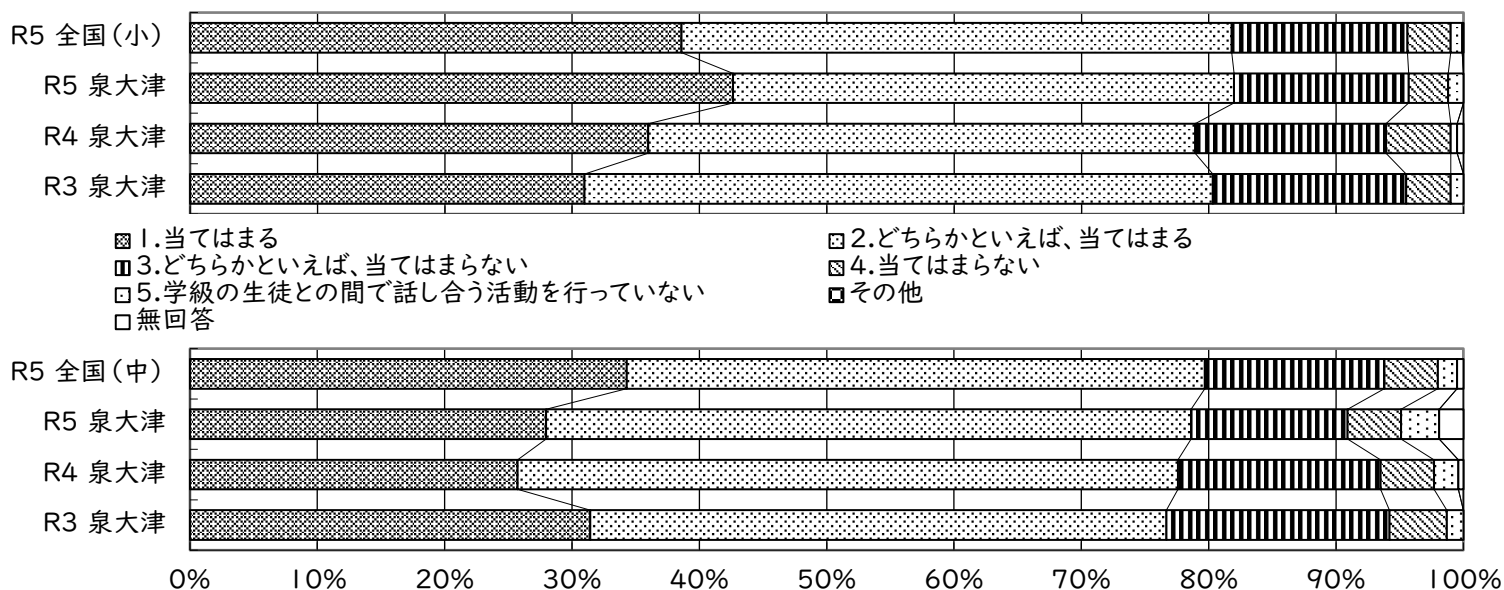
【質問16】昨年度までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか



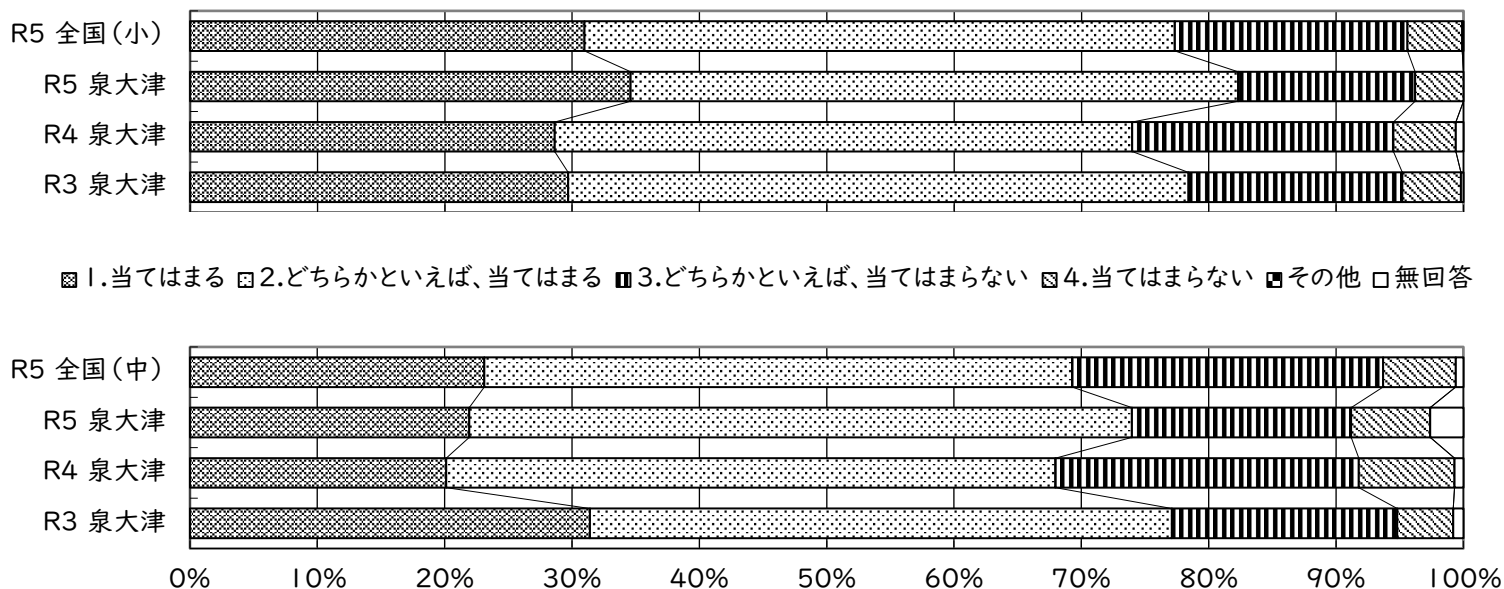
■ 1. 当てはまる □ 2. どちらかといえば、当てはまる ■ 3. どちらかといえば、当てはまらない □ 4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答



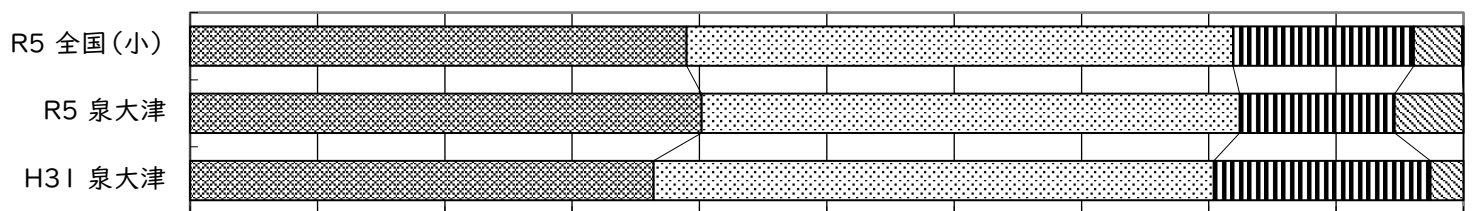
【質問17】学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



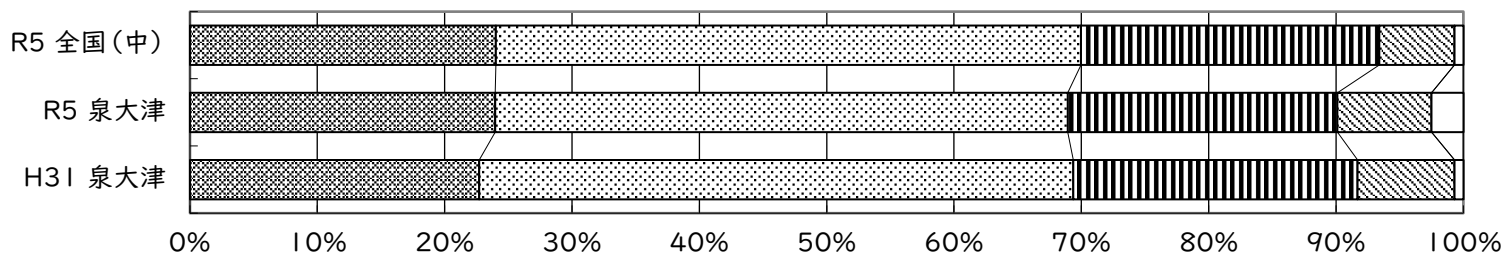
【質問18】学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



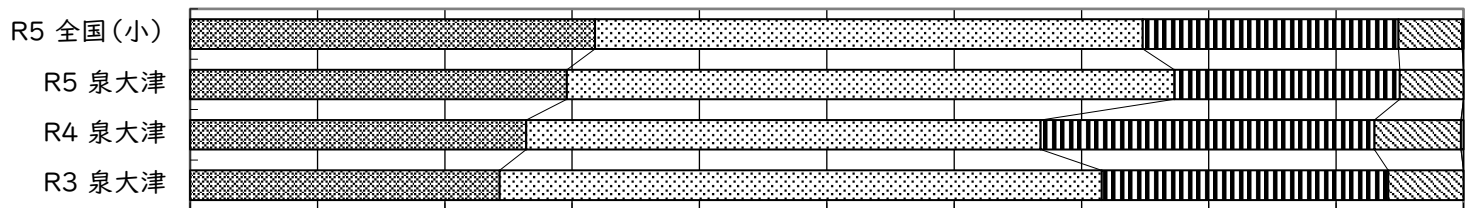
【質問19】授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか



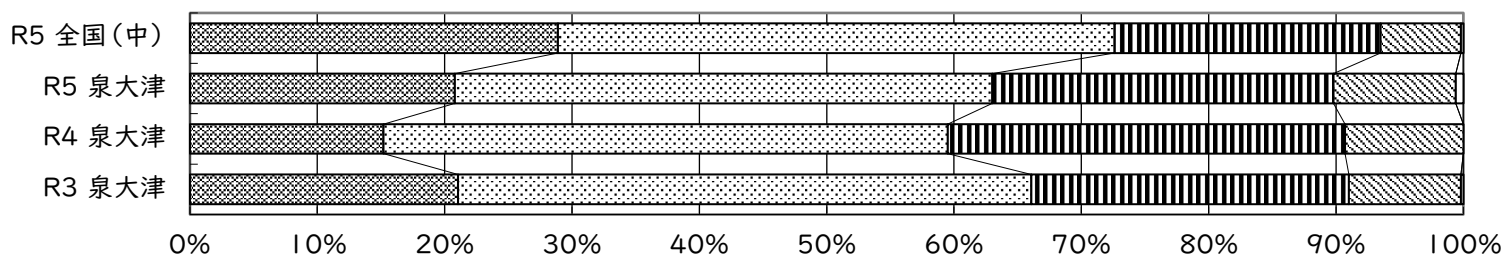
■ 1.当てはまる □ 2.どちらかといえば、当てはまる ■ 3.どちらかといえば、当てはまらない □ 4.当てはまらない ■ その他 □ 無回答



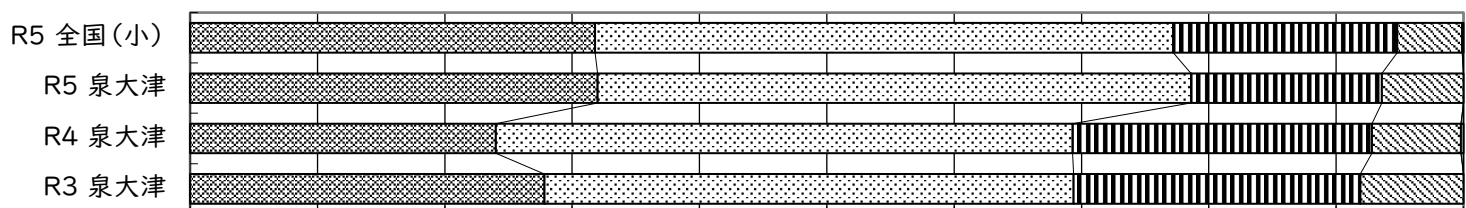
【質問20】総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



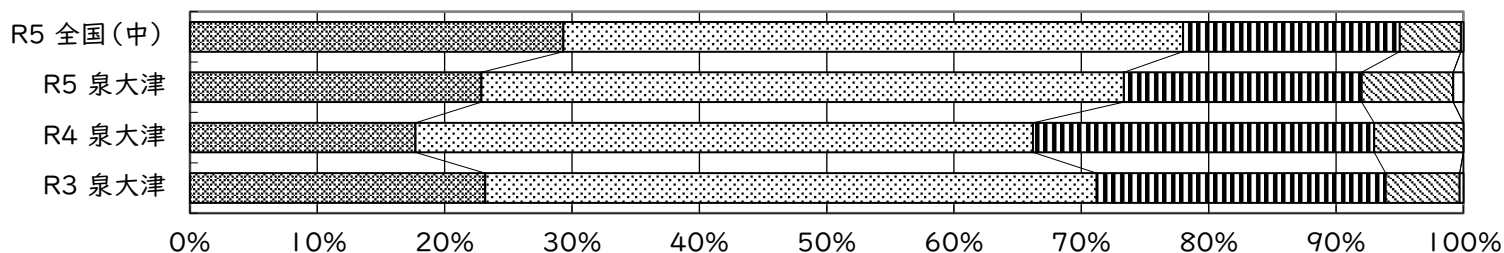
■ 1.当てはまる □ 2.どちらかといえば、当てはまる ■ 3.どちらかといえば、当てはまらない □ 4.当てはまらない ■ その他 □ 無回答



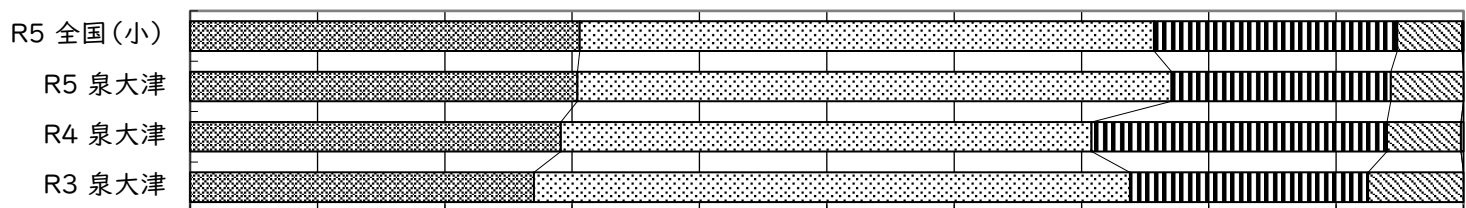
【質問21】あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



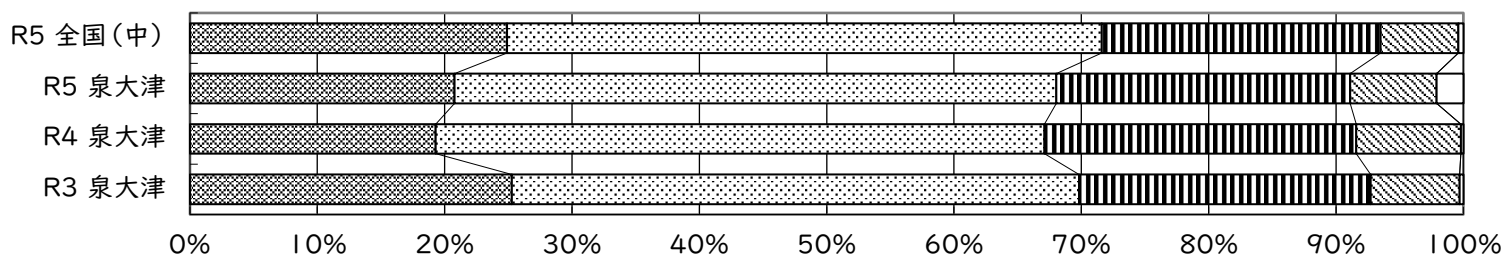
■ 1.当てはまる □ 2.どちらかといえば、当てはまる ■ 3.どちらかといえば、当てはまらない □ 4.当てはまらない ■ その他 □ 無回答



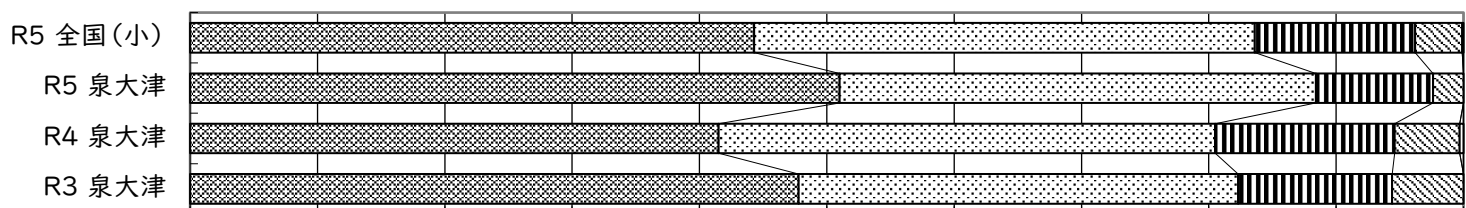
【質問22】学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか



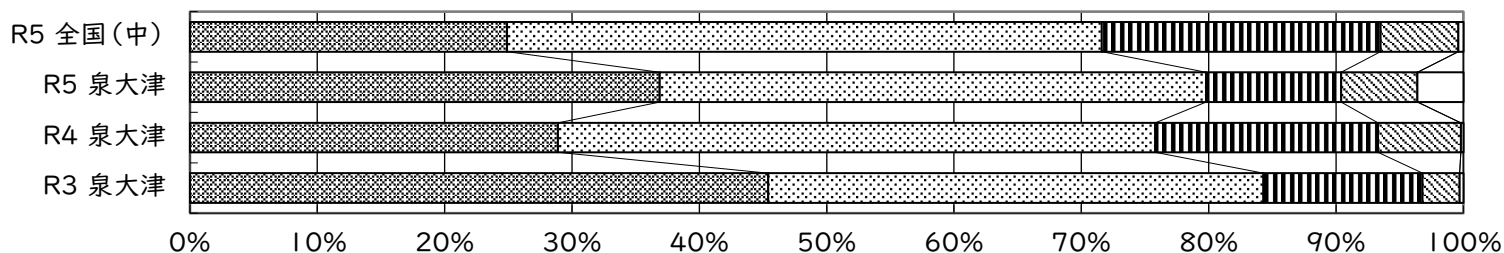
■ 1.当てはまる □ 2.どちらかといえば、当てはまる ■ 3.どちらかといえば、当てはまらない □ 4.当てはまらない ■ その他 □ 無回答



【質問23】道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



■ 1.当てはまる □ 2.どちらかといえば、当てはまる ■ 3.どちらかといえば、当てはまらない □ 4.当てはまらない ■ その他 □ 無回答



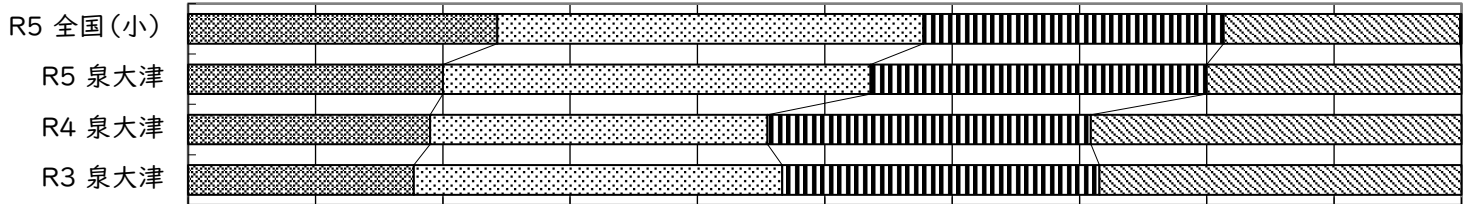
- ・生活習慣については、小学校と中学校とで違いはあれ、概ね良好です。
- ・学習習慣については、学習時間や読書時間が全国より少ない傾向にありますが、授業における主体性や積極性については、概ね良好な数値となっています。
- ・授業におけるICTの利活用については、全国より大きく進んでいると言えます。

各質問項目と教科の正答数との相関関係を調べると、読書習慣のある児童生徒ほど、教科の正答率が高い傾向にあることがわかりました。また、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表したり、各教科などで学んだことを生かしながら自分の考えをまとめたり、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたりするなど、主体的・対話的で深い学びを実現させている児童生徒についても、教科の正答率が高い傾向にあることがわかりました。

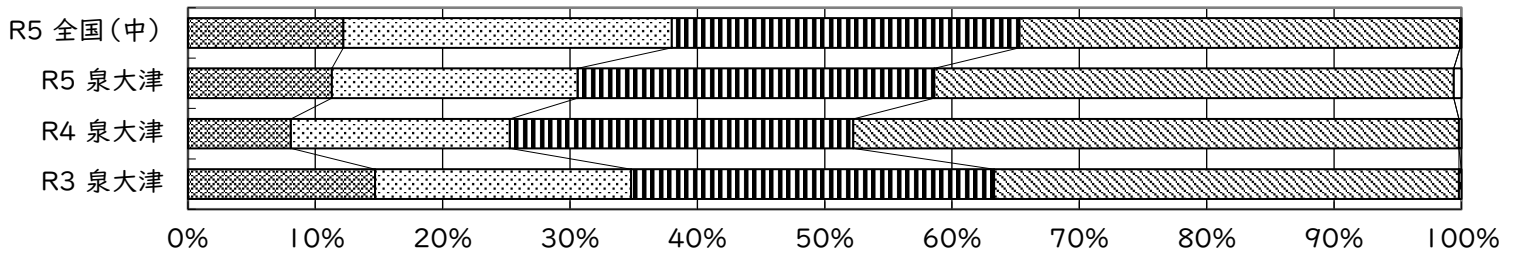
学校内外を問わず、自ら進んですべきことを考え、行動に移すための努力が大切であると言えそうです。

地域社会との関わりについて

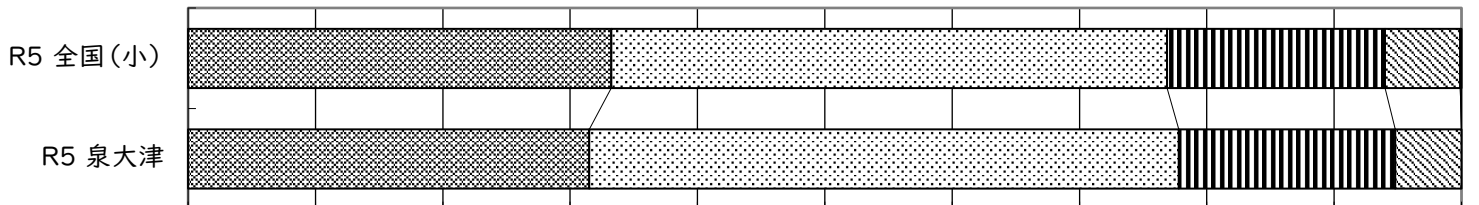
【質問24】今住んでいる地域の行事に参加していますか



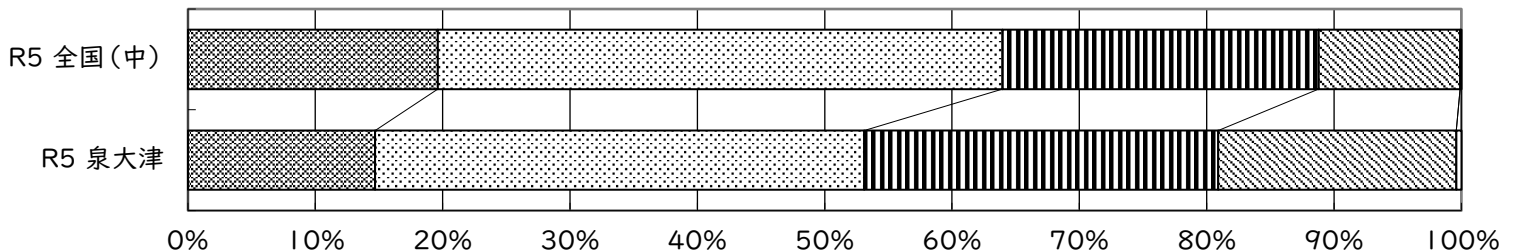
■ 1. 当てはまる □ 2. どちらかといえば、当てはまる ■ 3. どちらかといえば、当てはまらない □ 4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答



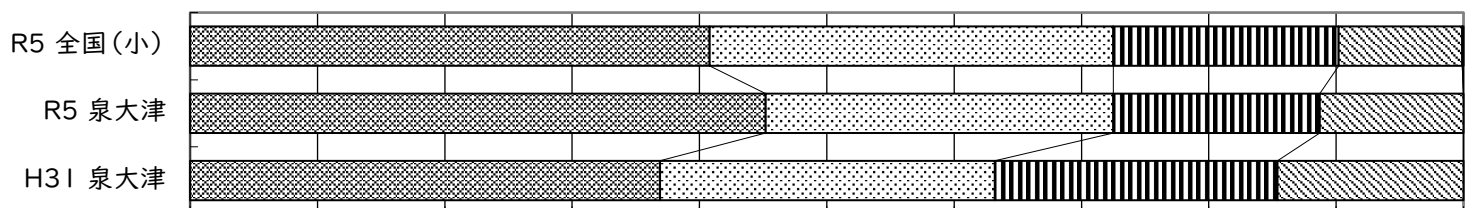
【質問25】地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



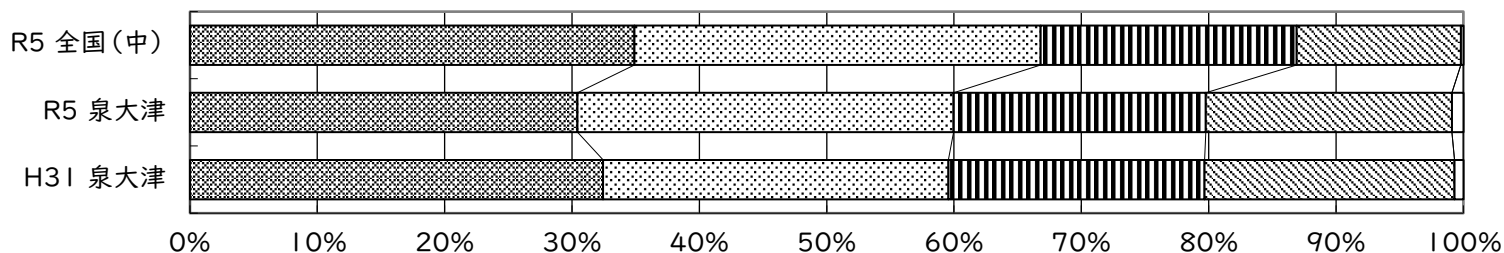
■ 1. 当てはまる □ 2. どちらかといえば、当てはまる ■ 3. どちらかといえば、当てはまらない □ 4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答



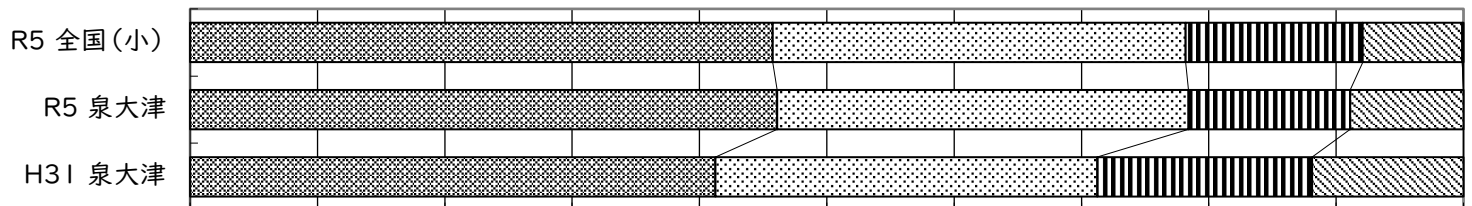
【質問26】外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか



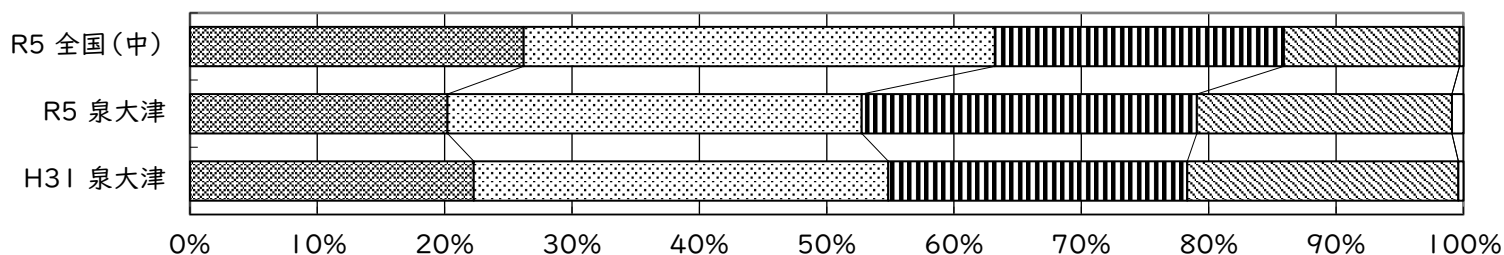
■ 1. 当てはまる □ 2. どちらかといえば、当てはまる ■ 3. どちらかといえば、当てはまらない □ 4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答



【質問27】日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか



■ 1. 当てはまる □ 2. どちらかといえば、当てはまる ■ 3. どちらかといえば、当てはまらない □ 4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答

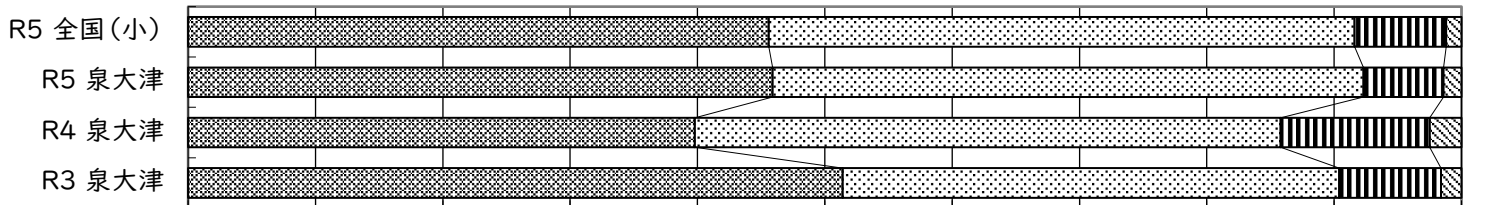


- ・地域社会との関わりについては、小学校では概ね良好な数値となっています。
- ・一方で、中学校では地域社会との関係がやや希薄である結果となりました。

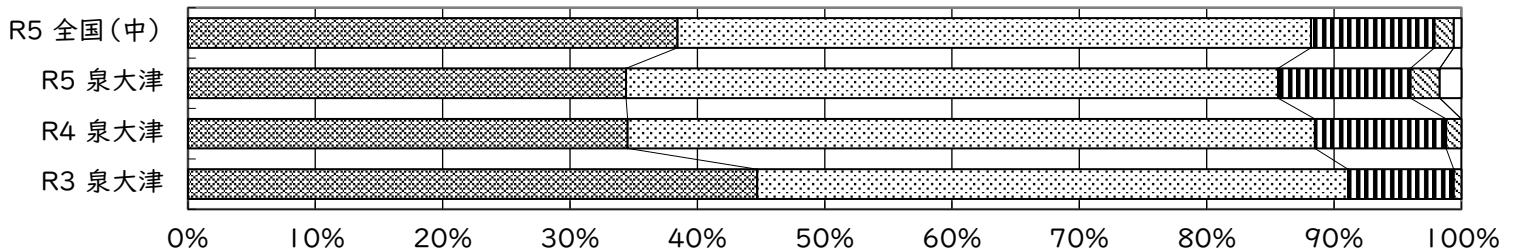
現在の児童生徒は、新型コロナウイルスの影響で、多感な時期の多くをマスクと共に過ごし、他人との積極的なコミュニケーションを控えることを強いられてきました。上記の結果を真摯に受け止め、学校・家庭・地域が一体となって、継続的に子どもたちを支えていく必要があります。

規範意識・自己有用感について

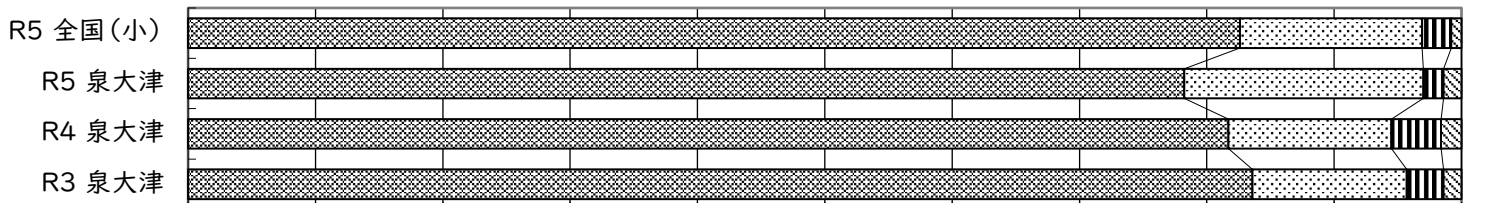
【質問28】人が困っているときは、進んで助けていますか



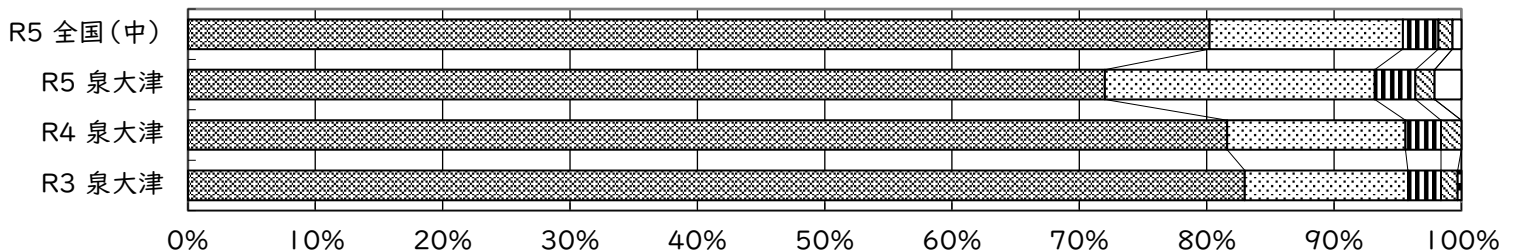
■ 1.当てはまる □ 2.どちらかといえば、当てはまる ■ 3.どちらかといえば、当てはまらない □ 4.当てはまらない ■ その他 □ 無回答



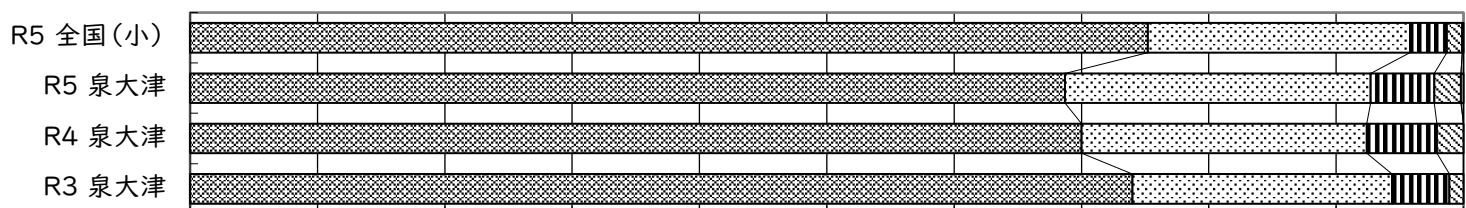
【質問29】いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



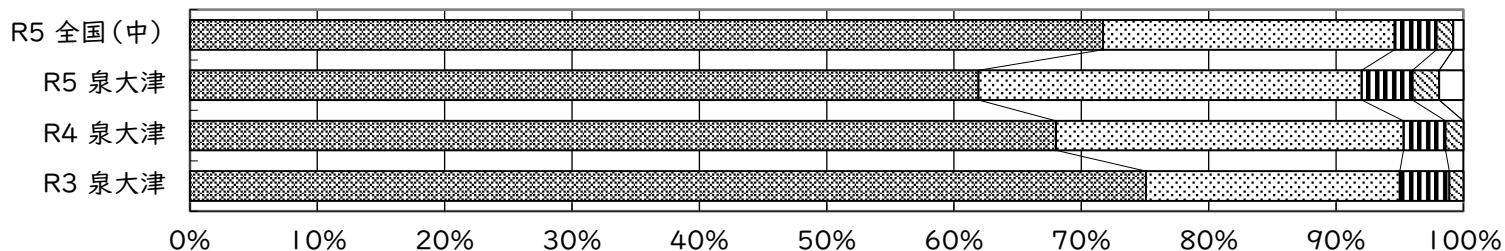
■ 1.当てはまる □ 2.どちらかといえば、当てはまる ■ 3.どちらかといえば、当てはまらない □ 4.当てはまらない ■ その他 □ 無回答



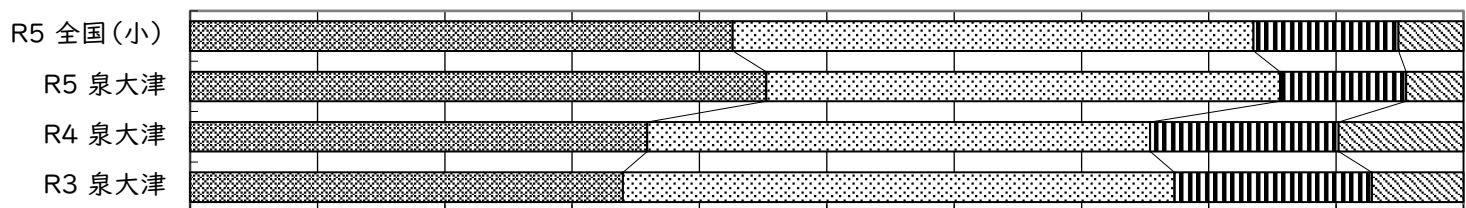
【質問30】人の役に立つ人間になりたいと思いますか



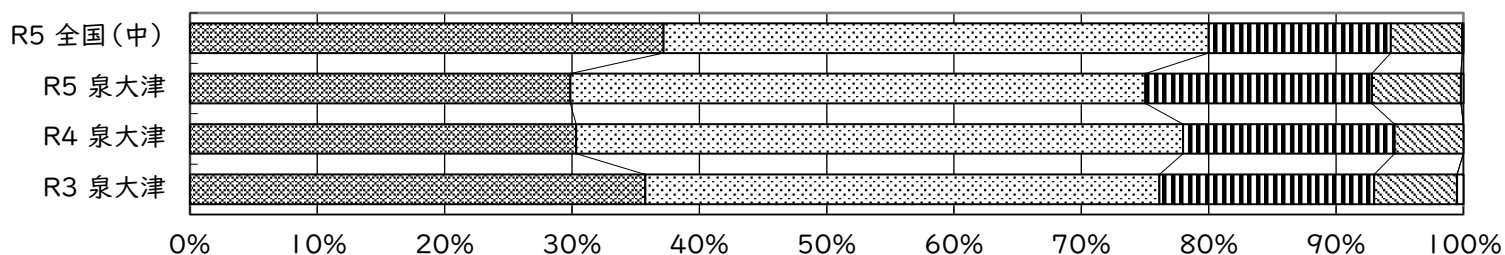
■ 1.当てはまる □ 2.どちらかといえば、当てはまる ■ 3.どちらかといえば、当てはまらない □ 4.当てはまらない ■ その他 □ 無回答



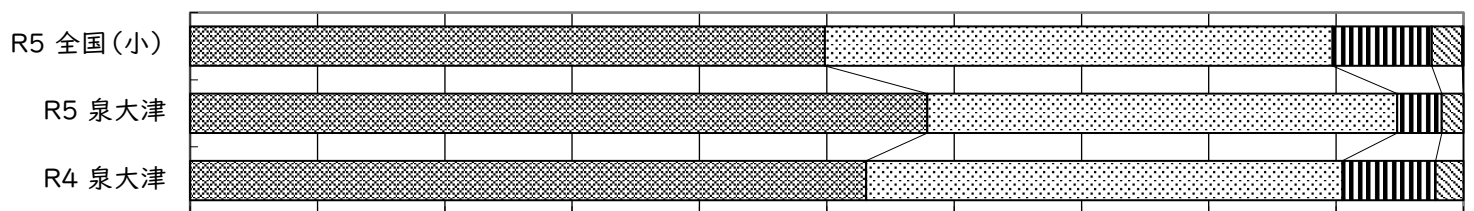
【質問31】自分には、よいところがあると思いますか



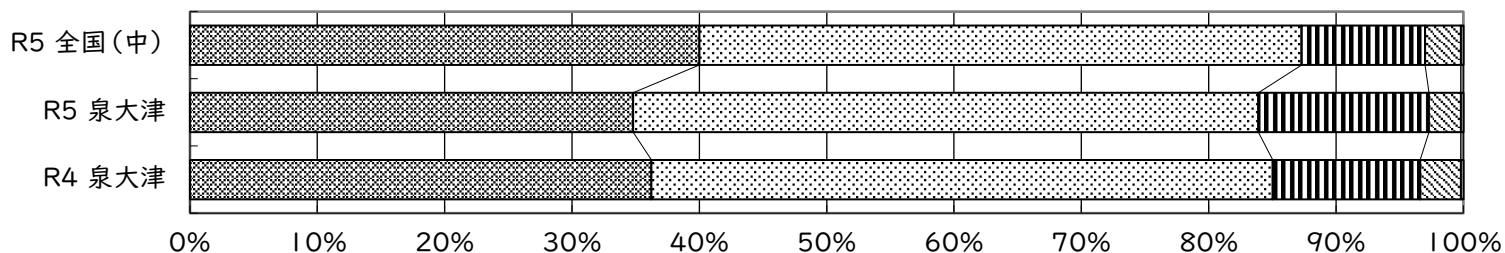
■ 1.当てはまる □ 2.どちらかといえば、当てはまる ■ 3.どちらかといえば、当てはまらない □ 4.当てはまらない ■ その他 □ 無回答



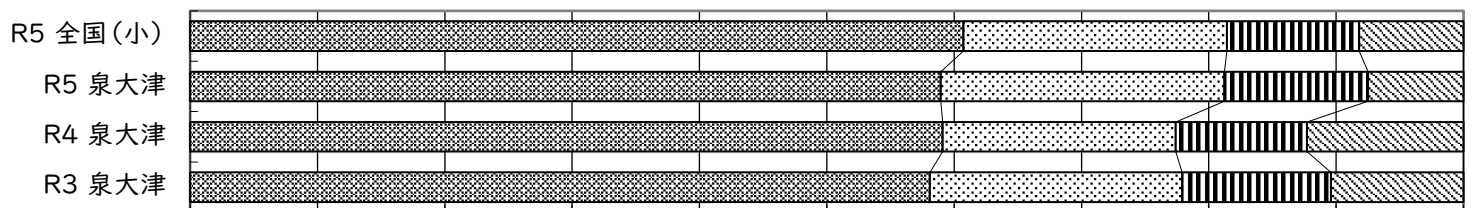
【質問32】先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



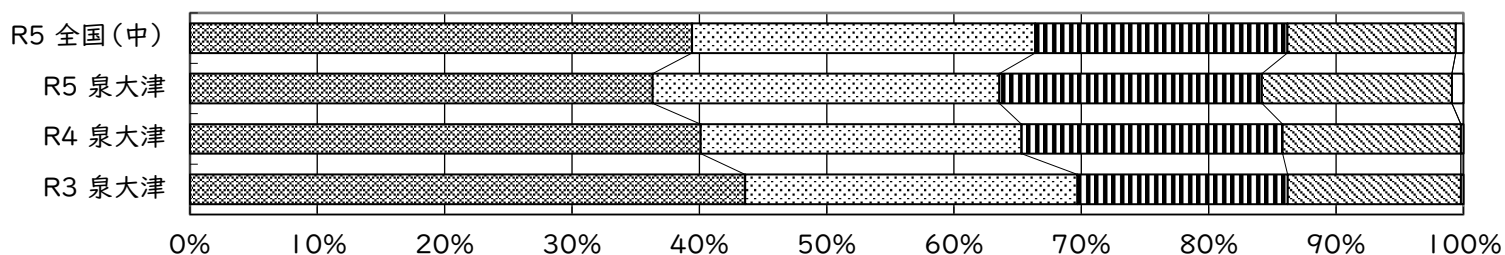
■ 1.当てはまる □ 2.どちらかといえば、当てはまる ■ 3.どちらかといえば、当てはまらない □ 4.当てはまらない ■ その他 □ 無回答



【質問33】将来の夢や目標を持っていますか



■ 1.当てはまる □ 2.どちらかといえば、当てはまる ■ 3.どちらかといえば、当てはまらない □ 4.当てはまらない ■ その他 □ 無回答

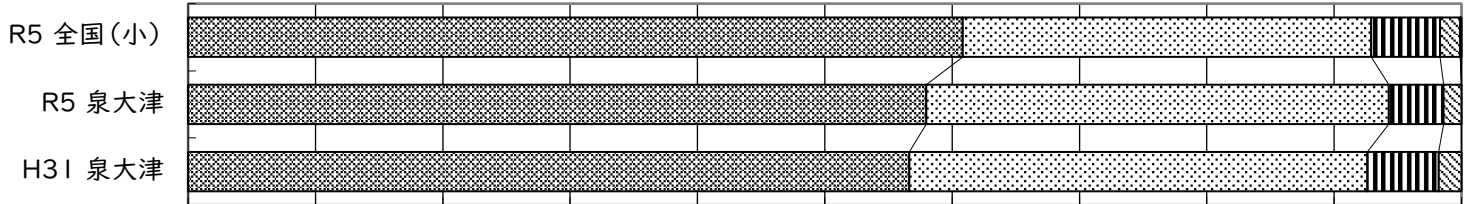


・規範意識や自己有用性については、全体的に課題のある結果となりました。

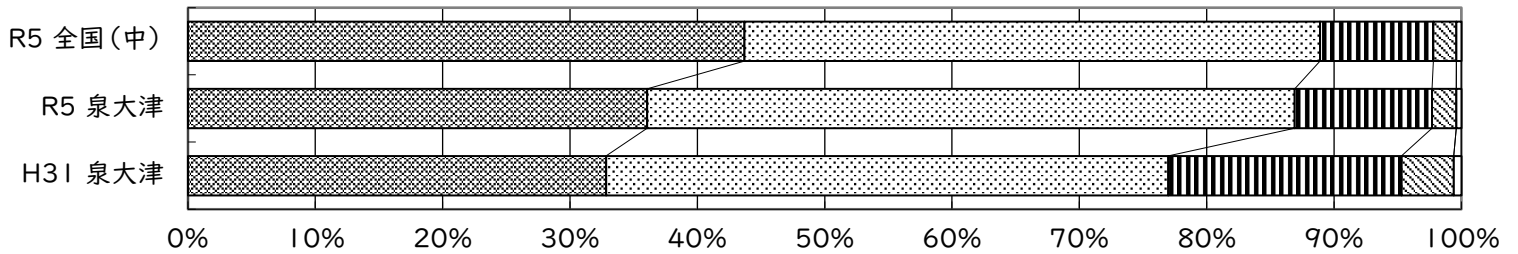
これらの項目と正答数との相関については当然ほぼ見られませんが、【質問 23】道徳で話し合い活動を積極的に行っているかの項目との相関が強いことから、話し合い活動が規範意識に結びついていないと言えます。道徳の授業のあり方について考えていく必要があります。

安心感・充実感・幸福感について

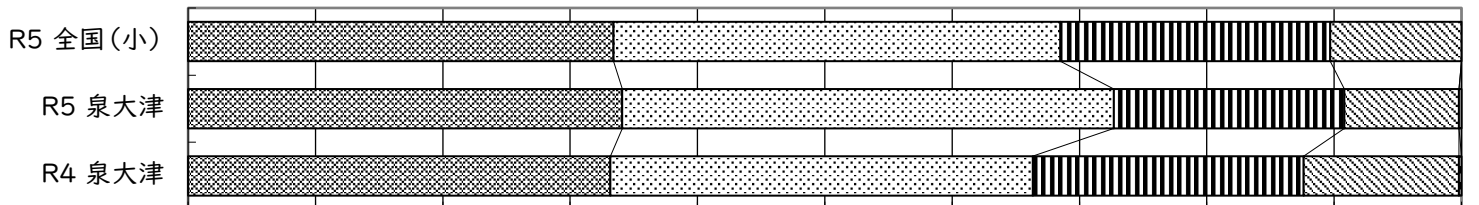
【質問34】先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



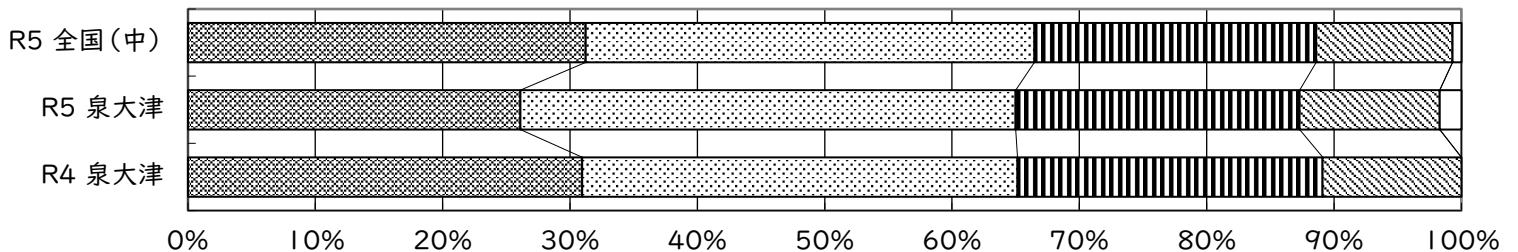
■ 1.当てはまる □ 2.どちらかといえば、当てはまる ■ 3.どちらかといえば、当てはまらない □ 4.当てはまらない ■ その他 □ 無回答



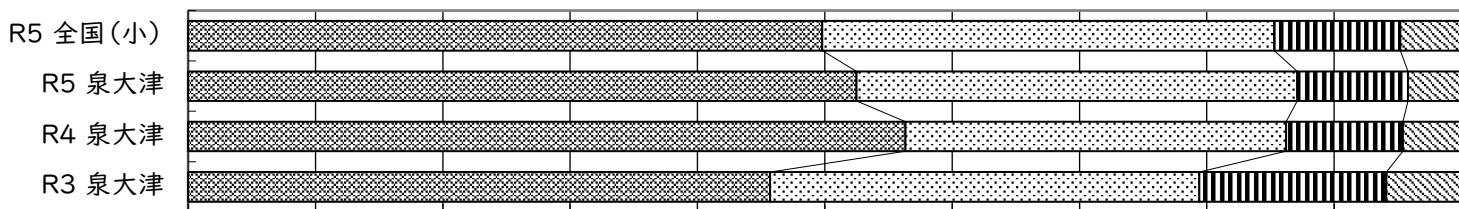
【質問35】困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



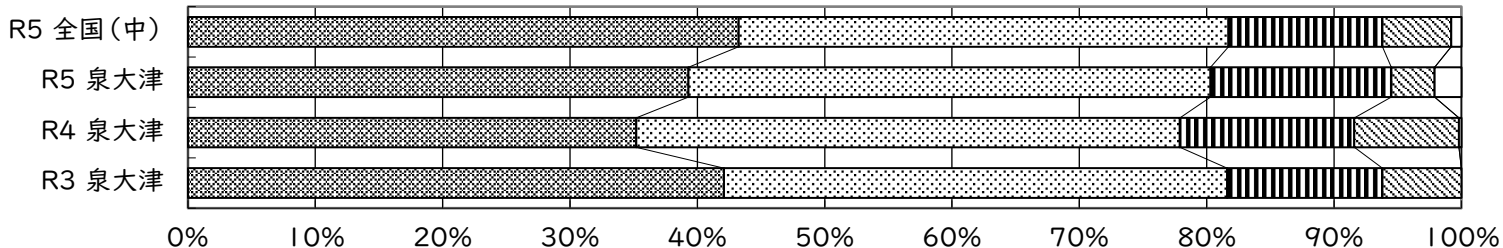
■ 1.当てはまる □ 2.どちらかといえば、当てはまる ■ 3.どちらかといえば、当てはまらない □ 4.当てはまらない ■ その他 □ 無回答



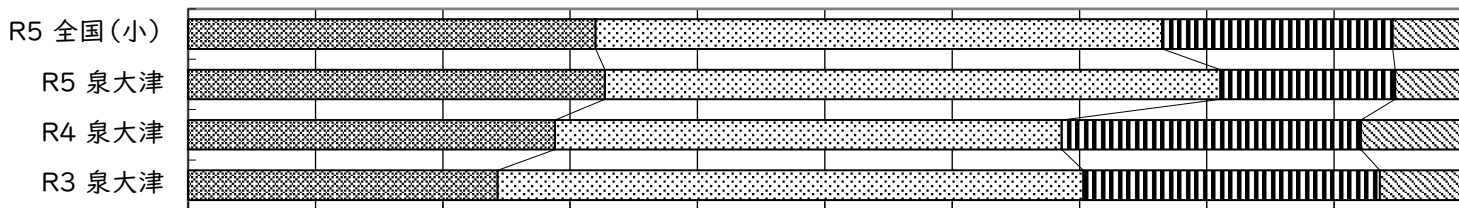
【質問36】学校に行くのは楽しいと思いますか



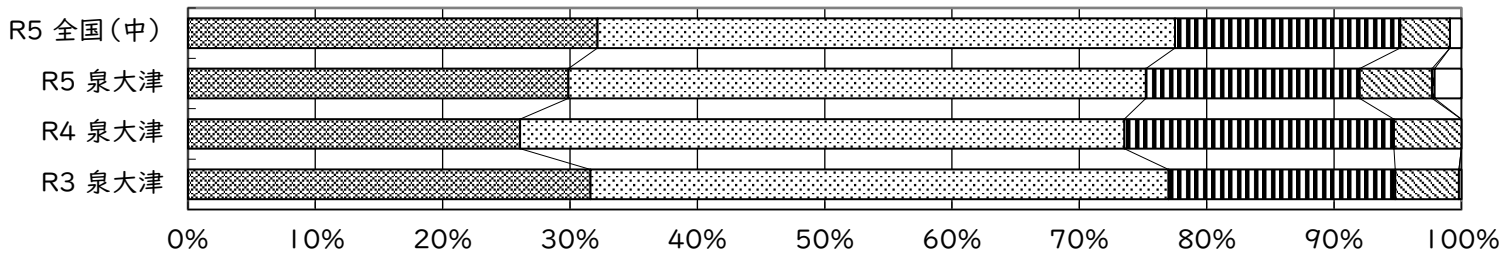
■ 1.当てはまる □ 2.どちらかといえば、当てはまる ■ 3.どちらかといえば、当てはまらない □ 4.当てはまらない ■ その他 □ 無回答



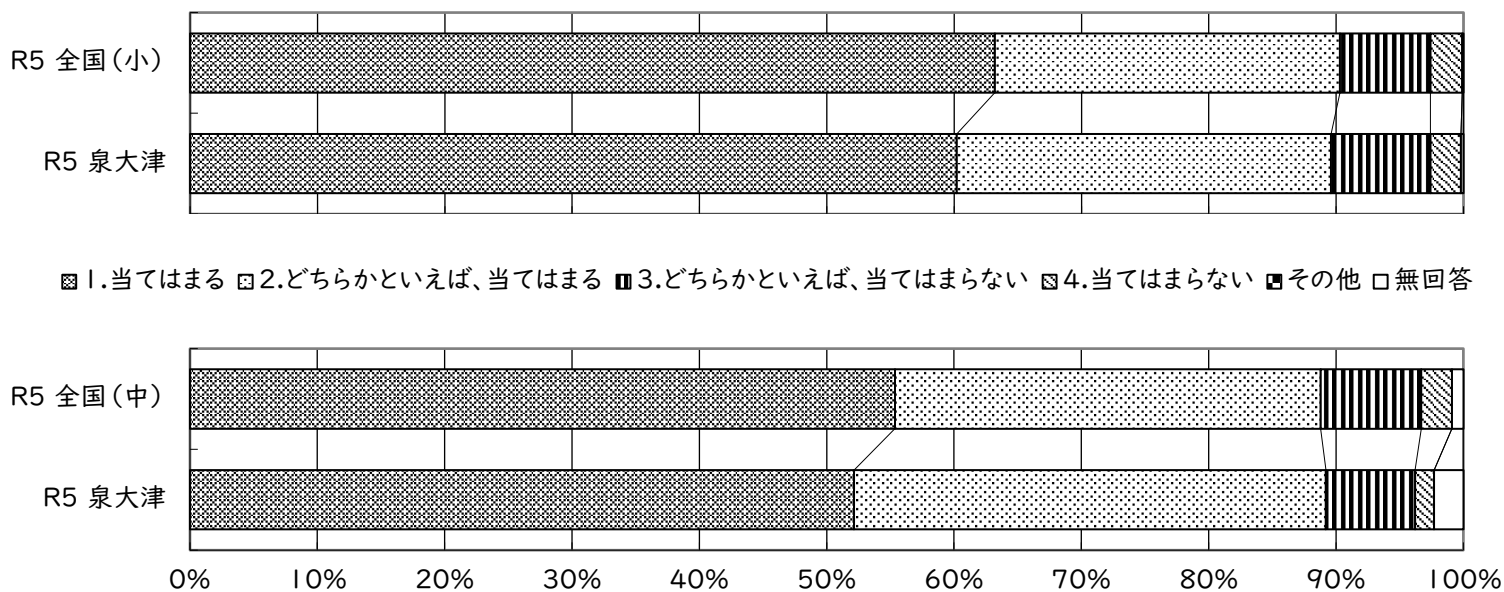
【質問37】自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



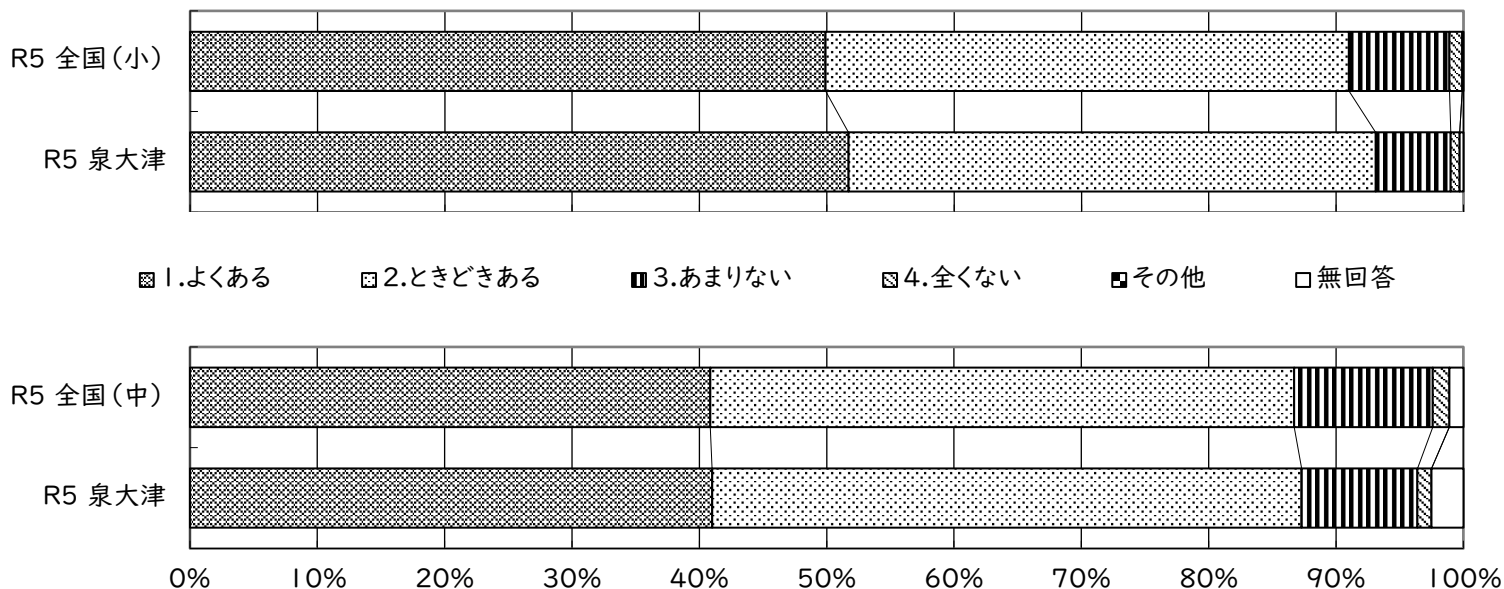
■ 1.当てはまる □ 2.どちらかといえば、当てはまる ■ 3.どちらかといえば、当てはまらない □ 4.当てはまらない ■ その他 □ 無回答



【質問38】友達関係に満足していますか



【質問39】普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



- ・安心感・充実感については、小学校では概ね良好な結果となっていますが、中学校ではやや課題が見られます。
- ・全国よりも多くの児童生徒が、普段の生活の中で幸せな気持ちになることがあると回答しています。

大半の児童生徒が幸せな気持ちになることがあると回答していることは、学校や家庭にとっても喜ばしいことです。一方で、そうでない子どもたちのケアや、日頃の安全・安心な空間を、学校・家庭・地域全体で作っていくことが大切です。

令和 5 年度 (2023 年度)

小学生すくすくウォッチ (第 5・6 学年) 泉大津市の結果概要



今年4月17日から4月25日にかけて実施された小学生すくすくウォッチについて、泉大津市の児童のみなさんの調査結果の概要がまとまりましたので、お知らせいたします。

○目的

子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につける。

○対象学年・参加児童数

第 5 学年 泉大津市 541人 大阪府 66,514人

第 6 学年 泉大津市 571人 大阪府 67,329人

○実施内容

第 5 学年 国語・算数・理科・わくわく問題(教科横断型問題)・アンケート

第 6 学年 理科・わくわく問題(教科横断型問題)・アンケート

○各教科・わくわく問題(教科横断型問題)の出題内容及びアンケート内容について

国語 ・言語能力・読解力の基盤となる、基礎的基本的な言葉等の理解を問う問題

・文章に書かれている意味を正確に捉える力(リーディングスキル)をはかる問題

算数 ・関数・数と計算・図形に関する基礎的な知識技能や、数学的な表現や意味理解、日常の事象を数学的に処理する技能を問う問題

・基礎・基本的な概念や性質を問う問題、数学的な見方・考え方を働かせ、グラフ、表、式、言葉に関連させて考える問題

理科 ・見通しをもって観察、実験を行うことや、その結果を数学的に表したり、分析したことを記述したりすることを問う問題

・生活場面とつなげたり、観察、実験を想定した場面設定の中で、基礎的な知識や科学的な見方、考え方を問う問題

わくわく問題

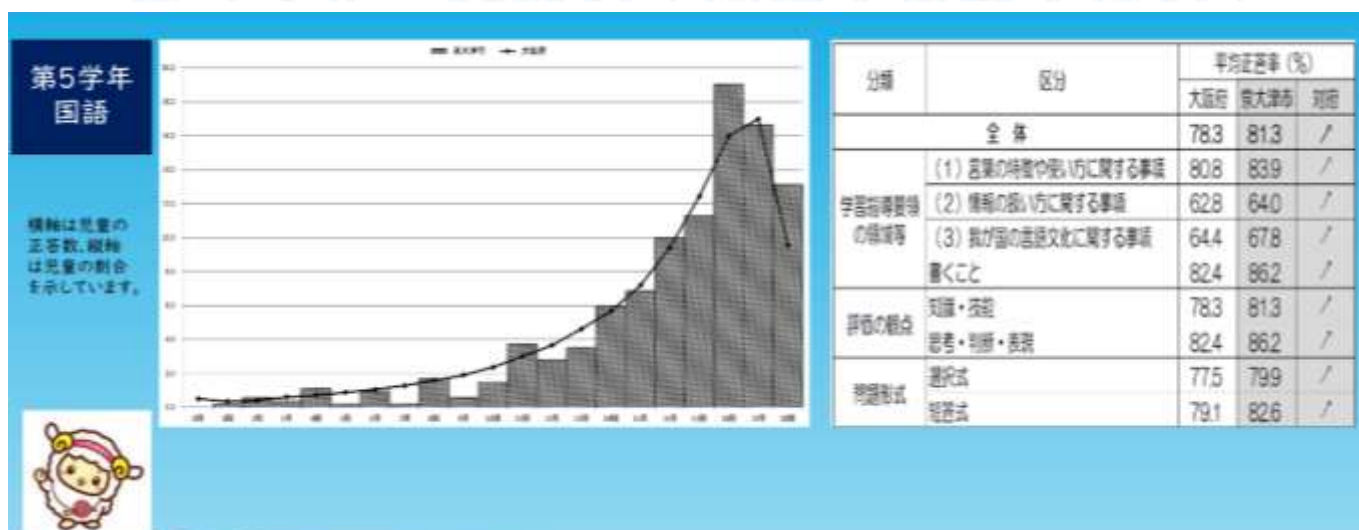
教科の枠を超えた日常の活動や現代的な諸課題(SDGs、プログラミング的思考)等をテーマにした問題

文章やグラフ等の様々な資料を題材に、資料を読み取ったり、自分の考えを表現する力を問う問題

アンケート

非認知能力である「未来に向かう力」、授業での活動、家庭での様子等、一人ひとりの状況がわかる様々な問い方に基づく項目等

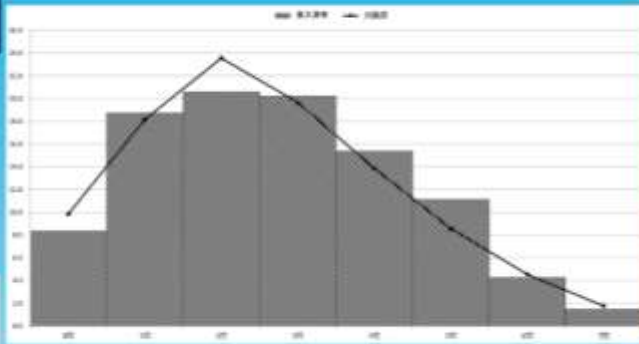
第 5 学年 各教科 (国語・算数・理科)



- どの分類においても大阪府の平均正答率(以下、正答率と表記)を上回っています。
- 文中の助詞を正しく使う問題(問2(1)(2))、一文を二文に分けて書くとき文と文の意味のつながりを考え、適切な接続語を使う問題(問9)等については、正答率が高くなっています。
- 書かれた文の意味を正しく捉え、適切な漢字を使って書く問題(問1)、日常で使うローマ字を正しく書く問題(問4(2))、故事成語の意味を正しく理解する問題(問5(2))等では、正答率が低くなっています。

第5学年 算数

横軸は児童の
正答数、縦軸
は児童の割合
を示しています。

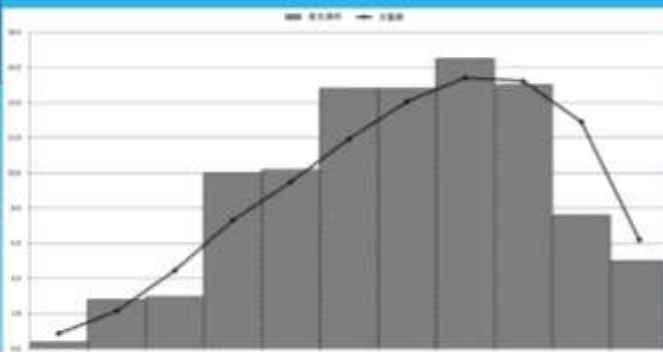


分類	区分	平均正答率 (%)		
		大阪府	豊大津市	対府
全体		37.5	39.0	/
学習指導要領 の領域	数と計算	39.5	41.5	/
	図形	39.9	39.7	\
	測定/変化と関係	26.7	30.0	/
評価の観点	データの活用	24.4	28.0	/
	知識・技能	48.0	51.0	/
	思考・判断・表現	11.1	9.2	\
問題形式	選択式	24.4	28.0	/
	短答式	53.9	56.8	/
	記述式	11.1	9.2	\

- 図形領域で大阪府の平均正答率をやや下回っていますが、その他の領域では上回っています。
- 割り算を使う問題の場面を理解して立式し商を求める問題(問1(1))や、長方形と正方形の絵画のそれぞれの面積の求め方を理解し2つの面積の差を求める求める問題(問2(3))で、正答率が7割を超えています。
- 問題文やグラフから読み取れる情報をもとに計算に必要な数量を求めるとともにその求め方を説明する問題(問1(3))や、正三角形と様々な四角形を構成する要素や性質を理解し正三角形を組み合わせても現れない四角形を考えその理由を説明する問題(問2(4))で、正答率が低くなっています。

第5学年 理科

横軸は児童の
正答数、縦軸
は児童の割合
を示しています。



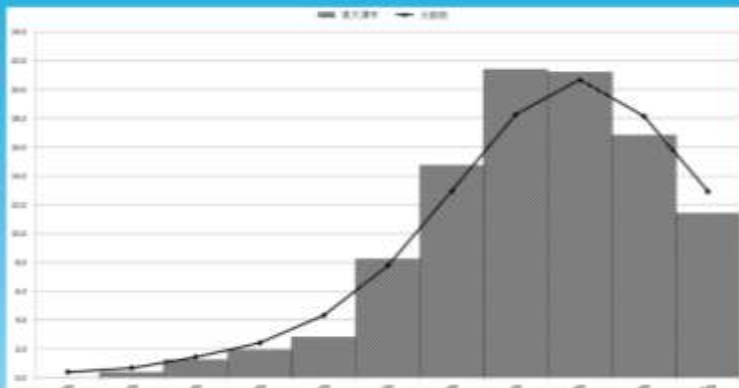
分類	区分	平均正答率 (%)		
		大阪府	豊大津市	対府
全体		62.3	59.6	\
学習指導要領 の領域	「エネルギー」を柱とする領域	60.9	66.6	\
	「生命」を柱とする領域	57.2	54.9	\
評価の観点	知識・技能	57.6	54.0	\
	思考・判断・表現	73.2	72.7	\
問題形式	選択式	63.7	60.6	\
	短答式	55.5	50.3	\
	記述式	64.9	64.3	\

- どの分類においても大阪府の平均正答率を下回っています。
- 季節による植物の成長の違いを理解する問題(問2(2))では、大阪府の正答率を上回っています。
- ソーラークラッカーの原理からより早くあたためる工夫を考えて書き表す問題(問1(4))や、季節による植物の成長の違いを観察カードから考え書き表す問題(問2(5))といった、記述式(思考・判断・表現)の問題で無回答率が高くなっています。

第6学年 理科

第6学年 理科

横軸は児童の
正答数、縦軸
は児童の割合
を示しています。



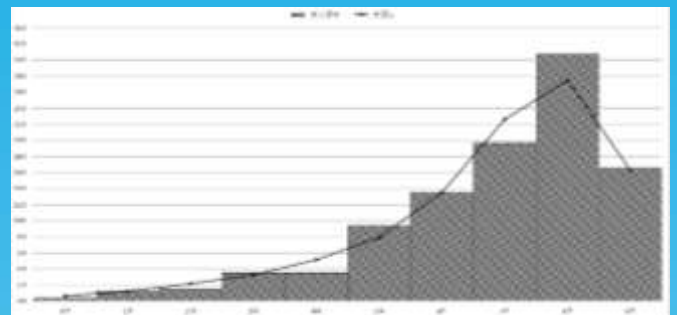
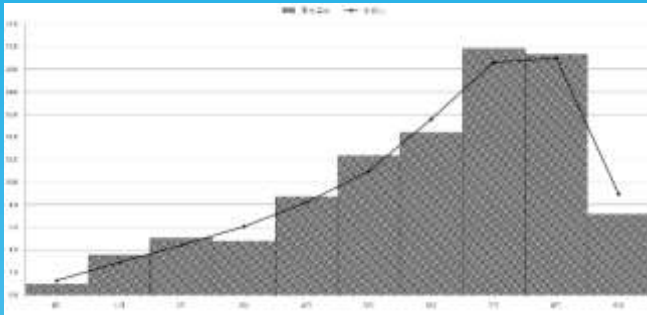
分類	区分	平均正答率 (%)		
		大阪府	東大阪市	堺市
	全 体	73.1	73.3	/
学習指導要領 の領域	「エネルギー」を柱とする領域	72.8	73.5	/
	「地球」を柱とする領域	73.3	73.3	-
評価の観点	知識・技能	74.4	74.3	\
	思考・判断・表現	69.9	71.2	/
問題形式	選択式	66.3	65.7	\
	記述式	81.5	81.4	\
	記述式	62.7	63.7	/

- 全体としては、大阪府の平均正答率をやや上回っています。
- 月の観察記録に必要な内容を理解する問題(問2(2))や、月の形の名称について理解する問題(問2(3))で、正答率が高くなっています。(準正答を含む)
- 方位磁針の正しい使い方を理解する問題(問2(1))や、気象衛星の雲画像とアメダスの降水量の画像から今後の天気の変化について考察する問題(問2(6))で、正答率が低くなっています。

第5学年・第6学年 わくわく問題（教科横断型問題）

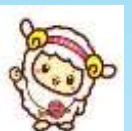
第5学年 わくわく問題

第6学年 わくわく問題



分類	区分	平均正答率 (%)					
		第5学年			第6学年		
		大阪府	泉大津市	対府	大阪府	泉大津市	対府
	全体	67.1	66.5	＼	75.6	76.7	/
観点	A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	75.9	75.1	＼	84.0	84.6	/
	B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	51.8	51.0	＼	61.9	63.2	/
	C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	70.6	70.5	＼	80.2	81.8	/
	D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	63.9	63.7	＼	73.1	74.6	/
	E 興味・関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	87.3	88.5	/	91.7	93.3	/
問題をとらえる	文章から読み取る	72.7	71.7	＼	81.9	82.9	/
	会話から読み取る	70.0	69.7	＼	77.7	78.7	/
	図や表から読み取る	62.1	61.3	＼	71.4	72.4	/
伝える	資料の情報を整理して伝える	60.1	59.5	＼	68.5	69.2	/
	自身で考えたことを伝える	74.2	73.9	＼	83.1	84.7	/
	理由や根拠を明確にして伝える	65.5	64.6	＼	76.4	77.5	/
問題形式	選択	72.4	71.8	＼	80.5	81.0	/
	図表	87.3	88.5	/	91.7	93.3	/
	記述	64.4	63.9	＼	73.2	74.6	/

- わくわく問題は、第5学年と第6学年に同一問題で実施されました。
- どの分類においても、第6学年の正答率は、第5学年の正答率と比較して上回っています。
- 第5学年は、ほぼ全ての分類において大阪府の正答率を下回っていますが、「興味・関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える」観点と「図表」の問題形式については大阪府の正答率を上回っています。
- 第6学年は、全ての分類において大阪府の正答率を上回っています。
- 第5学年・第6学年ともに
 - ・ある事柄について、意欲的に工夫して相手に伝える問題では、正答率が高くなっています。
 - ・図や表から読み取り、資料の内容を関連付けて論理的に考え、それをもとに自分の考えをまとめ伝えることを目的とした問題（問3(1)）において、正答率が低くなっています。



児童アンケート結果から

児童アンケート結果では、目標に向かって頑張る力・人と関わる力・気持ちをコントロールする力の「未来に向かう力」と「好奇心」の項目平均(当てはまる・どちらかといえば当てはまるの合計)から、大阪府を基準とした泉大津市の特徴をまとめています。



第5学年

第6学年



○ 第5学年・第6学年ともに、人と関わる力の「共感する力」や「相手の理解」が他の項目と比べて、やや高い結果となっています。

一方で、目標に向かって頑張る力の「ぶれない心」や気持ちをコントロールする力の「落ち着き」、好奇心の「自分の疑問に対する答えを求める力」は、他の項目と比べて低い結果となっています。

※このテスト及びアンケート結果は、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。



報告第17号

泉大津市教育委員会の後援名義使用について

1 趣 旨

泉大津市教育委員会の後援等に関する要綱に基づき、後援を承認したので報告するものである。

2 根拠法令

泉大津市教育委員会の後援等に関する要綱

第6条第2項 教育長は前項の規定により専決処理をしたときは、事後その旨を委員会に報告しなければならない。

3 報告対象期間

令和5年8月1日（火）～ 令和5年8月31日（木）

4 内 容

別紙6のとおり

【承認】

番号	専決日	実施日	件名	申請団体
1	R5.8.4	R5.11.4 ～ R5.11.5	第36回日書美学生公募展	日本書藝美術院
2	R5.8.4	R.5.9.16	様々な子どもの成長を支える大人への子育て支援	一般社団法人泉大津・発達支援勉強会Lien
3	R5.8.15	R5.9.18	輝く未来へ吹奏楽の力	泉大津ライオンズクラブ
4	R5.8.15	R5.11.4	あびこ踊り発表会	あびこ踊り保存会
5	R5.8.23	R5.11.12	第37回日本教育技術学会大阪大会	一般社団法人 日本教育技術学会
6	R5.8.28	R5.12.21 ～ R5.12.26	第63回日本書道芸術院展	日本書道芸術院

【不承認】

番号	専決日	件名	申請団体
1	R5.8.24	国際交流&イングリッシュキャンプ	宮城復興支援センター